

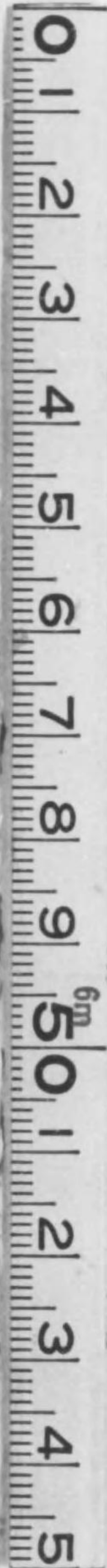
特214-362



1200801697457

317

273



始



特 214
362

古書籍
在庫目錄

日本志篇

昭和三年九月新刊

東京 巖松堂書店 古典部



卷 頭 言

坪谷善四郎

近頃洪水の如き圓本の出版は、全國に亘つて日々の新聞廣告欄を賑はし、随つて其れに依れば驚くべき低價にて讀書し得る様になりしと正反對に、古書籍の市價は底止する所無く暴騰して、藏書成金を續々輩出することは甚はだ不可思議なる現象の様である。然とも熟つら考ふれば、彼の圓本は、大抵は前に一たび出版せられたる古書の翻刻にして、謂はゞ色揚げ物、染め返し物である故、其れが多く出版せらるゝほど其の原板物を得んとする欲望を刺激することも多く、延て一冊の古板本に數千金をも投ずる者あるのは

當然である。

二

巖松堂書店は從來新刊書と古板本とを取扱ふ兩刀使ひにして其の店の古典部には、和漢洋の古典籍を集めて同業者間に覇權を争はんとしつゝあるが、今回其の古典部に藏する目錄を編纂して頒布することゝし、示されたる校正刷を見るに、所藏書の種類は古今東西に亘り、森羅萬象を網羅して随分多くの數に上るは勿論だが、特に其の目錄の分類排列に新機軸を出し、選擇者をして昆山の片玉も滄海の遺珠も、探るに最も容易ならしめ、爲に世の愛書家の受くる利便は至大である。中にも余等の如く斷へず總ての圖書集收到苦心しつゝある者には、最も重寶である。

本來賣り物には出来るだけ花を飾り、内容實質及び其の價格を

正直誠實に表示して宣傳することは何れの商賣にも必要なが、殊に古書籍の如く、名目だけを聞て先づ欲望を刺激せらるゝ商品には、供給者にも需要者にも最も必要の方法である。去れば巖松堂の此の目錄は最も余等の意を得たるものなる故、請はるゝ儘に其の旨を卷首に記す。

昭和三年六月十五日創立二十七周年記念日の大橋圖書館に於て

日本のやうに文献の中央統一が完全に行はれて居る國もちよつと類が無い。それが今日の從順なる購讀者と都人の講説なら何でも受入れようといふ氣風の根源であると迄は斷言し難いか知らぬが、少なくとも地方の著述、それを張合ひにして活動すべかりし地方の學問が、御蔭で埋没した事だけは確かである。私はそれが不平であつて、しかも匡救の手段を知らぬ故にたゞ黙つて不平であつた。どうかして此本に似たやうな目録を作つて見ようとして、失敗したことも何度かあつた。實際また私ほど、地方の刊行物を利用して多くの恩惠を受けた者も尠ないのであつた。ところが巖松堂の主人はいつの間にかこの實情を知つて居る。さうして組版の元刷を見せて序文を書けといふ。その位慧眼ならば此本の刊行も必ず時を得て居ると思ふ。

以前私は何度と無く、本道樂が古本屋を開業するのと、本屋が本道樂

になるのと、何れがより多く世の中の爲になるだらうかを考へて見たことがある。どちらも大したことは無いと言ひ切る人はあるまいが一方は觀潮樓偶記にある巴里の學士院門前のアシエンドル先生の如く、追々貧乏して小さくなつて行くことは略疑ひが無い。之に比べると巖松堂主人なる者の、近年の進況はどうであるか。彼はつい此間まで、法律經濟界の都人の著の、ハシリにはかり目を耀かして居る出版家であつた。それが系統を立て、微細無力なる地方の古本を分類した迄は商賣柄だとしても、其の未だ老いざる精力を蒐集に傾注して、忽ち此様な所藏目錄を世に誇り示すだけの腕になつたのである。若し國內の古本業者がみんな波多野君たるを得るものとしたならば、以前の私の比較研究などは、甚だ目先の見えぬ話であつたといふべきだ。が負惜みをいふならば此人には、やはり獨特の技能と餘分の親切とがあ

るからであらう。

其上に彼は又地の利を得て居る。既に一廉の新刊書肆として門戸を張つて居ることも其一つであれば、何時賣れるといふ當ても無い雜書どもを、近い郷里の土藏に運んでしまつて置けるといふ事も一得であつた。斯ういふ大掛りを以てすれば、勿論國中の本好き等を煙に巻き、行く／＼成るべくは此店へ來て買ひ、來て賣るといふ人を引付けることも出来るわけで、それが又我々素人目錄家どもの、匙を投げなければならぬ長處であると思ふ。私は前年或大文庫を整理する際に、大體此書目と同じやうな順序で、地誌其他の地方刊行物の分類をして見たことがある。古い頃だから數量も遙かに是より少なく、第一つまらな

いと思つたのは、斯うして置いても自分以外に、誰がいつ取出して見てくれようかといふことであつた。自分しか利用せぬとすればもう早

掲載したくも無いものが色々と現れて来る。つまりは溜り水だからすぐに停滞を感ずるのである。之に反して本屋の目録はさら／＼と流れる川である。従つて古臭いものにも新らしい光を與へることが出来る。さうして假に今買ふことが出来ぬとしても、讀者は斯ういふ書物が手の届く所に在るといふ心安さを以て、始終其紹介者に對する親しみを持つのである。勿論其中には本道樂の本性から、實は永く置きたいものも若干はあらうが、どうか折角見付けたものだからといふ愛惜の餘りに、あまりに高い賣價を付けて、事實上の親引きをしないやうにして貰いたい。御客も嬉しがるのみならず、それが結局は又店繁昌の基であらうから。

柳田國男誌

温古而知新、可以爲師矣と孔子の言を繰返すわけではないが、此を逆に考へて「新しきは古きにあり而して新しきを知らんと欲すれば古きを温ねよ」と格言めいて言つて見るも面白い。新しいものへものへと追つてゐた若者が追ひ疲れて一息休んだときに、古きを温ねて見たくなるのと同じで、數へ切れぬ程分派されて行く現代の學問を追ふが如くに學んで行くにも、何か既往にさかのぼり得る典據が見度てならぬやうになる。必ずしも古きを温ねよと考へられた譯ではないが、追つかけて進めば進むほど尙古きものが戀しくなつて来る。そして見度い古書を血眼になつて探しまわるのである。

この「新しきを知らんと欲すれば古きを温ねよ」といふことは、一面學説を樹立した者は必ず樹立し得た何等かの根據は素よりあるべき筈であると共に何等かの研究資料に親しんだ筈である」といふことから

云ひ得ることと思ふ。それ故今出来上つた新學説を知らうとするならばその學説を組織した經路なり資料なりを檢分して見ねば本當に分る筈もなく所謂「新しい」ものを知つたとも云へないであらう。

突込めるだけ突込んで發表されたと稱される研究物も、研究に用ひられた典據資料等の種があがると案外價值のないものがないとも限らぬ。例へば茲に某氏が特殊研究の結果を堂々と發表したとする。その時發表された研究物を手にして、某氏は如何なるものを研究資料として取扱ひ、而して如何に此等を一體系に收め組織をつけたかを詳細に調べて見ると、時には某氏に告げれば赤面するに違ひないと思はれる程その根柢の薄弱なのがある。「新しきを知らんと欲して古きを温ねる」ことは決して等閑には出来ない。

波多野氏が編纂した藏書目録の校正刷を見るに、日本に關した研究

資料が澤山集つてゐるのに興味を感じ之を坐右にして平素の研究伴侶とすれば裨益を受くるであらうと思ひ、右の目録中から主要なるものに付き左に索引めいたものを作つて見た。素より完全なるものではないことは言ふまでもないが、之を利用して如上の趣旨に幾分なりとも接近し得たならば讀書子は不尠至便を受けるであらうし、所謂「温古知新」が孔子の寢言だと云つて忽諸に出来るものでないことが分ると思ふ。

昭和三年六月十七日

森 本 謙 藏

本書主要項目索引

各地方の文獻は含まず
數字は日本志篇の頁數

皇 室

天皇……………三	皇后……………三	太上天皇、皇太后…三	皇儲……………三
攝政……………三	親王……………三	皇室……………三	皇室御系圖……………三

雲上明鑑……………	三〇	宮廷……………	三	宮城……………	二四	内裏御繪圖……………	二五
女官……………	二四	宮中儀式制度……………	二五	神器……………	二六	御寶所……………	二六
御即位……………	二六	大禮……………	二六	大嘗祭……………	二七	行幸……………	二七
行啓……………	二六	勅使……………	二六	詔勅……………	二六	獻上及天覽……………	二七
御大葬……………	二七	御陵……………	二五	皇陵參拜……………	二五	帝都……………	二四

宗

教

宗教史……………	二二	日本神祇史……………	二四二	社寺志……………	二二七	神社志……………	二二九
西教史……………	二七	神佛參拜記……………	二四〇	順禮案内記……………	二四〇		

教

育

日本教育史……………	二〇四	學制志……………	二〇四	地方教育志……………	二〇四	女子教育志……………	二〇四
中學校志……………	二〇五	小學校志……………	二〇五	商業教育史……………	二〇〇	國史の教育教授法……………	一〇
社會教育……………	二二三	體育史……………	二〇五	藩學志……………	二〇五	教育統計……………	二〇四

文

藝

文學史……………	一四九	文藝史……………	一四九	小說史……………	一五〇	戲曲史……………	一五一
方言……………	二〇〇	文獻志……………	二	圖書館目錄……………	二	筆禍史……………	一三三
出版及印刷志……………	一三三	新聞史……………	一三三	新聞社志……………	一〇一	演說史……………	一三三

明治文化書誌……………	一三六	美術史……………	一五五	繪畫史……………	一五六	版畫史……………	一五六
工藝美術史……………	一五六	刀劍……………	一五二	古刀新刀……………	一五二	音樂史……………	一五四
歌謠史……………	一五四	地方歌謠……………	一五四	流行歌……………	一五五	淨瑠璃史……………	一五五
演劇史……………	一五三	民衆娛樂……………	一五三	各地の踊り……………	一五四	角力志……………	一五五

地

理

地理辭典……………	二二五	日本地理叢書……………	二二六	地學……………	二二三	地理學……………	二二四
自然地理……………	二二〇	人文地理學……………	二二五	日本地理通誌……………	二二七	日本地理講義……………	二二八
受驗用日本地理……………	二二八	風土記……………	二二六	日本國盡……………	二二八	往來(地理)教科書……………	二二八
日本の地質……………	二二四	土性と土壤……………	二二四	日本の氣候……………	二二五	植民地通誌……………	二二八
政治地理……………	二二四	産業地理……………	二二三	日本地圖(徳川時代)……………	二二九	同上(明治以後)……………	二三〇
日本地圖(無年號)……………	二二〇	國郡全國……………	二二九	海及海濱……………	二三四	港灣……………	二四一
水路志……………	二四二	湖沼……………	二二三	溪谷……………	二二三	河川……………	二二三
山水美……………	二二三	山嶽……………	二二三	日本アルプス……………	二二三	天然紀念物……………	二二三
名勝地理……………	二二三	名勝寫真帳……………	二二六	鎮泉誌……………	二二三	英和對譯名勝記……………	二二六
日本見物……………	二二六	遊覽記事……………	二二七	道中記(徳川時代)……………	二二七	道中細見記……………	二二八
道中記及地圖(明治以後)……………	二二六	關所及手形……………	二二八	旅……………	二四〇	やどや……………	二四一
冒險旅行……………	二四二	漂流記……………	二四四	幸太夫漂流記……………	二四五	萬次郎漂流記……………	二四五
漫遊案内……………	二二七	旅行案内……………	二四二	鐵道線路案内……………	二四二	溫泉案内……………	二二三

五

Japan.....三六

歴

- 〔概論〕 史學.....四
- 史論史説.....一〇
- 史學往來.....六六
- 〔年表〕 和漢洋年契三九
- 〔叢書、辭書〕 國史叢書四一
- 國史辭典.....九
- 〔系圖、讀史圖〕 系圖八八
- 〔史料〕 元號.....二六
- 日本考古學.....一九
- 墳墓.....二〇
- 開書.....二六
- 故實.....一五一
- 〔通史〕 日本歴史.....六四
- 神皇正統記.....七三
- 日本民族史.....一七
- 日本俗史.....六六

府縣國誌.....六七

史

- 史學研究法.....九
- 歴史地理.....三
- 本朝年代記.....二九
- 國史大系.....四七
- 徳川家譜及廟墓.....八八
- 國號考.....六七
- 古蹟及史蹟.....二〇
- 古文書.....二三
- 傳説.....二六
- 故章.....一五三
- 日本歴史講義.....六五
- 國史略.....七四
- 穢多賤民誌.....一八

郷土志.....六八

- 國史研究.....九
- 史談及逸話.....二一
- 國書刊行會.....四七
- 日本志參考圖.....二七
- 曆.....三〇
- 城.....二〇
- 記録.....二六
- 國寶.....二六
- 起原史.....一三三
- 日本歴史教科書.....六六
- 日本政記.....七四
- 奴隸志.....一八

六

物産志.....二四二

- 國史の教育教授法.....一〇
- 讀史錄.....一七
- 史籍類輯.....二二
- 日本讀史參考地圖.....二七
- 姓名考.....一九
- 古墳.....二〇
- 日記.....二六
- 隨筆.....三三
- 受験用日本史.....六六
- 日本外史.....七四
- 兒童日本史.....六六

〔上古史〕 日本開闢史.....七

- 古事記.....七六
- 〔中古史〕 奈良朝史七
- 〔近古史〕 義經記.....六
- 南北朝.....八〇
- 戰國時代史.....八〇
- 〔近世史〕 近世史.....八二
- 徳川俗史.....八三
- 元和——貞享.....三三
- 寛政享和.....三三
- 櫻田事件.....三三
- 幕府衰亡史論.....八四
- 〔近代史〕 維新史.....八六
- 明治元年——十年三六——三九
- 〔日本國體〕 國體史.....三三
- 武士道.....一四四
- 孝貞美談.....一二三
- 日本の現在及未來三

神代記.....七五

- 平安朝史.....七七
- 鎌倉時代記.....七七
- 元寇の役.....七九
- 豊太閤時代記.....八一
- 徳川通史.....八二
- 藩史.....八三
- 元祿.....三三
- 文化文政.....三三
- 萬延文久.....三三
- 幕末史.....八四
- 王政復古.....八六
- 西南役.....三九
- 國旗志.....三二
- 勤王史實.....三三
- 勤儉獎勵志.....二〇四
- 日本人.....三

太古史.....七五

- 本朝六國史.....七六
- 室町時代史.....七九
- 楠公史實.....八〇
- 徳川三百年史.....九一
- 最近世史.....八四
- 享保——寶曆.....三三
- 天保弘化.....三三
- 元治.....三三
- 御家騒動.....一七
- 明治史.....八六
- 十一年後の新聞雜誌三九
- 日本思想史.....三三
- 勤王志.....三三
- 外人の日本志研究.....一

古代史.....七六

- 源平盛衰記.....七六
- 太平記.....七九
- 安土桃山史.....八一
- 徳川史實.....八三
- 慶長時代.....三三
- 明和——天明.....三三
- 嘉永安政.....三三
- 慶應.....三六
- 明治政史.....八七
- 國民性.....三三
- 仇討.....三三
- 邦人の日本觀.....二

七

〔思想史外〕日本思想史	二三	儒學志	二五
〔世相史〕日本世相史	二四	日本の開化	二五
外人の日本志研究	二六	奴隸志	二六
〔異變史〕日本災害史	二八	凶荒史	二九
噴火史	二九	風水害史	三二
海嘯史	三二	火災志	三〇
震災と其結果—産業—生命保險	三〇	暴動及一揆	二七

傳記

雲上明鑑	三〇	華族	八九	公卿	八九	宗教家	一〇三
日蓮上人	一〇三	教育家傳	一〇三	新聞記者	一〇三	美術家	一一一
畫傳及肖像	一〇三	先哲傳	一〇七	新井白石	一〇八	熊澤蕃山	一〇九
頼山陽	一〇一	文學者	一〇九	歌人	一一〇	俳優傳	一一三
官員錄	一〇〇	職員錄	一〇〇	官史	一〇六	政治家	一〇六
勤王志	一〇〇	政黨員	一〇一	元勳	一〇六	國務大臣列傳	一〇一
代議士列傳	一〇一	外交家	一〇一	法曹	一〇四	志士名士	一〇九
維新志士列傳	九九	對外先覺者	一〇二	吉田松陰	一〇〇	平野國臣	一〇〇
西郷隆盛	九六	勝海舟	一〇一	大隈重信	九六	明治志士列傳	一〇〇
伊藤博文	九六	英雄豪傑論	九四	武將傳	九四	將軍	九四
武鑑	三二	士族	八九	族本	九四	諸侯	九四

軍人傳	一〇五	乃木希典	一〇五	赤穂義士傳	一一四	忠臣藏	一一六
浪人	九〇	俠客傳	一一三	刺客及暗殺	九六	義民傳	一一七
地方名望家	一〇六	經濟學者	一〇四	實業家	一〇七	銀行家	一〇七
商人	一〇七	社會思想家	一〇六	醫人傳	一〇〇	科學者	一一〇
農學家	一〇六	工業家	一〇六	產業家	一〇六	婦人傳	一一三
畸人傳	一一三	自叙傳	一一三	偉人傳	一一三	言行錄	一一三
人物評傳	一一三	人物史傳	九〇	紳士錄	九〇	人名辭典	九〇

法律

日本法制史	一三三	法律發達史	一三四	古代法典	一三四	令	一三四
慣習	一三七	立法志	一三五	式目	一三五	御定書	一三五
田制	一三三	帝國憲法史	一三五	日本民法史	一三七	入會權史	一四一
手續法史	一三六	刑法史	一三六	警察志	一四三	犯罪志	一四三
監獄志	一四三	商法志	一三九	社會志	一三九	海法史	一四〇
陪審制度	一四二	辯護士會志	一四三	日本國際法史	一三九	支那母體日本法制史	一四二
朝鮮法制史	一四〇	臺灣制度史	一四〇	法律統計	一三九	監獄統計	一四四
刺客及暗殺	九六	囚人記錄	一四四				

政治 (附補民)

日本政治史	六八	議會史	七〇	貴族院	七〇
政黨史	七〇	日本法制史	七三	國勢調査志	一六〇
建白志	七三	政治思想史	七三	德川制度史	一六六
封建制度	一〇〇	武家制度	一〇〇	守護職	一〇〇
知行及領土	一〇六	參勤交代制	一〇六	勤方日記	一〇七
名主庄屋及村落	一〇七	地方自治制度	一〇七	氏族制度	一〇八
府縣郡町村是	一〇七	家族制度	一〇八	支那母體日本法制史	一一二
臺灣制度史	一四〇	政治地理	一四〇	印刷局	一一〇
消防志	一〇八	植民志	一四〇	移民志	一〇五
耕地整理志	一〇五	開墾史	一〇五	政談	一一七

外交

外交史	二七	外交思想史	二七	對外日本史	六
外國の影響誌	二六	對外思想史	二六	國際聯盟	二六
日米關係	二〇	日獨關係	二二	日露關係	二九
日蘭關係	二九	日本と南洋	三二	日露交通志	一七
日本財政史	一六一	豫算史	一六〇	租稅史	一六一
				關稅志	一一〇
				異船渡來記	二七
				日英關係	一一一
				日支關係	一八
				通商條約志	一一〇

財政

公債	一五	大藏省	三二	地方財政志	一三
國勢調査志	一六〇	富豪史	一三	度量衡史	一七
國防史	七二	海防史	七三	陸海軍史	七三
軍記戰記	七三	元寇役	七九	西南役	七九
日本經濟史	一五	經濟學史	一七	檢地	一三
各藩の土地制度	一三	割地制度	一六	富及所得	一六
貨幣史	一五	貨幣制度志	一五	金貨本位志	一六
金札及紙幣志	一六	錢貨志	一六	日本金銀志	一六
造幣史	一六	各時代の改鑄	一七	金融史	一七
質屋志	一七	富藏と探票	一八	無盡講	一八
物價指數	一六九	道中小使	一六九	米價志	一七〇
酒造と米價	一七〇	取引所と米價	一七一	收穫と米價	一七一
米價調節	一七一	消費組合志	二四	共濟組合	二五
産業組合志	一七	同業組合記錄	二〇一	農業經濟志	一七五
助郷	一七四	賃銀志	一七四	土地制度及政策	一三
				經濟問題	一八
				在外正貨志	一六
				貨幣學說史	一六
				金利志	一七
				物價史	一六九
				米價と常平倉	一七〇
				外米と米價	一七一
				勞働組合	二六
				米券倉庫志	一八〇

軍事

國防史	七二	海防史	七三	陸海軍史	七三
軍記戰記	七三	元寇役	七九	西南役	七九
日本古戰史	七三				

經濟

日本經濟史	一五	經濟學史	一七	檢地	一三
各藩の土地制度	一三	割地制度	一六	富及所得	一六
貨幣史	一五	貨幣制度志	一五	金貨本位志	一六
金札及紙幣志	一六	錢貨志	一六	日本金銀志	一六
造幣史	一六	各時代の改鑄	一七	金融史	一七
質屋志	一七	富藏と探票	一八	無盡講	一八
物價指數	一六九	道中小使	一六九	米價志	一七〇
酒造と米價	一七〇	取引所と米價	一七一	收穫と米價	一七一
米價調節	一七一	消費組合志	二四	共濟組合	二五
産業組合志	一七	同業組合記錄	二〇一	農業經濟志	一七五
助郷	一七四	賃銀志	一七四	土地制度及政策	一三
				經濟問題	一八
				在外正貨志	一六
				貨幣學說史	一六
				金利志	一七
				物價史	一六九
				米價と常平倉	一七〇
				外米と米價	一七一
				勞働組合	二六
				米券倉庫志	一八〇

商業

商業史……………一九
 商品志……………一九
 廣告志……………二〇〇
 簡易保險志……………一九九
 日本銀行……………一九八
 米穀取引所志……………一九八
 魚市場志……………一九九

商業教育史……………二〇〇
 賣買志……………二〇〇
 貿易志……………二〇一
 商工志……………一九九
 信託業志……………一九八
 棉花糸布取引所志……………一九九
 座考……………二〇〇

對外商業史……………一九
 問屋志……………二〇〇
 爲替……………一九九
 會社志……………一九九
 取引所志……………一九八
 砂糖取引市場志……………一九九
 商業會議所志……………二〇〇

商業道德史……………一九九
 簿記志……………二〇〇
 保險志……………一九九
 銀行史……………一九八
 株式取引所志……………一九八
 市場志……………一九九

交通

交通史……………一七三
 飛脚志……………一七三
 日露交通志……………一七三
 燈臺志……………二〇一
 鐵道建設志……………二〇〇

通信史……………一七三
 道路志……………一七三
 海運志……………二〇一
 倭寇志……………二〇三

運輸史……………一七三
 電話志……………一七三
 船舶志……………二〇一
 海賊志……………二〇四

驛選志……………一七三
 航空史……………一七四
 商船志……………二〇〇
 鐵道志……………二〇四

社會

社會史……………二二一

社會政策(史論)……………二二三

社會教育……………二二三

社會事業……………二二三

慈善事業……………二二五
 市營事業……………二二五
 免囚保護……………二二五
 婚姻志……………二四八
 生活史……………二五三
 服飾史……………二五三
 藝妓……………二五三
 戶口……………二三八
 貧民問題……………二二三
 勞働爭議……………二二六
 失業問題……………二二七
 副業志……………一九八
 農村問題……………二七

救濟事業志……………二二五
 消費組合志……………二二四
 產業組合志……………一九七
 離婚志……………二四九
 葬祭志……………二五三
 女性史……………二三八
 娼妓……………二二三
 住宅問題……………二三八
 日本社會主義志……………二二三
 勞働事情……………二二六
 小作爭議……………二二七
 鎮毒志……………一九四
 農村救濟志……………二七

救貧志……………二二四
 共濟制度……………二二四
 人口……………二二九
 出生……………二三〇
 人別志……………二二九
 婦人問題……………二三八
 花柳志……………二五三
 食糧問題……………二二三
 社會問題……………二二三
 勞働組合……………二二六
 高松問題……………二二七
 都市と村落……………二二一
 農村社會史……………二七

感化院……………二二四
 共濟組合……………二二五
 人口問題……………二三〇
 死亡……………二三一
 風俗史……………二五一
 賤業婦人……………二二三
 不良少年志……………二三八
 自殺史……………二三一
 勞働問題……………二二五
 同盟罷工……………二二六
 失業統計……………二二七
 公園……………二二一

統計

日本統計志……………二八
 產業統計志……………一九

教育統計……………二〇四
 農事統計……………二七

法律統計……………二八
 失業統計……………二七

監獄統計……………二四

醫學、藥學

醫史……………二〇九
衛生史……………二〇九
育啞及不具者志……………二一〇
藥志……………二一〇

疾病史……………二一〇

精神病志……………二一〇

理學、博物

數學史……………二〇五

日本植物誌……………二三〇

日本動物誌……………二三二

日本昆蟲類誌……………二三二

農業、園藝

日本農志……………一七四
農民社會史……………一七五
常平倉志……………一七六
農村問題……………一七七
米券倉庫志……………一七八
甘藷志……………一八〇
茶葉志……………一八三
薄荷志……………一八二
牛志……………一八四
農事統計……………一七四

農民史……………一七五
農家行事……………一七五
水利志……………一七六
農村救濟志……………一七七
麥志……………一八〇
腰蓆志……………一八二
煙草志……………一八三
畜產志……………一八三
園藝志……………一八一

農政志……………一七五
農業經濟志……………一七五
小作志……………一七六
稻作志……………一七六
小麥志……………一八一
糖業志……………一八二
漆志……………一八一
家禽志……………一八四
柑橘志……………一八一

農民生活志……………一七五
農民離村志……………一七六
永小作志……………一七六
米志……………一七九
大豆志……………一八一
綿志……………一八三
藍志……………一八一
馬志……………一八四
梨志……………一八一

工業及諸產業

治水志……………二〇七
上下水道志……………二〇八
化學工業……………一八七
毛織物志……………一八九
革志……………一八八
粉志……………一九〇
窯業史……………一九一
副業志……………一九六
鐵志……………一九七
石炭志……………一九八
銀鐵志……………一九九
鯨志……………二〇〇
發明志……………二〇一

土木志……………二〇七
工業志……………一八六
纖維工業……………一八八
本邦紡績の對支關係……………一八九
燐寸志……………一八九
眞田志……………一九〇
陶志……………一九一
電業志……………一九六
鐵物志……………一九七
金鐵志……………一九八
金石史……………一九九
鹽志……………二〇〇
產業地理……………二〇二

建築志……………二〇八
工場志……………一八七
綿紡績工業志……………一八八
染織志……………一九〇
硝子志……………一九〇
酒志……………一九〇
產業志……………一九七
電氣化學工業志……………一九七
鐵毒志……………一九八
鐵志……………一九九
水產志……………二〇〇
產業組合志……………二〇一
物產志……………二〇二

築港志……………二〇八
機械工業……………一八七
綿織物志……………一八九
紙志……………一九〇
麻志……………一九〇
醬油志……………一九〇
林業志……………一九六
電鐵志……………一九七
石油志……………一九八
銅志……………一九九
漁業志……………二〇〇
產業統計志……………二〇一

本書編纂の方針

- 一 本篇は弊店古典部の古書籍在庫目録編纂の繼續事業として弊店在庫の圖書雜誌類の中に就き、日本の歴史地理關係圖書のみを撰り出して、古典部員一同が書集めたものに過ぎません。また此目録原稿が切後入庫したものが相當澤山あります。再版の機會には澤山差加へ度いと思つて居ります。
- 一 本目録に収録した範圍は、和漢洋刊行圖書文献、寫本類よりパンフレット、報告書、統計書並に重要雜誌新聞に掲載せられた論文及資料にして、目録原稿が切當時の在庫品に限られて居りますが歴史・地理・經濟・商業・社會・法政・文藝等廣く網羅して可及的微細な部類にまでも及びました。
- 一 分類は必ずしも學問的の標準には據つてをりません。目録使用者の便利、資料の多寡等に依りました。例へば同一の項目に入るべきものに就ても資料が相當の分量に上つた場合には之を分離獨立せしめたるが如き、又普遍的内容を持つものは之を總體的な部類に編入せしめたるが如きこれでありませぬ。
- 一 項目は比較的細密なる件名によることにし、配列の順序は原則として一般より特殊へと分類する方法に據りました。

目録の見方

一 書名の上に附けました符號は左の如く其の圖書の大きさを表はしたものであります。

◎菊倍判(官報大)又は美濃判以上の大形

▲菊半截判

○四六倍判(實業之日本大)又は美濃判

■袖珍小形本

△菊判(キンケ大)又は半紙判

×三五判

□四六判又は美濃半截

×一枚刷

一 賣價の上にある算用數字は發行年次を、發行年號の上のゴチツク體數字は冊數を示したものであります。

一 採録せる雜誌名、竝に本書に使用せる書名略語は左の如くであります

(アイウエオ順)

亞細	東亞經濟研究	學士	東京學士會員雜誌	經濟	經濟論叢	國際	國際聯盟
イン	インベストメント	學志	學藝志林	慶學	慶應義塾學報	三評	三田評論
一橋	一橋	學論	帝國學士院第一論文集	藝文	藝文	三學	三田學會雜誌
一橋	一橋會雜誌	企社	企業と社會	警協	警察協會雜誌	山林	山林
江戸	江戸會誌	京法	京都法學會雜誌	工大	工業の大日本	財界	財界
大阪	大阪	金融	金融研究	工論	工業論	財務	財務
化工	化學工藝	銀研	銀行研究	公民	公民講座	財經	財政經濟時報
外時	外交時報	銀通	銀行通信錄	考古	考古學	產業	產業組合
改造	改造	總覽	銀行論叢	考雜	考古學雜誌	人文	人文地理
我觀	我觀	舊幕	舊幕府	皇典	皇典講究所講演	史地	歴史と地理
海公	海國公論	刑評	刑事法評林	國民	國民雜誌	史林	史林
海法	海法會誌	計理	計理學研究	國本	國本	史協	史學協會雜誌
海界	海之世界	經究	經濟研究(法政大學)	國知	國際知識	史界	史學界
海研	海事研究	經研	經濟研究(日本書院)	國院	國學院雜誌	史海	史海
海報	海事新報	經商	經濟及商業	國家	國家學會雜誌	史教	歴史教育
海運	海陸運	經評	經濟評論	國國	國家及國家學	史談	史談
解放	解放	經論	經濟學論集	國經	國民經濟雜誌	史學	史學
會計	會計	經學	經濟學研究	國際	國際法外交雜誌	志林	法學志林

社科	社會科學	水産	水産界	太陽	太陽	同論	同志社論叢
社政	社會政策時報	生協	生命保險協會會報	臺法	臺法月報	東公	東方公論
社研	社會學研究	石時	石油時報	臺計	臺灣統計協會雜誌	東西	東西
社問	社會問題研究	正義	正義	臺時	臺灣時報	東洋	東洋
社論	社會學雜誌	成功	成功	中公	中央公論	東亞	東亞の光
思想	思想	政治	政治學經濟學論集	中史	中央史壇	東時	東方時論
時經	時事經濟問題	政經	政經論叢	中銀	中央銀行通信錄	東經	東京經濟雜誌
商工	商工時報	稅	稅	地方	地方	東銀	東京銀行通信錄
商事	商事研究	辭滿	朝鮮及滿洲	地球	地球	東亞	東洋學雜誌
商海	商海	早法	早稻田法學	地雜	地學雜誌	取引	取引所研究
商研	商學研究	早政	早稻田政治經濟學雜誌	筑紫	筑紫史壇	都問	都市問題
商經	商業及經濟研究	早商	早稻田商學	朝鮮	朝鮮司法協會雜誌	統計	統計時報
商資	商業資料	早調	早稻田講義集	通商	通商彙報	統計	統計集誌
商論	商學論叢	ダイ	ダイヤモンド	帝農	帝國農會報	糖世	糖業世界
商濟	商業と經濟	大林	大日本山林會報	通信	通信協會雜誌	內外	內外論叢
商經	商業經濟論叢	大紡	大日本紡績協會月報	鐵協	帝國鐵道協會會報	內商	內外商工時報
商資	經濟資料	大鐵	大阪銀行通信錄	土史	土地史談	內論	內外時論
實日	實業の日本	大觀	大觀				

長編	長編高島野史	原編	大原社會問題研究所雜誌	法記	法曹記事	明治	明治法學
日人	日本及日本人	濱商	濱商會報	法研	法學研究	明學	明治學報
日社	日本社會學院年報	飛史	飛騨史壇	法曹	法曹會雜誌	雄辯	雄辯
日農	日本農業雜誌	飛史	飛騨史壇	法集	法政大學論集	洋社	洋々社談
日經	日本經濟新誌	評論	法律評論	法新	法律新報	洋經	東洋經濟新報
農世	農業世界	佛史	佛教史學	法論	法政論叢	養院	養育院月報
農研	農政研究	風俗	風俗研究	法憲	法學論叢	林報	山林叢報
農經	農業經濟研究	辯協	日本辯護士協會雜誌	保銀	保險銀行時報	龍門	龍門雜誌
八洲	大八洲學會雜誌	法公	法曹公論	貿通	貿易通報	歷地	歷史地理
反響	反響	法治	法律及政治	マル	マルクス主義	勞科	勞働科學研究
原ア	大原社會問題研究所アルヒ	法協	法學協會雜誌	民歷	民族と歴史	和巴	和歌山萬葉集
原バ	大原社會問題研究所パンフ	法政	法政新誌	民衆	民衆の法律	我等	我等

註文の仕方

六

- 一 御註文の圖書は「何頁掲載何某著何々」と明瞭に御指示を願ひます。賣價は中値段を付けてありますので同じ本でも中値より高價なものも廉價のものもありますから御急ぎでなければ一應御照會を願ひます。
 - 一 代金は可成前金で御拂込を願ひます。
 - 一 御急ぎの場合は代金引換便で御送付致しますから左様御指定を願ひます
 - 一 本目録は在庫品の一部を掲げたに過ぎませぬ尙多數珍本奇籍の持合があるのみならず断えず其の蒐集補充に力を注いで居りますから御序の節御立寄を願ひます。
- 又御研究範圍を御示し下されば折返し在庫品書名價額等御回報申上ます

- 一 本目録掲載の圖書は同業者と雖も一切割引いたしません。
- 一 地方へ送本の分は別に送料實費をいたゞきます。
- 一 雜誌類は初號より澤山取揃へ一冊宛にても分賣致しますから所要號數御照會下さい。
- 一 御註文の圖書品切の時は類書の目録を御送り致しますから御指圖御願ひ致します。外の書籍で御意に召しませぬならば暫く御待ち下されば他を探して見附かり次第御送附申上ます。其旨御申越お希上げます。
- 一 弊店の宛名は東京市神田區中猿樂町二番地巖松堂書店古典部、振替は東京三八八九番、電話は九段⁽³³⁾二二六一番でございます。又御來店には神保町市電停留所の直ぐ前です。

七

古本の御處分に就て

古本の賣拂には是非とも弊社古典部を御利用下さい。

宛名は東京神田中猿樂町二番地巖松堂書店古典部電話は
九段⁽³³⁾二二六一番です。

市内及東京近郊は電話又はハガキにて參上の時日を御
知らせ下さい。御來店被下ならば市電は神保町下車で直
ぐその傍です。

地方の方は書物を運送店に托して御送り下さるのが結

構と存じます。然し澤山で御座いますなら、御賣拂になる
書物の目録(概略)を添へて御申込下さい。丁寧に御返事致
しますし又どんな遠方へも出張も致します。

何れに致しましても現品を拜見致しませんと代價の確
定は出來兼ねますが概略の値段は申上げる事が出來ます。
本の種類は目録で大凡御解りでせうが錦繪でも法帖、
古寫本、古新聞又は古教科書類でも一切買受けます。而し
て古書籍在庫目録を大きく致し度いと存じます。

日本志篇目次大綱

第一頁より五六〇頁までは昭和二年刊の古書籍在庫目録(特價金六拾圓)に収めてありますから
 此處に再出致しません

日本志總說	皇室	編年史	日本通史	時代史	傳記	日本志各說	變災志	國體志	文藝志	宗教志	外交志	法制志
五二頁	五八頁	六〇一頁	六三三頁	六四九頁	六六六頁	六八四頁	六九一頁	六九七頁	七〇二頁	七〇七頁	七一三頁	七二〇頁
制度志	文藝志	風俗志	經濟志	事業志	農業志	物産志	畜産志	漁業志	工業志	鑛業志	商業志	民業志
七〇五頁	七〇九頁	七一三頁	七二六頁	七三二頁	七三三頁	七三三頁	七三三頁	七三三頁	七三三頁	七三三頁	七三三頁	七三三頁

官業志	公共事業志	社會志	日本地理總說	地方郷土誌	樺太	北海道	北海	奧羽	關東	中部	近畿	北陸	中道	南道	九州	琉球
七五頁	七五頁	七五頁	七三三頁	八〇二頁	八〇二頁	八〇四頁	八二二頁	八三二頁	八三五頁	八七一頁	八九〇頁	八九七頁	九〇七頁	九一四頁	九二四頁	九三〇頁
臺灣	朝鮮	新聞雜誌目錄	時事文獻	地理歷史	哲學教育	政治法律	經濟商業	工商業	工業	產業	農業	醫學	文學	家庭	學徒	趣味
九六一頁	九七三頁	九九五頁	九九五頁	九九八頁	一〇〇八頁	一〇一一頁	一〇三二頁	一〇四二頁	一〇四二頁	一〇四三頁	一〇五三頁	一〇六三頁	一〇七二頁	一〇八二頁	一〇八六頁	一〇九〇頁

芳名カード

新たに芳名カードを整理致し古書籍在庫目録速報篇を時々送呈いたし且つ名簿の中に永く記入させて戴き度く存じますので洵に御手数恐入ります。が御住所・御姓名・御趣味・御職業又は専攻科目等を御通知下されれば幸甚に存じます。尚ほ引續き御入用の方は送料として金五拾錢御送附下されれば一ケ年分送呈致します。

御住所	御姓名	御職業 又は 専攻科目
御趣味		

古書籍目録 日本志篇

巖松堂書店古典部 編纂

日本志

外人の日本志研究

- △日本約志 委島士天著 文久1寫七 圓
一八五六年荷蘭人委島士天著す所の地理志より特に日本志を抄譯したるものなり
- 長崎より江戸まで 蘭ケムフェル著 大7布參圓五〇錢
衛藤利夫譯
- △ペルリ日本遠征記 鈴木周作譯 明45布貳圓五〇錢
- 厄人譚談ノ起原其他 維新頃翻譯
- △歐人の日本研究 西田直二郎 史地 三大9・10 壹圓三五錢
- △プレストン氏の日本觀 金谷政雄 東經 明41 六拾 錢
- △ハナマ教授の日本西哥比較論 小泉信三 三學明43 九拾 錢

外人の日本志研究

- △日本印象記 ドウゼイン著 佛文 七 圓
Da pin-Le Japon moeurs
- 日本 人 ダルマス著 佛文 參 圓
De Dalmas—Les Japonais, 1885.
- △近代の日本 フレーヌ著 佛文 七 圓
Fraisinet—Le Japon contemporain, 1857.
- △近代の日本 ヴルヘン著 英文 布五 圓
Magovern—Modern Japan, 1920.
- △日本進化論 米ヤンダー著 二明12和四 圓
小松原英太郎譯
- 昔時の日本 小松原英太郎著 英文 明12和四 圓
ワオルターアニング著 英文 明12和四 圓
- 古代日本 アツバール著 佛文 布壹圓五拾錢
- △歐米人の日本觀 大日本文 明協會編 捕三明42布四 圓

日本志篇 一

五六一

- お札博士の見た東海道 スター著 石井眞峯譯 大5 壹圓 五拾錢
- △ルーズヴェルト氏の日本觀 淺澤榮二編和英對照 大9 壹圓 五拾錢
- 世界大たらんとする日米 佛シエオン著 思湖會譯 大11 四拾錢
- △最終日本紀行 シーボルト著 獨文 參圓 五拾錢
- Ph. Fr. Siebold. — Letzte reise nach Japan 1853—1862, 1903.
- △日本及支那印象記 オットント著 和蘭語 華五 圓
- Laurence Oliphant. — Keis door China en Japan, tweede deel, 1895
- 日本及支那紀行 マルテツグ著 六頁落丁獨文布貳圓五〇錢
- Hesse Wartegg. — China und Japan, 1897.
- 日本の娘及婦人 ヴェーマン著 英文 布參 圓
- Alice Imbel Inoon. — Japanese Girls & Women, 1902.
- 日本の風習及行政研究 ノーナン著 英文 布貳圓七〇錢
- Hemery Norman. — The Keai Japan
- △日本及極東 エドモンズナル版佛文大13 五拾錢
- △日露戦争に對する印度人の觀感 松宮常一郎外時明 37 壹圓貳拾錢
- △日本の恩人ウエストレーク博 高橋作衛 國際大2 七拾五錢
- △日本の日本に關する最後の言
- △告日本國 ボーリリシヤール著和英對照 大7 布壹圓 貳拾錢
- △サキストンの日本記 セルデン著 英文 布壹圓 八拾錢
- D. A. Selden. — Joe Saxton in Japan, 1897.
- △歐米人の書ける日本史の彙 牧健二 二四 大10 貳拾四圓
- 史林

邦人の日本觀

- △田舎の日本 木下義道著 明41 壹圓 五拾錢
- △夏の夢日本の面影 末松謙澄著 大5 布壹圓 貳拾錢
- 祖國を顧みて 河上肇著 大9 布壹圓 貳拾錢
- 大戰後の世界と日本 徳富蘇峰著 大5 布壹圓 貳拾錢
- 日本を見る 木村莊八著 大3010 壹圓 五拾錢
- 小日本歟大日本歟 鈴木天眼著 大3 布五 圓
- 現代の日本 日蘭協會編 英文 大3 布五 圓
- Japan—Netherlands Society—Japan of to-day, 1914.

日本の現在及未來

- △二十世紀初期の日本 農商務省編英文 明3736 布貳圓 五拾錢
- Japan in the beginning of the 20th Century,
- 二十三年未來記 未廣重恭著 明2019 壹圓 五拾錢
- 將來之日本 徳富猪一郎著 明4338 八拾 四錢
- △世界に於ける日本之將來 矢野龍溪著 明2019 壹圓 五拾錢
- △日本の現在及將來 田尻稻次郎著(財政的觀察) 明43 布七拾 錢
- 歐洲戦後の財界と日本之將來 田尻稻次郎著 大4 布八拾 錢
- ▲日本膨脹論 後藤新平著 通俗大學文庫 大5 布七拾 圓
- △日本改造の意義及其綱領 鈴木梅四郎著 大8 布壹 圓
- △日本の現状研究 宮下編(諸名士論策) 新大15 布貳圓 參拾錢
- 日本民族の將來 田中寛一著 大5 八拾 錢
- △大正の青年と帝國の前途 徳富蘇峰著 大6 壹圓 八拾錢
- △歐洲大戰と日本の將來 山口圭藏著 大6 壹圓 八拾錢
- 世界の趨勢と日本の現状 尾崎行雄著 大10 8 拾 錢
- 白福と日本の將來 日高瓊々彦著 大12 貳拾 錢
- 日本はどうなる? 谷本富著 大7 貳拾 錢
- 帝國の將來 原敬 貿易 大12 貳拾 錢
- △日本及東洋の將來 野澤源之丞編 世界思潮研究會 大10 四拾 錢
- △日本今後の地位 小林五三郎 東經 大8 壹圓 八拾錢

日本人

- △日 本人 政教社 明21 創刊明23 廢 散賣貳拾 五錢
- 日本及日本人 政教社 明24 創刊・月二 散賣貳拾 五錢
- △世界ニ於ケル日本人 渡邊修二郎著 明23 布七圓五〇錢
- 日本と歐米との交渉・日本と西南洋諸國との交渉・日本と亞細亞大陸東部との交渉に大別し内外形勢通覽表を以てす
- 日本の現在及未來 日本人 歴史地理

- 現代日本論 鶴見祐輔著 澤田謙譯 新昭2 布壹圓 六拾錢
- Contempo ary Japan by Y. Tsunumi
- △世界に於ける日本 二階堂保則 統集 大14 五拾貳錢
- △世界の重鎮日本帝國 杉波仁一郎 外時 大14 五拾貳錢
- △世界に於ける日本の地位 寺尾亨 明法 二明36 壹圓 三五錢
- △國際法上日本の地位 深井英五 外時 明34 壹圓 三五錢
- △世界に於ける我國の國際的地位 田崎仁義 長二大14 貳圓
- △戰時國際公法上の日本帝國 有賀長雄 國家 明27 壹圓 七拾錢
- △我日本の國際的地位 稻田周之助 外時 大12 壹圓 三五錢
- △開國大勢史論 大隈重信 東經 大2 壹圓 三五錢
- △戰後日本の國家的構造 阪谷芳郎 國家 明39 壹圓 拾錢
- △日本國民に告ぐ 村瀨武比古 法治 大11 39 拾 錢
- △不入望なる日本と葡萄牙 米田實 外時 大8 五拾 錢
- △東西の島帝國 副島道正 外時 大11 五拾 錢
- △日本乎英國乎 日高進著 大7 壹圓 五〇錢
- △呪はれたる日本 佐藤鋼次郎著 大10 參 圓
- 世界に於ける日本の地位 浮田和民 太陽 大5 八拾 錢
- 極東に於ける日本の地位 伊集院彦吉 太陽 大5 八拾 錢
- 外交上に於ける日本の地位 内藤湖南 太陽 大5 八拾 錢
- 戦後の日本の地位を論ず 大隈重信 新日大6 六拾 六錢
- 世界に於ける帝國地位の自覺 澤柳政太郎 實日大7 參拾 錢
- 戦後の國際政局に於ける日本の立場 高橋作衛 實日大6 參拾 參錢
- 世界的の日本 大隈重信 實日 大6 參拾 參錢
- 世界變局に對する帝國の國際的地位 後藤新平 新日大7 六拾 圓
- 世界之日本 桑原信助編 大10 參 圓
- 外交的岐路に立つ日本 坂本義孝 外時 大14 五拾 錢
- 我帝國の地位 飯田延太郎 生協 大14 壹圓 貳拾錢

歴史地理

- △日本人長所短所論 佐藤正著 大2 布參 圓
- 日本及日本人の道 大川周明著 新大15 布壹 拾 圓
- △上代日本人より現代日本人へ 佐野學述 大13 參拾 圓
- △日本歴史地理之研究 吉田東伍著 大13 革五圓五〇錢
- 江戶の歴史地理 瀨戸内海權史論
- 江戶の地理 元弘帝隱岐島行在
- 入間郡の地理 伯岐國の發見
- 江戶治水と洪水 下關二千年史の序引
- 利根川の變遷と修治 大宰府の建置
- 伊奈忠の變遷 古の郷の五戸と家に就いて
- 新田義興の治水 郷の五戸といふこと
- 新田義興の治水 郷の五戸といふこと
- 歴史上より比較したる房總半島 我國都會成立の大要、特に町の
- 形見の地方 由來
- 奈良平安朝時代の武藏相模 九郎左遷新論
- 奈良平安朝時代の知行制度 北朝正統の所在
- 奈良平安朝時代の尾參遠地方 皇位正統の所在
- 美濃尾張平野の地變につきて 應長征韓役の捕虜の倭中聞見錄
- 尾州の産業發達 島津家の政變と井伊大老
- 安宅の關の地變 慶喜公の返上の大精神
- 越後の國土と彌彦神社 鎌倉時代の莊園制度と權利の變化
- 北浦原の古地埋田事業 古倉時代の莊園制度と權利の變化
- 溝口家の治地埋田事業 古倉時代の莊園制度と權利の變化
- 安達太郎吾妻次郎の震動洪溢 古倉時代の莊園制度と權利の變化
- 出羽國府遷廢考 古倉時代の莊園制度と權利の變化
- 戰國以後江戶時代の奥州 古倉時代の莊園制度と權利の變化
- △歴史及地理講義 地理歴史學會 合本明33 4 四圓五〇錢
- △歴史の日本地理 矢津昌永著 大6 布參 圓
- △歴史地理學 坪井九馬三述 早大 壹圓 八拾錢
- △明治初年に於ける國史地理の諸問題 藤井述史 地大13 五拾 錢
- 日本志篇二 五六三

桃園天皇御著到百首(寶曆十一年三月同六月)

後三條天皇御記

御製集第一卷

後鳥羽院御記

後醍醐天皇御製

順德院御記

光格天皇御製

後深草天皇御記

光格天皇御製

伏見院御記

光格天皇御製

後小松院御記

光格天皇御製

宸記集下卷

御製集第一二卷

宸記集上卷

仁孝天皇御製

花園天皇宸記

孝明天皇御製

詔勅集上卷

昭憲皇太后御歌

天照大御神

御記纂

神武天皇

村上天皇御記

仁明天皇

一條天皇御記

詔勅集下卷

後朱雀天皇御記

龜山天皇

真福寺本古事記

皇室御撰解題

古事記上卷抄

○大12方14拾八圓

古事記下卷抄

和田英松

口遊(國寶)

大鏡等本

日本國見在書目録

方丈記

將門記(國寶)

水言鈔等本

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

法曹類林等卷

○日記綴出地

文政13方文久3寫本五圓

△親元日記

文化大學史誌叢書 抽七和裝八圓

△親俊日記

文化大學史誌叢書 抽三和裝四圓

△晴豐日記

文化大學史誌叢書 抽三和裝四圓

△勤王事跡部日記

有馬新七著(幕末自己經歷記)明35壹圓五拾錢

△大館常興日記

文化大學史誌叢書 抽六和裝七圓

△相馬日記

高田與清著 抽四和裝參圓五拾錢

△鹿島日記

高田與清著 和裝參圓八拾錢

△觀修寺經理日記

日本史籍協會 洋裝參圓

△開書

寫本 貳圓五拾錢

△日本傳説叢書

藤澤衛彦著 抽一三六方8貳拾五圓

北武藏の巻

大6666

上總の巻

大6666

信濃の巻

大6666

阿波の巻

大6666

日本傳説研究

藤澤衛彦著 卷二二 二大14布四圓

唐桂樹技注

文政8和壹圓五拾錢

新井若美著

六明26和壹圓五拾錢

白石著今泉定介校

明36布壹圓貳拾錢

齊藤竹堂著

二嘉永6和壹圓參拾錢

矢野滄溟著

明345 壹圓八拾錢

山路愛山著

明345 壹圓八拾錢

唐桂樹技注

文政8和壹圓五拾錢

新井若美著

六明26和壹圓五拾錢

白石著今泉定介校

明36布壹圓貳拾錢

齊藤竹堂著

二嘉永6和壹圓參拾錢

矢野滄溟著

明345 壹圓八拾錢

山路愛山著

明345 壹圓八拾錢

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

藤澤衛彦著

卷二二 二大14布四圓

○日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

△日本民族の歴史

民族と歴史特輯 大10布參圓

△大和民族の使命

衣斐針吉編 大5貳圓

△日本民族之信念

寛克彦述 大5貳圓

△日本民族史

日本民族史 日本志篇 二七 五七七

△日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

△日本民族の歴史

民族と歴史特輯 大10布參圓

△大和民族の使命

衣斐針吉編 大5貳圓

△日本民族之信念

寛克彦述 大5貳圓

△日本民族史

日本民族史 日本志篇 二七 五七七

△日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

△日本民族の歴史

民族と歴史特輯 大10布參圓

△大和民族の使命

衣斐針吉編 大5貳圓

△日本民族之信念

寛克彦述 大5貳圓

△日本民族史

日本民族史 日本志篇 二七 五七七

△日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

△日本民族の歴史

民族と歴史特輯 大10布參圓

△大和民族の使命

衣斐針吉編 大5貳圓

△日本民族之信念

寛克彦述 大5貳圓

△日本民族史

日本民族史 日本志篇 二七 五七七

△日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

△日本民族の歴史

民族と歴史特輯 大10布參圓

△大和民族の使命

衣斐針吉編 大5貳圓

△日本民族之信念

寛克彦述 大5貳圓

△日本民族史

日本民族史 日本志篇 二七 五七七

△日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

△日本民族の歴史

民族と歴史特輯 大10布參圓

△大和民族の使命

衣斐針吉編 大5貳圓

△日本民族之信念

寛克彦述 大5貳圓

△日本民族史

日本民族史 日本志篇 二七 五七七

△日本先住民族史

藤原相之助編 大5布六圓五拾錢

△日本民族の將來

田中寛一著 新大15布貳圓參拾錢

- △人口及人種 喜田貞吉 歴史 明12 貳圓貳拾錢
- △明治時代と日本版圖内の人種 坪井九馬三 地球大9 五拾錢
- △古代に於ける武士名稱と其民族的研究 喜多史林 大6 壹圓拾錢
- △歴史上より見たる上代日本海沿岸の人民移住 明18 壹圓九拾錢
- △考古學上より見たる九州の古代民族 澤田耕作 史大10 五拾錢
- 遺跡遺物より見たる日本先住民の研究 大野雲外(延太郎)著 新大15 布壹圓五拾錢
- ◎法律上に於ける日本人種 澤田俊三 新開三 明40 六拾參錢
- △國 栖の名義 喜田貞吉 史林 大8 壹圓
- △準 人 志 齊藤美澄 學志 明17 壹圓七拾錢
- △日本四大民族占據地の沿革 久米邦武 歴史 明27 壹圓七拾錢
- △日本人種論並其賤の別 横山由清 學志 明5 貳圓貳拾錢
- △南洋と日本民族 鶴見祐輔 鐵協 大5 七拾貳錢
- 日本民族の將來 井上哲次郎 雄辯 大12 八拾八錢
- 日本民族の將來 瀧川龜太郎 日人 大12 參拾錢
- △古代に於ける日本民族 大野雲外 歴史 大9 五拾錢
- △脅威されつゝある日本民族 下村宏 外時 大10 五拾錢
- △人類學上より見たる日本人の民族性の一つ 鳥居龍藏 大11 參拾錢
- 日本民族の現實問題 阪東鋼本 日人 大11 參拾錢
- △祖先民族の來住 住田正一 海研 大14 五拾錢
- △一支那人の觀たる日本民族の特性 黒田義信 東洋大14 五拾錢

穢多賤民誌

- △穢多彈左工門由緒芝居由緒 橋川寫安政 3 六圓
- 特殊部落研究 高橋貞樹著 民族と歴史増刊 大13 壹圓五拾錢
- △古代 賤民考 三浦周行 史雜 明25 31 壹圓五拾錢
- △餘戸考(穢多の起源) 喜田貞吉 社史 明17 12 壹圓九拾錢
- 小林庄次郎 歴史 大11 壹圓

奴隷志

- △日本奴隷史 阿部弘藏著 大15 布壹圓七拾錢
- △本邦古代の奴隷に就て 瀧川政次郎 我等 大11 五拾錢
- △官戸奴隷の待遇 瀧川政次郎 我等 大11 五拾錢
- △本邦古代に於ける奴隷虐待の風習及法規 瀧川我等 大11 五拾錢
- △本邦古代奴隷解放に就て 瀧川政次郎 我等 大12 壹圓
- △本邦古代奴隷の人口と其分布 瀧川政次郎 我等 大12 五拾錢
- △本邦古代奴隷の用途に就て 瀧川政次郎 我等 大13 五拾錢
- △品部 雜古考 川上多助 民歴 大5 七拾貳錢
- △驅使部と土使部 喜田貞吉 民歴 大4 七拾八錢
- △土師氏と土師部 喜田貞吉 民歴 大9 壹圓八拾錢
- △問 人 考 喜田貞吉 歴史 大10 壹圓參五錢

姓名考

- 姓氏家系辭書 太田亮著 厚冊 大9 革拾圓
- △姓氏 明鑑 姓氏研究会 大1 布六圓五錢
- 訂 新撰姓氏錄 源沼彦藤長年校正 四文化4 和五圓
- △新撰姓氏錄考證 栗田寛著 揃三洋裝 拾八圓
- 補 本朝姓氏類纂 丸山温審輯 栗田寛寫 慶應3 四圓
- △姓名 學大觀 佐々木泰幹著 大13 布六拾錢
- 人名考 准后准三后考 新井君美著 甘雨亭叢書 和七拾錢
- △古代 氏族制度 太田亮著 大6 布五圓五錢
- 氏 族 考 近藤瓶城著 歴史 揃二和裝 壹圓貳拾錢
- △姓 氏 雜 考 太田亮著 歴史 明34 壹圓貳拾錢
- △御子代御名代考 小中村清矩 史雜 明13 23 壹圓九拾錢
- △御名代御子代考 喜田貞吉 歴史 明13 23 貳圓拾六錢

姓名考 日本考古學

- △古 古 界 考古學會 明36 創刊・月一 散賣五拾錢
- △考古精說 八木獎三郎著 洋裝 五圓
- △考古學研究法 八木獎三郎著 洋裝 六圓
- △考古便覽 八木獎三郎著 洋裝 七圓
- △考古學雜誌 考古學會 明43 創刊・月一 散賣五拾錢
- 有史以前乃日本 鳥居龍藏著 大7 布參圓
- ◎先史考古圖譜 大野延太郎著 明37 布拾圓
- 日本石器時代圖譜 神田孝平著 英文 貳圓
- TKanda—No. 5 on Ancient Stone Implements, & c., of Japan. 1931
- 上代の東京と其周圍 鳥居龍藏著 新大15 布貳圓五拾錢
- 武 相 考 古 石野瑛著 新大15 壹圓五拾錢
- 豊後磨崖石佛の研究 櫻田述 京大考古學 大13 拾圓
- △日本考古學 八木獎三郎著 明31 參圓五錢
- △日本考古學 モンロー氏著 英文 貳拾圓

日本志篇 一八 五七九

天皇 皇后 太上天皇、皇太后

○舊典皇位繼承篇 横山由清 編元老院藏八明27和四圓五〇錢

△皇統略 東城免幾雄著 横嘉永4和壹圓五拾錢

△集成御系譜考 屋井冠山編 揃四明7和壹圓八拾錢

○皇位繼承篇補遺 福羽美靜著 揃四大5和參圓

天 皇

○帝王通載 古事類苑帝王部 和六拾圓

△天皇の本質 寛克彦 法協 大7五拾錢

△胎中天皇 美濃部達吉 史林 大6五拾錢

△神武天皇創業史 西山金太郎著 大1和壹圓五拾錢

△神武天皇御傳記 菊井憲藏著 大4和壹圓五拾錢

○神武天皇征伐秘略 太田和 鉄入一三天正7貳拾五圓

△武烈天皇紀正論 齋明天皇紀童考藤原彦磨著南洞堂寫壹圓

○宇多天皇事記 楠忠雄編 史料 大8和壹圓

○宇多天皇事記 古書保存書屋版 揃六五圓五〇錢

△天皇と皇帝・大日本と日本 中村進午 新報 明29壹圓六拾錢

△安徳天皇潛幸遺蹟 高山昇編 明31壹圓

○崇徳天皇御座所縁起 金華山妙成就寺 明39和貳圓貳拾錢

△安徳天皇御事蹟論 阿部銀眼著 明39和貳圓貳拾錢

△安徳天皇御陵に就きて 高山昇 皇典 新昭27和貳圓四拾錢

△長慶天皇御即位の研究 八代國治著 新昭27和貳圓四拾錢

△長慶天皇御即位に就ての研究 八代國治 史雜 明30壹圓五拾錢

△孝明天皇御遺徳 工藤武重著 明30壹圓五拾錢

○太上天皇 皇附 古事類苑帝王部 和貳圓

○鳳子立 太后 上田景二編 大3布壹圓五拾錢

○皇太子附皇太子妃 古事類苑帝王部 大10和貳圓貳拾錢

○日本皇太子史論 三宅武郎著 大10和壹圓

△曠古盛典東宮御慶事録 河野康三郎編 明33壹圓五拾錢

△東宮御立史 箕輪治三郎著 大5布壹圓五拾錢

△東宮御立史 箕輪治三郎著 大5布壹圓五拾錢

△皇太子未來記 天章禪師校 明33壹圓五拾錢

△立太子禮の要旨 文部省 大5五拾圓

△立太子式奉祝號 歴史地理 大5五拾圓

○皇室 皇儲 攝政 皇室 宮廷

○古事 帝王部 神宮司廳藏版 明29革四圓五〇錢

○皇室 御史 廣池千九郎著 明26 貳圓二〇錢

日本志篇 三 五八二

○今上陛下御文録 高橋爲吉編 明44革壹圓八拾錢

△明治天皇御一代記 河野正義編 大1革壹圓八拾錢

△先帝餘光明治御年譜 菊地勇編 大1參拾圓

△明治天皇御傳 項藤光輝著 大1壹圓貳拾錢

△明治大帝畫請附御逸事集 杉謙二編 大1布壹圓貳拾錢

△聖徳餘聞 龜井忠一編 大1布壹圓五拾錢

△明治之天皇 杉謙二編 大1布壹圓五拾錢

△明治天皇と佛教 大内青巒著 大1壹圓七拾錢

△明治天皇と居家處世 長井實田中英一編 大1壹圓拾錢

△明治天皇宸翰 三條實憲氏藏寫眞版 五寸・九寸 壹圓拾錢

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

○世界に於ける明治天皇 望月小太郎纂 大2布參圓

太上天皇、皇太后

○皇室 野史 廣池千九郎著 明26 參圓

△皇室制度稿本 有賀長雄編 大4 九圓

△皇室日誌 編輯資料 宮内省本 慶應3方明5寫貳拾圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

日本志篇 三 五八三

○皇室 野史 廣池千九郎著 明26 參圓

△皇室制度稿本 有賀長雄編 大4 九圓

△皇室日誌 編輯資料 宮内省本 慶應3方明5寫貳拾圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

△皇室の制度典禮 植木直一郎著 大6布參圓

皇室統計書

○皇室統計書 同調査課 明3年度 布五圓

△皇室統計書 同調査課 明3年度 布五圓

△皇室統計書 同調査課 明3年度 布五圓

△皇室統計書 同調査課 明3年度 布五圓

△皇室統計書 同調査課 明3年度 布五圓

皇室沿革圖解

○皇室沿革圖解 大槻東陽編 明3和壹圓七錢

△皇室沿革圖解 大槻東陽編 明3和壹圓七錢

△皇室沿革圖解 大槻東陽編 明3和壹圓七錢

△皇室沿革圖解 大槻東陽編 明3和壹圓七錢

△皇室沿革圖解 大槻東陽編 明3和壹圓七錢

皇室の事務と國家の事務

△皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大7 五拾錢

△皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大7 五拾錢

△皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大7 五拾錢

△皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大7 五拾錢

△皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大7 五拾錢

皇室の法一斑

△皇室の法一斑 美濃部達吉 法協 大117 八拾錢

△皇室の法一斑 美濃部達吉 法協 大117 八拾錢

△皇室の法一斑 美濃部達吉 法協 大117 八拾錢

△皇室の法一斑 美濃部達吉 法協 大117 八拾錢

△皇室の法一斑 美濃部達吉 法協 大117 八拾錢

親王 献上及天覽 女官 宮城 帝都

○法規分 宮廷門 内閣統計局 明26 七 圓
類大全 並儀制門族爵門

△推新前の 宮廷生活 下橋敬長述 大11 壹圓五拾錢
△雲 上 秘 田中萬逸著 大5 布壹圓八拾錢

○天明八年三月禁裏院中炎上ニ付天 伊集院彌 終落丁五 圓
氣御伺御機嫌御伺一件首尾留書 平衛門寫

○鳳闕見聞圖説 源宗隆寫 描三 貳拾五圓
京都宮城内を圖説すること最も詳細を極む。一々故事沿革を頭
註又は傍註せり珍奇と謂ふべし

○安内裏新造記 輸入 寫本 六 圓
寫本 八 圓

○南殿記 皇居(京都)内南殿造作苑内草木並殿内恒例毎日の次第等を記し
たるものなり。漢文多くして送假名を附せり 寫本 八 圓
×禁裏御所炎上箇所明細圖 一尺二寸八分 寫本 壹 圓
×雜々々 日記 (宮中に關する諸記録) 明歴8寫本 壹 圓

○皇親附皇親妃 古事類苑帝王部 明34 和貳 圓
△護其親王御傳 岡谷繁實著

○伏見貞愛親王日記外三 式部寮用筆寫本四 拾 圓
伏見貞愛親王宣下、御元服、紋 同親王二品宣下之記—文化二年
品宣下日記—明四年 同親王御元服任官記—嘉永元年
伏見貞親王宣下之記—寛政二年 式部寮用筆 寫本 三 五 圓
伏見親王宣下之記 式部寮用筆 寫本 三 五 圓

○伏見親王宣下之記 式部寮用筆 寫本 三 五 圓
享和二年伏見親王二品宣下之記 安永五年伏見親王三品宣下之記
安永七年伏見親王二品宣下之記 式部寮用筆 寫本 貳 圓
△兵部卿護其親王 木村慶太郎清水孝教著 明45 布壹圓五拾錢
○伏見貞親王三品之記(寛政十年六月)式部寮用筆 寫本 貳 圓

△威仁親王英國御留學費調書 寫本五參 圓
○伏見貞親王一品牛車宣下之記(天保五年一月)式部寮用筆 寫本 壹 圓
○和宮御事蹟 桑原隨旭述 明2 壹 圓

△日本遷都考 平本定智著 和製六 圓
△東京京都に關する一考察 森谷秀亮 史雜 大15 五 拾 錢
△東京京都の真相 岡部精一著 大6 布壹圓五拾錢

○内裏御繪圖 禁裏大繪圖 三尺四寸九分 寫本 寶永6 和四圓五〇錢
×内裏 裏 一尺二寸—林喜兵衛板天保8 和壹 圓
×文久改正内裏御繪圖 二尺二寸—平野厚板 文久3 和貳 圓
×内裏細見之圖 一尺二寸—彩色校正再刻和壹圓五拾錢
×禁裏裏之圖 一尺六寸—彩色 和壹圓五拾錢

○山陵 古事類苑帝王部 和參 圓
○山陵志 蒲生君平著 和參圓五錢

△山陵考略 山川正宣著 大13 布參圓五〇錢

△聖蹟圖志 津久井清影識 銅版 嘉永7 和五 圓
△皇陵史稿 後藤秀徳著 附柳澤吉保論 大2 六 圓

△皇陵及歷代御事蹟 日吉明助著 明41 布四圓五〇錢

△皇陵 日本歴史地理學會編 大2 貳圓五〇錢

△山陵の研究 山口銳之助著 大15 壹圓五拾錢
×陵墓の一覽 宮内省踏察編 折本 明34 壹 圓
内裏御繪圖 御陵 皇陵參拜 宮中儀式制度

日本志篇 二 五八四

○悠紀齋田記録 愛知縣藏版 大5 參 圓
大正三年二月愛知縣が悠紀の地方に勅定せられ嘉穀奉獻の榮を
擔ひ讀んで孫傳奉仕に努めたる願末を輯録したるもの

○和宮樓御車入御供奉書 彩色繪入 寫本 文久1 和壹 圓
○和宮樓御通行に付取調向請印帳 寫本 文久1 和壹 圓

○宮城御出門二重橋圖 香朝樓國貞筆 明22 和貳圓五〇錢
錦繪 撰三

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

○宮城御出門二重橋圖 錦繪 撰三 明22 和貳圓五〇錢

行啓 勅使 詔勅 元號 和漢洋年契

△美ゆきののあと 栗原廣太郎 大1布貳
△御臨幸上野公園之圖 周延筆(武術觀覽圖)錦繪三明16拾錢
×内國勸業博覽會開場御式之圖 楊洲筆錦繪三明10和五拾錢
×國會開式新皇居二重橋御出門之圖 楊洲周延筆錦繪三明22貳圓

○大宮御移徙行啓(明治三年二月十一日)式部寮用箋 寫查
○行啓御列帳 外三 小虫寫本四明13貳圓
外御幸御列帳 御東幸御用留 三重山梨京都府御巡幸見合書類 圓圓

△中山公江府問答 (中山公江府問答次第) 文化3寫查
○中山公江府問答 文政6寫查
○白川小夜問答 (中山公江府問答始末) 嘉永3寫查
○中山公江府問答 享和3寫八拾錢
本書は共に寛政六年中山愛親、太上天皇宣下の件に關し東下の次第を叙したるものなり
△中山公江府問答 寫本 壹圓
△以武田宮内卿高松留主江返答之一冊 文久2寫查 圓圓
勅使讀味守、神奈川本陣御宿に於ての紛争事に關する記録 圓圓

○法規文詔勅式 附御覽官印 無鉄入明14 四六
○制 勅 錄 (自慶應三至明治三年) 五 圓

△大 詔 志田力二編 神代・上古・中世・近代之卷 大9布參圓五〇錢
△歷代詔勅集 新堀忠太郎編 揃二明43革貳圓八〇錢
△歷代詔勅全集 柴田勇之助編 揃二明42布參圓
○歷朝詔勅錄 同發行會 鉄入二明36和貳圓五〇錢

○增補 四裔年表 廣瀬乘信著 明11布壹圓八拾錢
○新補 東四年表 井上頼國大槻如電撰 新昭2和壹圓
○世界の寶(和漢洋年表) 河村貞山編 明19布六拾錢
△萬國 大 年表 棚橋一郎小川銀次郎編 明40布七拾錢
△模範最新世界年表 三省堂編 大15布壹圓五拾錢
○各國分類年表 渡邊修二郎著 明39 參圓
▲世界歴史對照年表 黒板勝美編 大107布六拾錢
▲事項詳解西洋歴史年表 島田増平編 大107布六拾錢
▲最新世界年表 富山房編 改訂版中本大8和壹圓貳拾錢

和漢年表

倭漢年表錄 橋龍編 梅村屋板 貞享4和貳圓五〇錢
×掌中和漢年表 陸可彦編 享和1和五拾錢
×掌中和漢年表大成 天保10和五拾錢
○和漢年表 三村其原編 慶應2和五拾錢
○和漢年表 蘆屋山人著 寛政9文政2和五拾錢
○日本二千年袖鑑 松川牛山編 揃三嘉永5和貳圓五〇錢
○日本東洋歴史大年表 富本時次郎著 明39和壹圓貳拾錢
△二千年袖鑑 和壹圓五拾錢

本朝年代記

○史籍年表 伴信友著 正續揃二和裝拾參圓
○日本史籍年表 小泉安次郎編 明36革八圓
和漢年表 本朝年代記

和漢年表 本朝年代記

日本志篇 元 五八八

△明治詔勅全集 柴田勇之助編 明28布壹圓
△明治聖勅集 佐村八郎編 明28布壹圓
△明治維新聖訓集 神州社編 第一輯 大14布壹圓五拾錢
○皇國總覽 明治勅語 植村泰通編 明1和壹圓
○今上詔勅集 福田滋次郎編 明38布七拾錢
○宣戰詔勅義解 岩瀬眞澄述 野田義夫述 明37布七拾錢
○國民精神作興ニ關スル詔書行義 野田義夫述 大13布五拾錢

○本改元考 山崎垂加著 延寶5和五圓
文武天皇の大寶元辛丑より靈元天皇の延寶元癸丑に至る改元の月日を示し卷末に古來の年號改元革命等の事を考説せり
△弘化改元公卿雜陳問答 朱入寫本 壹圓
元(慶應元年八月八日) 外記局寫本 壹圓五拾錢

○倭蘭年表 蘭オウトモンエセ著鉄入 安政2和壹圓二〇圓
上世太古アダン時代天地創造の始期に筆を興し中世新世界の事象を述べ次で四大洲開闢の圖に及び皇國紀元重仁天皇の辛酉年より嘉永庚戌に至る迄の和蘭國年表にして毎年の下に各其の緊要事を掲げたり
○大成年代廣記 須原屋板 寛政9和參拾錢
○武德編年集成 辻重遠編一八卷内七卷缺七慶應1貳圓
○萬國渡海年代記 華律外史著五寸堂藏版 和八圓五〇錢
龜山院の文永四年より嘉永年間に至る年代記にして長崎唐人津・魯西亞將師等の彩色繪も收めたり
○西洋諸夷年表 寫本 參拾八圓
明應八己未年より弘化元甲辰年に亘る重要事の略記なり
○改正和漢洋年表 市岡正一著 明7和壹圓五拾錢
○新撰和漢洋年表 清宮秀堅編 嘉永7和壹圓五拾錢
○增訂新撰和漢洋年表 清宮秀堅原著 明44和八拾錢
○世界大 年表 歴史研究會編 明36和壹圓五拾錢

和漢洋年契

△本朝年代記 田登仙編 揃九貞享1和拾參圓
○大日本帝系及年代記 庄右衛門開板 揃二寛永7和拾圓
○武家泰平年表 忍屋隠士輯 寫本 揃九 八圓
○大日本國帝王年代記 吉田光由 智撰 二延寶2和貳圓五〇錢
○本朝年號便覽 速水小房常編 天文1和貳圓
○累年代記(武將略傳) 本屋金太郎板 和五拾錢
▲年代記 八屋又左衛門尉板 寛永10和貳圓五〇錢
×寶年代記 須原屋板 和八拾錢
×改正中興年號重寶記 須原屋板 一尺三二尺 和四拾錢
×重要記事記載年代表 (寶曆三安政三年迄) 和五拾錢
○日本王代一覽 春齋林恕著 揃七寛文3和參圓
神武天皇より正親町天皇に至る史蹟を編年表に記せるもの
×本朝年代即覽 中村玄三撰 享保16和壹圓
×本朝年代人物掌覽 岡田板 横二文政8和壹圓五拾錢
×萬曆兩面鑑 鹽屋板 文化11和參拾錢
×萬曆兩面鑑 奈其屋板 天保11和參拾錢
×兩面年表 西村板 寶曆2和五拾錢
×兩面年表 西村板 文政4和參拾錢
×大日本年表 菊屋板 弘化3和六拾錢
×大正自家年譜 鶴飼天淵著 大2布五拾錢
○日本年表 落合直澄著 明21和壹圓
○日本年表 大森金五郎著 新大15布壹圓九拾錢
○日本年表 藤原貞幹著 寛政10後摺和參圓
○逸號年表 藤原貞幹著 寛政10後摺和參圓
古書等に逸したる年號を一々推すに支子をして以て編輯して年表となしたるもの。而して引用書目は二十六種に及ぶ

日本志篇 元 五八九

改訂維新後大年表 妻木忠太著 新大14布四 圓

○曆 折本縱八寸五分 元祿頃散賣和貳圓

△曆 文治久頃 散賣五拾錢 天明初年頃 散賣參拾錢

△曆 元治久頃 散賣五拾錢 天明初年頃 散賣參拾錢

△曆 藤本美濃著 慶應初年散賣和參拾錢

○太陽略本曆 頃曆商社 明治初年散賣和貳拾錢

○雲上明鑑 出雲寺板 延享1和參圓

○新正當御公家鑑 出雲寺板 延享5和參圓五錢

○新雲上明鑑 方中齊房常記 出雲寺和泉板 二寶曆13和參圓

○新刊萬世雲上明鑑 出雲寺板 二明和2和貳圓五錢

○新刊萬世雲上明鑑 出雲寺板 二安永2和貳圓五錢

○新刊雲上明鑑 方中齊記出雲寺板二天保頃散賣壹圓五拾錢

○職原學要大成 菱屋板 文久年間 散賣和壹圓八拾錢

○都仁志喜 圓教館板 慶應年間 散賣和壹圓五拾錢

○美也古能春 慶應年間 散賣和壹圓五拾錢

○太政御職明鑑 平樂寺板 慶應年間 散賣和壹圓五拾錢

○職員錄 弘通所藏版 長三月改慶應4和五圓

○華族 明鑑 西村出版局 橫明8和壹圓

△官 員 錄 村上平樂寺板 橫慶應4和四圓

△官 員 錄 大阪府知府事兼勅明治初年 橫和貳圓五錢

△官 員 錄 和泉屋板大阪府知府事兼勅明1 壹圓五錢

△官 員 錄 須原屋板 橫明1和參圓

△官 員 錄 後藤象二郎三頁在 明初年和壹圓五錢

△官 員 錄 官板須原屋板 明四年三 和參圓

△官 員 錄 神祇大藏兵部工部各省開拓使東京府官員錄合本

△官 員 錄 中山有成就一尺六二尺明和2和壹圓五拾錢

△官 員 錄 中島翠堂編 橫明7和壹圓五拾錢

△官 員 錄 西村集太郎編 橫明8和壹圓五拾錢

△官 員 錄 神時正監編 明二年九月改 橫和壹圓五拾錢

△官 員 錄 林權兵衛板 橫文政10和壹圓五拾錢

△官 員 錄 自安政年間 散賣和壹圓五拾錢

△官 員 錄 氏藏版 至慶應年間 散賣和壹圓五拾錢

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃八 五圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

○駿府政事錄 後藤光次著 寫本揃二 參圓

▲慶長見聞集 三浦淨心著芳賀矢一校名著文庫明39五拾錢
 ▲文化史上の慶元時代前後の一考察 花見明己歴地大6五拾錢
 ▲慶長中外傳 堀田夢水著 合本二五寫本 五圓
 卷一發言慶長三條・關原陣論・石田三成素性・太閤殿殿大志・亂起庚子之年等以下凡て三百七十箇條を記したるもの

元和より貞享頃

元寛日録

○元寛日録 寫本三 四圓
 元和元年正月朔日より寛永末年九月七日に至る記録にして秀頼關東間の折衝和睦の詳細事より各藩内政諸侯對戰・琉球來聘事情・諸政令内外措置・島原亂・大赦禁制・參勤交替制・女帝御讓位記事等外同期間中に亘る大小事の備べての記録なり
 △東雲稻野御成 (公家武家諸法度其他) 寫本元和1貳圓
 △正保野史 矢野立道撰 文久3和查圓五拾錢
 △慶安御書 中村重遠撰 四永喜5參圓
 △慶安御書 齊藤氏撰 天保6貳圓
 △慶安二年幕府訓令の農家心得 (文政三庚寅岩村藩に於て出版し領内へ頒配したるもの) 寫本 貳圓五錢
 △寛文より元祿まで大事誌 寫本 貳圓五錢
 ×田村郡海老根村定當請之事 正本萬治2寫貳圓五拾錢
 △請取申御藏米之事、預申金子之事、親類書及藥代等日常諸雜費控並其他諸事留帳 寫本入天和2貳圓

元祿頃

△元祿時代觀 中村孝也著 大8布四 圓
 元祿時代の地位 29 元祿實永度の金銀貨 74
 町人階級の物典 51 改鑄 56
 元祿實永の政局百22 元祿實永前後の世態ケンネルと元祿時代百36
 △元祿時代の經濟學的研究 山本著 大14布四圓五〇錢
 日本資本主義起源考並經濟史上の元祿文學
 △元祿貳己二月朔日御成二付諸事覺書 寫本横查 圓
 △元祿時勢 龍川陸風著 明34 查圓貳拾錢

□安永歳旦帖 貞流蘭亭子等 彩色繪入 和貳圓五錢

○天明奇事 天明年中に於ける變事 奇談異聞等を蒐録せり弘化2寫四圓五錢

○家公治茂公頂戴御判物記録 勘定所記 天明8參 圓

□有事記 有無齋 寫本三枚九拾八圓

寛政享和頃

×傳奏御屋鋪圖 三尺七二尺盆 腹寫 享和1貳圓
 □御鹿狩狩目順筋御場所見分覺帳 奉行大竹寫寛政8八拾 圓
 □寛政歳旦帖 菅江湖鯉餅等 横和四圓五〇錢
 ○松平越中守殿御心得書 平時範寫 寛政2貳圓五〇錢
 ○壬戌干役志 杉岡道啓撰 享和三年奥書 五圓
 □享和歳旦帖 大江丸三四坊等 和五圓五〇錢

文化文政頃

△文化元年江戸御番帳 (江戸勤番人名帳) 寫本横五拾 圓
 △書 同村内の家數、往還筋、方角及名所舊跡其他を記せるもの
 □御役筋覺 澤正長寫 横文化7查 圓
 □諸届同役申達 役人公事届書 寫本文化3貳 圓
 □御役日記 出入 横寫本 貳圓五錢
 ○元文二丁巳年より文化九壬申年に亘る某藩役人手控日記
 ○愚癡之線言 松平忠明控 文化13寫七 圓
 ○柳營御小姓へ番入以來勤役中の諸事を自ら控へ留めたるもの
 寛政享和頃 文化文政頃 天保弘化頃

△元祿雜書 (九州某藩御使番心覺) 寫本 貳圓

享保より寶曆頃

○明君享保錄 吉田兼陳寫吉宗公一生の德行紀文政6貳圓
 (小百姓に關する御定書寫、享保8貳圓五拾錢)
 △享保拔書 九年、十四年迄及七年 三寫本 拾貳圓
 同年中に於ける諸法度布令・公事訴訟の記等の法政記録なり
 △江戶御目付勤方覺書 寫本 享保卯六月 實曆5 壹圓五拾錢
 □寶曆歳旦帖 尾陽蓬佐著 横 和四圓五〇錢
 □寶曆歳旦帖 而笑堂練石著 和六圓五〇錢

明和安永天明頃

△明和風土記 寫本 三四圓
 山縣大貳系圖より大貳年死並其一黨仕置に至る迄の顛末を詳叙したるものなり
 □明和歳旦帖 各國横五和拾 圓
 ×切支丹宗門徒に關する 宗對馬守 明和7寫參 圓
 御法度書の答書寫
 △當世銀持氣質 永井堂龜友作 輸入 明和7和拾貳圓
 △太平國恩譚 加藤在止著 揃五明和7和參 圓
 當時の世話氣質を現はしたる滑稽に近き作話なり
 △小 語 細井徳民著 天明1和四 圓
 著者の隨筆にして主として當時人の嘉言善行の見聞筆記なり
 △後見 草 鶴齋主人撰 寫本天明7 參拾圓
 龜岡石見入道宗山の明曆大火災記並に筆者鶴齋主人が寶曆十年より天明七年間に見聞せる天變地妖に關する私記録なり

□甲子歳旦帖 自序素丸等 和參 圓

□文化二年乙丑三月魯西亞人船出帆ニ付長崎竹内庄兵衛ヨリ同五兵衛江申越來狀寫 横寫本 壹圓

□文化歳旦帖 無爲幸雄等 和壹圓五拾錢

□致 龜 日記 白井明控 (文政八、九年) 第寫本壹圓五拾錢

□書 留 三森清孫控 (藩士手控日記) 文政11查 圓

○御覽 一件 瀨山登編 (丸龜藩) 文政7寫貳圓

○武家城勤御交代病氣歸國其他御取計一件留書帳なり

○一橋一位殿准大臣宣下次第 (藩士旅日記) 文政13寫壹圓五拾錢

△文政五 傳奏御櫻役割下帳 寫本 參圓

△文政六 太平記 高橋伊三郎寫 (文政大書誌) 天保12參圓

△文政十丁亥年以降安政六己未年間に亘る新編御法の留記録 貳圓五拾錢

天保弘化頃

△天保内話 寫本六元治1八圓
 天保八年三月九日大鹽平八郎一黨東御奉行組天滿川崎屋舖への放火露見より逮捕に至る迄の次第の記事もあり
 △保化紀事 天保甲辰より弘化丁未年に亘る 寫本 七圓
 其數目を示さば 水野越州御告申渡 信州大地震
 橋本佐吉酒狂及傷 弘化乙巳文武藝術御 丁未出火見物御制禁等
 牛御前別當閉門 書付 凡て二百三十七項目を
 本町少女獨身傾妊 異船漂浦賀渡 取めたり
 ○雜事 録 (災書禁願等元日) 天保6寫壹圓五拾錢
 △日本大困窮江戸表大施行板附寫 天保8寫貳圓
 △酒井侯本領安堵天保快舉錄 中里重吉著 大10和貳圓
 △天保改革の一節 幸田成友述 復興叢書 大13 壹圓
 ○天保二年癸卯歲八月大目付神尾山城守方 寫本 壹圓
 櫻松侯御料地の件御呼出御口達書取之寫

嘉永安政頃 櫻田事變

- △御 請 書 儉約獎勵の請書 天保13 寫七拾
- △田沼 家中渡覽 白川侯家文也 寫本 壹
- △戊戌 夢物語 忠真 寫嘉永6 壹圓八拾錢
- 内外の情勢より海外交易の變遷等を書き記したるものなり
- ×類例 略要集 竹屋次春編 天保7 和壹圓五拾錢
- ×違作窮民救済に付真一郎(御褒美金下賜之覺) 天保11 寫壹
- △御 移御規式 伺覽 瀬山登監 天保7 寫壹
- △御 事 心 得 書 天保寫本 貳
- △新書 裝束立合大風儀 儀警司町問差紙禮事病氣其他一般の心得書
- △年々 列士録書出並宗門書出且諸届物留 後藤寫天保7 貳
- ×差出申一札之事 (三味線貸渡の節の一札) 天保15 寫參拾
- △天保 三十六家絶句 齊藤拙堂序 揃三 壹圓八拾錢
- △天保 以後政事上の悪口 坂部藏印 寫本 貳

嘉永安政頃

- △異國 防禦御入用 献金入別控帳 横嘉永6 寫貳
- △御 用 留 武州飯野村名主忠藏寫 嘉永2 參
- 宿場取締・盜賊捕縛急廻狀其他公儀御用の件に關する手控
- △己酉 肥後風聞録 禾口道人寫(吳船渡來事情) 嘉永2 壹
- △嘉永 二十五家絶句 齊藤拙堂序 揃四 壹圓八拾錢
- △嘉永 明治年間録 吉野眞保著 揃二〇 和貳拾八圓
- △重 用 日 記 岩田氏藏印 蕪葉 安政寫 參
- 安政當代に亘る内治外政諸狀儀式内裏表上等凡ての内重要
- 記事を詳細に書留めたもの
- △英 異 思 穩 政 録 徳武意孝寫 萬延1 五
- 安政五年七月水戸齋昭尾州慶勝等處對關係書類・同六年水戸尾
- 州紀州三侯處對關係書類・井伊掃部頭殺害並水戸勅書返納騒動
- 一件以下多くの秘事異變の記録なり
- △安 政 維 新 記 録 寫本 六
- 附亞墨利加國書翰和解亞墨利加使節許禮之節口上之趣和解
- 起原 多政紀事 内藤貳 揃二 明二 拾六

日本志篇 三 五九四

- △安政 二乙卯御書並殿中御沙汰之略 (雜集) 寫本 參
- △雜 京師風説・假條約問答・安政五年勅答・久我堀田侯詰問書等
- ×請取申帆扶持之事 萩原村寫本 安政6 貳
- △動 用 日 記 布川茂政控(公事雜錄) 一 安政6 貳

櫻田事件

- △櫻田 邊騷動 寫本 横安政7 壹
- △安政 七年細川越中守様ニ御預々人請取候節之御請書寫 壹
- △血 したの雪 寫本 安政7 參圓五〇錢
- 安政七年上巳大老井伊掃部頭に宿意有之而水戸派入共致徒黨於
- 外櫻田行列江切掛り本望相違御驗申請候始末見聞書
- 江 戸 櫻 田 門 異 變 一 卷 寫本 安政7 四
- △井 伊 掃 部 頭 始 末 寫本 壹圓五拾錢
- 水 戸 家 派 士 十 七 人 素 懷 書 付 寫 寫本 壹圓五拾錢
- △水 戸 殿 御 家 來 櫻 田 騷 動 相 濟 御 届 出 候 節 差 出 書 附 之 寫 壹
- △櫻 田 門 外 の 變 横萬延1 寫五 拾
- △於 櫻 田 御 門 外 掃 部 頭 同 勢 を 襲 小 御 同 人 を 寫本 壹圓五〇錢
- △討 果 水 戸 殿 家 來 惣 人 數 於 七 人 姓 名 及 願 末 寫本 壹圓五〇錢
- △彦 根 侯 大 變 一 條 聞 書 田 中 宥 藏 寫 萬 延 1 貳 圓 五 〇 錢
- 彦根侯櫻田門外に於て狼藉者より鐵砲にて打掛けられし一件に
- 關する聞書
- △櫻 田 秘 話 明3 寫貳圓五〇錢
- 櫻田の變前後に於ける諸藩の形勢並變事・徒黨身分當時の世態
- を歌ひし落嘶狂言等を收む
- △夢 南 叢 書 櫻田斬殺紀要 寫本 壹圓五〇錢
- 春 雪 奇 談 近 世 櫻 田 紀 聞 松 村 春 輔 編 明19 八 拾 錢
- △集 書 (櫻 田 徒 黨 素 懷 書 及 鷹 坂 侯 へ の 上 書 其 他 事 件 記 録 之 寫) 壹 圓
- △櫻 田 始 末 野 口 勝 一 著 明25 布 貳 圓 五 〇 錢

萬延文久頃

- △京 都 諸 司 代 中 御 先 手 志 願 勳 方 萬 延 1 寫 參
- 並御廣同表取次勤心得書
- △贈 川 路 聖 謨 羽 倉 用 九 著 平 野 正 路 寫 萬 延 1 壹
- ×午 恐 奉 願 上 口 上 覽 (心 願 明 大 峯 山 參 詣 他 出 願) 萩 原 村 萬 延 1 壹
- △横 濱 新 聞 紙 對 外 人 應 衝 事 情 の 記 文 久 2 寫 壹 圓 五 拾 錢
- 久世大和守無宿浪人取締書狀内藤紀伊守通行禁止の書 西四月
- 出火事態・本願寺外國人旅宿場亂入者仕末書寫其他
- △横 濱 新 聞 寫本 文 久 3 拾
- 筆を文久二年生事の變に起し同三年六月末に之を止め英國と薩
- 摩との戦端を開きし際の記事状況を詳細に記載したり
- △新 聞 書 翰 外 交 内 政 の 重 要 事 文 久 2 寫 參 圓 五 〇 錢
- 項に關する諸留書
- 文 久 新 聞 志 寫本 一 文 久 2 分 4 貳 拾 五 圓
- 文久年中の内外重要事に關する書類の輯録なり試に第一冊の目
- 次を以て越人筆記道路之説・長州公建白・長州公方熊本公へ申入
- 候趣意書・勅定之寫等二五條・全巻通計百數十條あり
- 文 久 壬 戌 雜 記 井 口 氏 控 寫本 參 圓 五 〇 錢
- 浪士等安藤信正を刺す・京都守護職設置其他の大小雜記
- 天 意 震 筆 を 以 て 公 卿 方 へ 御 下 げ 文 久 3 參
- になりし海内治平の昭書寫文久3 參
- △珍 書 寫 寫本 五
- 幕政既に衰へ積陰凝閉結て解けず天地冥々其の晴れる何の時な
- るやを知らざりし文久時、或は夷夷を説き或は佐幕を論ず本書
- は此等多難の察の重要事蹟、書類等を寫したる好資料
- △文 久 七 冊 落 由 來 略 記 荒 木 諦 善 編 明 45 八 拾
- △文 久 變 格 錄 朱 入 寫 本 水 入 貳 拾
- 宣命之寫・關東御請書寫・風説戯作寫・戲言六歌仙寫其他

文久頃勤王佐幕の状況

- 文 久 二 年 御 達 之 寫 (變 夷 渡 來 事 情 武 家 參 勤 割 合 等) 八 拾 錢
- 御 書 付 留 横濱寫 横 壹 圓 五 拾 錢
- 文久二年武成宣旨の御上意・夷狄來朝時の御觸・墨夷假條約類使
- 之御書而寫・戊八月衣服制・諸侯御親書等種々の書類控
- △文 久 三 年 御 發 駕 御 上 洛 御 行 列 (江 戸 方 京 都 總 供 調 連) 寫 本 八 拾 錢
- △安 藤 對 馬 守 へ 切 掛 り 浪 士 討 死 者 姓 名 及 懷 中 願 書 寫 文 久 2 壹 圓
- △御 老 中 安 藤 對 馬 守 様 御 登 城 掛 り 於 久 保 寫 文 久 2 壹 圓 五 〇 錢
- △坂 下 御 門 外 浪 藉 者 有 之 一 件 書 之 寫 寫 本 五
- △文 久 二 年 安 藤 對 馬 守 様 御 届 寫本 五
- 附時勢略ちよほくれ武士・ころり病歌・常陽秘説・殿上方上書・春
- 附・安藤閣老要撃浪士懷中斬好趣意書
- △斬 好 趣 意 書 並 辭 世 和 歌 等 (安 藤 閣 老 へ の) 寫 本 壹
- △戶 田 越 前 守 檢 江 戶 御 上 書 寫本 文 久 2 壹
- △諸 御 大 名 參 勤 年 割 附 萬 榮 堂 板 横 文 久 2 和 壹
- △風 聞 開 書 綿 貫 千 舟 寫 文 久 2 壹 圓 五 拾 錢
- △文 久 年 間 諸 藩 に 於 ける 尊 王 攘 夷 及 逆 賊 尼 利 氏 に 關 する 記 録 横
- △京 都 部 説 書 寫 家 重 松 嚙 序 揃三 壹 圓 五 拾 錢
- 洛陽の地の風説騷亂願書上書撰夷論尊王佐幕派暗闘事情等

元治頃

- 元 治 夢 物語 馬 場 文 英 著 揃 五 元 治 1 和 參 圓 五 〇 錢
- △元 治 見 聞 語 渡 邊 修 二 郎 著 (開 國 史 談) 明 44 貳
- △元 治 元 年 英 波 好 徒 騷 動 及 之 が 追 討 録 記 及 慶 應 二 年 長 州 征 伐 記 寫本 貳
- 元 治 甲 子 殉 難 士 名 錄 水 府 崎 重 義 上 書 寫本 壹 圓 五 拾 錢
- △元 治 元 年 甲 子 合 戰 俗 文 記 寫本 壹 圓 五 拾 錢
- △元 治 甲 子 禁 門 事 變 實 履 談 馬 屋 原 二 郎 述 寫本 四 拾 錢
- △元 治 太 平 記 大 木 氏 寫 大 2 布 壹 圓 貳 拾 錢

○御用 留 中村政助控 寫本元治2 貳圓五〇錢

某藩に於ける町名主に對する産及び通牒其他の留書

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

○見聞 留 幕末浪人符一件 寫本元治1 壹圓

戊辰明治元年

○田畑山林賃入證文控 年寄岩谷氏控帳 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○御廻狀(庶民服務心得條々) 慶應4 寫壹圓五拾錢

○錦乃御旗 野口富岡編 和獨文對照明40 八圓

戊辰戰記の彩色畫巻にして凡て三九圖和獨兩文の解説を附す

○澁川合戦見聞奇談 森野一編 六花圖彩色 慶應4 和壹圓五拾錢

○諸役人役目大要 高平氏寫 附庄屋心得 明1 寫貳圓二錢

○戊辰物語 東京日日新聞 新昭3 貳圓

○江城日誌前編 京都版 慶應4 創刊 散賣和參拾圓

○鎮將府日誌 官版 慶應4 創刊 散賣和貳拾圓

○王政復古御一新全國御高札 太政官 寫本慶應4 貳圓

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

○慶應四年動搖錄 彩色 慶應4 和貳圓五錢

戊辰明治元年

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

○御檢使留 富澤愛美寫 慶應年度參圓

辛未明治四年 壬申明治五年 癸酉明治六年 甲戌明治七年 日本志編 三 五九八

△世評開書 大村益次郎殺さるるの次第 等世上の大事風評を書留めたるもの
○辛未明治四年 本多親秘蔵 和貳圓

△風聞事譚 隱棲老人寫 明4 貳圓五〇錢
當時に於ける世上の風潮異聞出來事等を書留めたるもの
○明治四年太政官宛各藩知事公文書 寫本 貳圓
○明治辛未日記 世上雜事留書 明4寫卷圓五拾錢

×遠式註違條件 東京日日新聞附錄 明5和貳圓
○東京毎日物價表 報告社 自一至六號 一六明5和拾圓
○御布告寫 中央政府並筑摩縣令布告寫 二明5方6參圓
○晦結溢言 紀州堀内信編 安政5方明5記錄 揃二明40七圓

癸酉明治六年
○京都新聞 同社 交方七號 合本明6和貳圓五〇錢
○近報知新聞 太田金右 明6創刊 散賣和八拾圓
○近代月表 上卷 明6 貳圓八〇錢
○文部省第一年報 文部省 (明六年度) 明8 五圓

○報知新聞 繪附錄 自四七號 合本明8和參拾圓
大藤芳年の筆に當時の異變を記したる繪四十四枚の合綴にして且つ其等事情の解説を掲げたり
×讀賣新聞 繪附錄 自一至二〇號 散賣和七拾圓
巷間の變事を畫いたる周重の繪六枚にして且つ解説を記す
×東京日日新聞 繪附錄 芳年畫 自一至二〇號 散賣和七拾圓
一憲齋芳年の筆にして解説は轉々堂藍泉殿作に依る

丙子明治九年
○拾遺集 (諸新聞雜誌の授梓留書) 明9寫壹圓
○世益新聞 明9創刊 散賣和五拾圓
丁丑明治十年
○東京日々新文 松本萬年著 一三編 散賣和貳圓
○魯文珍報 開珍社 明10創刊 散賣五拾圓
○近事評論 明10創刊 散賣五拾圓
○智慧の庫 由己社 明10創刊 散賣五拾圓
○東京新誌 九春社 明10創刊 散賣五拾圓
○當世新聞集 芳春筆 繪本 明10和壹圓

○東京繪入新聞 兩文社 自七二號 合本明10方11參圓
丙子明治九年 丁丑明治十年 西南の役

日本志編 三 五九九

×日新眞事誌 附錄共七明6 參圓五〇錢
○地方官心得書 大藏省 明6和參圓五〇錢
△明治六年政表 正院第五科編纂 明9 四圓

甲戌明治七年
○民撰議院論集 石川新編 合本明7和五圓
○官民間雜誌 福澤諭吉著 明7創刊散賣和壹圓
△文部省雜誌 第二號 明7和壹圓五〇錢

△新聞雜誌 日新堂編 合本明7和四圓
△教院問題十七說略 池永厚述 甲府新聞 明7和壹圓八〇錢
皇國々體說 道不可變說 甲府新聞 明7和壹圓八〇錢
制不隨時說 皇政一新說 產物製物說 富國強兵說
人異禽獸說 不可不教說 政體各種說 文明開化說
不可不學說 萬國一の交際說 權利義務說 形役心役說
國法民法說 律法沿革說

△甲戌記事載 寫本明7 貳圓五〇錢
佐賀の亂發起之次第一件 ざる書狀寫
若夷征伐之事 其他の國家的大記事を載録す
○明六雜誌 明六社 自三號 合本 明8和五拾錢
▲洋々社談 飯島牛 明8創刊 散賣和貳拾圓
一號方三號合本 三和五圓五拾錢

乙亥明治八年
△皇國銘譽人名錄 東花堂五翁編 橫明10和參圓
明治初年東京に於ける文學美術音樂花道並茶道等の名家の住所を記したるもの
△西南傳信錄 齊藤編 合本二明10和貳圓五拾錢
五月白杵の役を以て開卷の端緒となし以下西南役の記録
△薩肥傳信錄 常井誠一郎編 假綴一八明10和參圓五〇錢
西南役の薩成源より縣動順末に亘る各地新聞授梓系統記録
○西南鎮靜錄 假名垣魯文編 續編四和參圓五〇錢
△西征討史略 伊藤卓三校 繪入 揃六明11和四圓
△遺雜記 實 伊藤卓三編 (西南役實記) 明10 貳圓五拾錢
△丁丑亂 概 鹿兒島縣編 寫本 貳圓五拾錢

△明治十年西南征討志 陸軍文庫藏版 圓入明13和參圓
△十年西南征討志 海軍省藏版 揃五明18和五圓
△西南戰史 川崎三郎著 揃二明26和六圓
△薩南血淚史 加治木常樹著 大1布貳圓
△別働第二旅團戰記 安藤定誌 揃四和四圓
△西南記傳 黒龍會編 揃六洋裝八圓
△西南戰闘日注 第三旅團參謀部編 明16布四圓
○西南戰爭紀聞 中村每編 揃六明10和四圓

日本志編 三 五九九

△征西將軍宮 藤田明著 大4布七圓
 △明治十年各隊往復 西南戰爭公文書 寫本五圓
 善觀有馬隊本營

明治十一年後の新聞雑誌

○興民新誌 進取社 明11創刊 散賣和貳拾錢
 三號方二六號揃 合本和壹圓五拾錢
 □智慧の庫 由巳社 二號方二七號 散賣和八拾錢
 合本和八拾錢
 ◎穎才新誌 同社 明12創刊 散賣和五拾錢
 三號方二七號 合本和五拾錢
 □扶桑新誌 共同社 明12創刊 散賣和五拾錢
 七號方二七號 二和五拾錢
 □東京新誌 九春社 二號方二七號 合本和五拾錢
 三月六日號 明12 壹圓五拾錢
 ×松江新聞 同社 自三九號 合本三和四圓
 至三八號 散賣〇〇〇〇
 ▲廣問答新聞 四通社 明12創刊 散賣〇〇〇〇
 一方三三號 四參
 □博物雜誌 同社 明13創刊 散賣和八拾錢
 三號方二六號 二和五拾錢
 □中外廣問新報 四通社 明13創刊 散賣和八拾錢
 三號方二六號 二和五拾錢
 △近事評論 共同社 明13創刊 散賣和五拾錢
 三號方二六號 二和五拾錢
 △熊本報告新誌 友直編 明13創刊 散賣和四拾錢
 二號方二七號 三和四拾錢
 □扶桑新誌 共同社 自四一號 合本和五拾錢
 自四二號 散賣和五拾錢
 △諸藝新聞 同社 明13創刊 散賣和五拾錢
 一號方二〇號 合本和壹圓五拾錢

○江 湖 新報 四通社 第壹號 明13和五拾錢
 創刊號 東海社 明13和五拾錢
 △興隆雜誌 談 政談社 三九方二號 合本和壹圓五拾錢
 明13創刊 散賣和壹圓五拾錢
 □中立政 談 政談社 一號方二號 拾參
 一號方二號 拾參
 □扶桑新誌 共同社 自三二號 明14和六拾錢
 自三三號 明14和六拾錢
 □近事評論合本 共同社 明14創刊 合本和九拾錢
 二號方二七號 合本和九拾錢
 △面白話のたね 明14創刊 散賣和〇〇〇〇
 一號方二〇號 合本和〇〇〇〇
 △有喜世新聞 三益社 二號方二六號 合本和五拾錢
 二號方二六號 合本和五拾錢
 △輸入人情雜誌 東陽社 二號方二六號 合本和五拾錢
 二號方二六號 合本和五拾錢
 □近事評論 明14創刊 散賣和〇〇〇〇
 一號方二〇號 合本和〇〇〇〇
 △開化新聞 三益社 明16創刊 散賣和壹圓八拾錢
 九號方三號 合本和壹圓八拾錢
 △入朝野新聞 同社 明16創刊 散賣和參圓五拾錢
 一號方二號 合本和參圓五拾錢
 ○東京輿論新誌 嘔鳴社 自一五八號 合本和四圓
 至一九九號 明17創刊 散賣和四圓
 三號方二號 合本和四圓
 □菁莪一筐 矯揉社 明17創刊 散賣和四圓
 三號方二號 合本和四圓
 ×岐阜日日新聞 同社 二七二二號 二和八圓
 一號方二〇號 散賣和五拾錢
 ○奇日新報 同社 三七明18 五圓八〇錢
 一號方二〇號 明19 壹圓五拾錢
 ○吾妻新誌 九春堂 二二方二三號 明19 壹圓五拾錢
 一號方二〇號 明19 壹圓五拾錢

○鳳鳴新誌 開新社 明11創刊 散賣拾七拾錢
 一號方一〇號 一年間拾五拾圓七拾錢

○國史叢書 第二期刊行 大3方7布五拾圓
 第一期刊行 散賣 壹圓貳拾錢
 第二期刊行 散賣 壹圓貳拾錢

南朝太平記 享保10 馬場信意 第一冊
 室町殿物語 三寶永3 檜林長教 第三冊
 足利治亂記 六 異本小田原記 第三冊
 石田軍記 正徳5 第四一五冊
 仙道軍記 正徳5 第四一五冊
 源平軍物語 三寶永2 源朝最後物語 慶長2
 八島禮浦合戦記 元暦1 源平征伐物語 元暦1
 源平盛衰記 補闕 源平拾遺 二 天保7 藤井高尙
 大石曾我物語 〇 天文23 第六冊
 鎌倉公方九代記 三 延寶6 鎌倉九代記 天保8 第七冊
 古今武家盛衰記 三 南嶋變亂記 三 第九一〇冊
 土佐物語 二〇 享保 四國軍記 三 元祿 第一一冊
 古事談 六 顯策郷 國史叢書

武田三代軍記 三享保7 片島深淵 甲斐記 二 正保3 春日徳二 甲斐遠文録 天保8 理慶尼 第二六一二九冊
 關原軍記 大成 正徳3 宮川尙古 第三〇冊
 古郷物語(黒田家) 大友公御家覺書 從道 第五代記(島津家) 文明4 第三一冊
 安見大平記 元祿2 芳野拾遺物語 貞享4 松 三人法師 二 萬治2 細々要記 七 至徳3 底倉之記 第三二冊
 武田燭談 三 寛永 浮世の有様 七 玉露叢 三 延寶2 林 忍 關侍傳記 七 慶長 天正南部日記 第一〇冊
 磯城乃探湯 高良玉垂命 大日下皇子 仁賢天皇 大伴金村大連 物部守屋大連 平朝臣玄道 日本志編 四 六〇一

△日本史講義 原秀四郎述 早大四三頁 壹圓參拾錢

△日本史講話 荻野由之著 特價新昭二布七 圓

△日本史講義 笹川臨風著 大12布壹圓七拾錢

△日本史講義 吉井五著 大44布壹圓參拾錢

△日本歷史講義 大村益次郎原稿 寫本 參 圓

△日本歷史講義 河野正義編 國民中學會 大6五拾錢

△日本歷史講義 今泉定介著 大4八拾錢

○南朝忠臣往來 毛山處士著 彩色繪入 元治1和壹圓八拾錢

○古戰短歌 山木よれ寫 嘉永1壹圓

△大皇朝 鹽谷世弘著 嘉永4和五拾錢

△皇朝 草場廉著 明7和壹圓

△皇統 大屋愷著 大4四拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明5和壹圓貳拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明9和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

受驗用日本史

△文部省檢定 大日本歷史 岡部精一著 新大15布七圓五〇錢

△國史問答 日本歷史地理學會編 大3布貳圓五〇錢

△學生日本歷史詳解 島田增平著 上卷新大13布壹圓四拾錢

△青年日本歷史 小林一著 下卷新大13布壹圓四拾錢

△事項詳解日本歷史年表 島田增平編 新大14布壹圓貳拾錢

△日本歷史受驗の研究 坂澤武雄著 新大14布壹圓貳拾錢

△最新日本歷史解釋 妻木忠太著 新大14布壹圓貳拾錢

△自學自習中等參考題の日本歷史 橋本辰彦著 大14布壹圓貳拾錢

△歷史豫習書附一五年全國入學試驗問題 目黒書店編 大15布壹圓七拾錢

△受驗參考日本史 杉山助之進著 新大15布壹圓九拾錢

△受驗日本史の準備 佐々木恒清著 新大15布壹圓參拾錢

△初めて學ぶ人の中等日本歷史 七里仲鷹著 新大15布壹圓八拾錢

△日本史 參考 吉田三男也著 新大15布壹圓八拾錢

△最要領を得たる日本歷史 諏訪德太郎著 新昭2布壹圓六拾錢

△受驗參考徹底せる日本歷史 藤井龍治著 新昭2布壹圓五拾錢

△文日本史東洋史の爲に 佐藤種治著 新昭2布參圓五〇錢

△兒童日本史 吉田治著 大15布壹圓八拾錢

△家庭教育讀本 枯野の雪 落合直文著 大15布壹圓八拾錢

△通俗日本全史 早大出版部編 大15布壹圓八拾錢

△日本諸國名義考 秋鹿見二編 明3331 壹圓五拾錢

△日本州名解 阿部完堂著 彩色圖入 和參 圓

△諸國名義考 藤原彦磨編 彩色圖入 和參 圓

△府縣國誌 藤原彦磨編 彩色圖入 和參 圓

△大日本府縣志 河井康太郎編 自卷一 合本 明23布貳圓五〇錢

△改置府縣概表 大藏省編 圓入 明5和壹 圓

△國分史 犬塚甘古編 天地二大1布五 圓

△史料通信叢誌 近藤瓶城編 捕二八明30 貳拾 圓

△西分册發售但し未製本代價 常陸 陸奥 近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 岩手 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前

△東分册發售但し未製本代價 常陸 陸奥 近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 岩手 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前

△大分册發售但し未製本代價 常陸 陸奥 近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 岩手 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前

△日本志篇 六二七

△日本志篇 六二七

△日本志篇 六二七

△日本志篇 六二七

△日本史講義 原秀四郎述 早大四三頁 壹圓參拾錢

△日本史講話 荻野由之著 特價新昭二布七 圓

△日本史講義 笹川臨風著 大12布壹圓七拾錢

△日本史講義 吉井五著 大44布壹圓參拾錢

△日本歷史講義 大村益次郎原稿 寫本 參 圓

△日本歷史講義 河野正義編 國民中學會 大6五拾錢

△日本歷史講義 今泉定介著 大4八拾錢

○南朝忠臣往來 毛山處士著 彩色繪入 元治1和壹圓八拾錢

○古戰短歌 山木よれ寫 嘉永1壹圓

△大皇朝 鹽谷世弘著 嘉永4和五拾錢

△皇朝 草場廉著 明7和壹圓

△皇統 大屋愷著 大4四拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明5和壹圓貳拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明9和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

△皇史 文部省編 皇陵支那之部 二明10和八拾錢

受驗用日本史

△文部省檢定 大日本歷史 岡部精一著 新大15布七圓五〇錢

△國史問答 日本歷史地理學會編 大3布貳圓五〇錢

△學生日本歷史詳解 島田增平著 上卷新大13布壹圓四拾錢

△青年日本歷史 小林一著 下卷新大13布壹圓四拾錢

△事項詳解日本歷史年表 島田增平編 新大14布壹圓貳拾錢

△日本歷史受驗の研究 坂澤武雄著 新大14布壹圓貳拾錢

△最新日本歷史解釋 妻木忠太著 新大14布壹圓貳拾錢

△自學自習中等參考題の日本歷史 橋本辰彦著 大14布壹圓貳拾錢

△歷史豫習書附一五年全國入學試驗問題 目黒書店編 大15布壹圓七拾錢

△受驗參考日本史 杉山助之進著 新大15布壹圓九拾錢

△受驗日本史の準備 佐々木恒清著 新大15布壹圓參拾錢

△初めて學ぶ人の中等日本歷史 七里仲鷹著 新大15布壹圓八拾錢

△日本史 參考 吉田三男也著 新大15布壹圓八拾錢

△最要領を得たる日本歷史 諏訪德太郎著 新昭2布壹圓六拾錢

△受驗參考徹底せる日本歷史 藤井龍治著 新昭2布壹圓五拾錢

△文日本史東洋史の爲に 佐藤種治著 新昭2布參圓五〇錢

△兒童日本史 吉田治著 大15布壹圓八拾錢

△家庭教育讀本 枯野の雪 落合直文著 大15布壹圓八拾錢

△通俗日本全史 早大出版部編 大15布壹圓八拾錢

△日本諸國名義考 秋鹿見二編 明3331 壹圓五拾錢

△日本州名解 阿部完堂著 彩色圖入 和參 圓

△諸國名義考 藤原彦磨編 彩色圖入 和參 圓

△府縣國誌 藤原彦磨編 彩色圖入 和參 圓

△大日本府縣志 河井康太郎編 自卷一 合本 明23布貳圓五〇錢

△改置府縣概表 大藏省編 圓入 明5和壹 圓

△國分史 犬塚甘古編 天地二大1布五 圓

△史料通信叢誌 近藤瓶城編 捕二八明30 貳拾 圓

△西分册發售但し未製本代價 常陸 陸奥 近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 岩手 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前

△東分册發售但し未製本代價 常陸 陸奥 近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 岩手 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前

△大分册發售但し未製本代價 常陸 陸奥 近江 美濃 飛騨 信濃 上野 下野 岩手 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前 陸奥 前代 中前

△日本志篇 六二七

△日本志篇 六二七

△日本志篇 六二七

△日本志篇 六二七

古來政府考 小中村清矩述 皇典 明治22年 壹圓貳拾錢

議會史

帝國議會史 工藤武重著 三冊36布拾貳圓

帝國議會史綱 工藤武重著 明41布貳圓

日本國會論纂 三宅虎太郎 明13 五圓

明治議會史附明治三十六年史 太陽增刊 明1937 貳圓五拾錢

通俗國會論 淺野義文編 明41布四圓

帝國議會通鑑 帝國修史會編 明41布四圓

第一期國會始末 議員集會所編 明1524 壹圓貳拾錢

停會の先例 花井卓藏 新報 大1524 五圓拾錢

議會の解散と其先例 大隈重信 新報 大13 六圓拾六錢

第一期帝國議會要錄 植木枝盛編 明24 參圓五錢

現はれたる第四十三議會 大山郁夫 我等 大9 五圓拾錢

第四十二議會と立憲政治の前途 植原悅二郎 太陽大9 八圓拾錢

貴族院

貴族院制度に就いて 美濃部達吉 改造 大1313 五圓拾錢

貴族院改革資料 堀切善次郎著 大1313 貳圓五拾錢

貴族院改革と將來 鎌田勝太郎著 大1314 五圓拾錢

貴族院制改革論 高島義一 日人 大1314 五圓拾錢

貴族院改革の根本義 小村俊三郎 日人 大1313 參圓拾錢

貴族院改革問題 占部百太郎 財經 大1313 參圓拾錢

貴族院改造問題 稻田周之助 新報 大1313 五圓拾錢

貴族院改革の聲 齋藤澄雄 日人 大1313 五圓拾錢

貴族院改革の思想的背景 阪東宣雄 我觀 大1413 五圓拾錢

貴族院改革の原理 五來欣造 我觀 大1413 五圓拾錢

貴族院改革の原由 占部百太郎 社政 大1414 六圓拾錢

貴族院改革問題の嚴正批評 牛澤玉城 外時大 大1414 五圓拾錢

貴族院の改革の限度 上杉愷吉 國家大 大1414 五圓拾錢

衆議院

衆議院三十年誌 同院事務局 大8 四圓

第一期衆議院議事提要 天野堯撫編 明24 壹圓五錢

衆議院報告 同院自初議會 至三議會 明24 大15 拾圓

帝國衆議院議事摘要 同院自初議會 至三議會 明24 大13 拾圓

政黨史

大日本政黨史 若林清著 大2布參圓

日本政黨史 林田龜太郎著 上卷昭2布貳圓八拾錢

日本政黨發達史 上野熊藏著 下卷昭2布貳圓五拾錢

日本政黨史料 伊藤龜遊著 大4015 壹圓五拾錢

明治政黨史 太陽增刊 明4015 貳圓

政黨政治の將來 小寺謙吉著 大11 壹圓八拾錢

政黨と黨弊 細井肇著 大11 壹圓八拾錢

信州政黨史 江川爲信著 大3911 壹圓貳拾錢

日本に於ける黨派の消長 大隈重信 國家 明3911 壹圓貳拾錢

帝國國防史論抄 佐藤鐵太郎著 明45布壹圓八拾錢

柳樹海岸略圖 二尺五寸二尺二寸 (東京灣) 和貳圓

熊本藩方註文の軍艦一件記 寫本 拾圓

慶應二年二月肥後熊本藩より新規定軍艦の註文購入を英商會カラハと定約せし一件記録の寫 寫本 拾圓

北八ヶ國御固附 (武藏以北八ヶ國) 一尺三寸二尺和八圓

江戶警備ニ關スル圖面 (萬屋板) 一尺六寸二尺二寸和壹圓

品川沖埋立御臺場略圖並 坪數 彩色 一尺五寸二尺和貳圓五錢

内海御臺場圖并積書 寫本 永6 五圓

内海御臺場坪數書附繪圖 寫本 永6 參圓

相房御繪圖 寫本 彩色 二尺五寸二尺五寸 永6 參圓

相房州臺場出來榮 見分并引渡御用留 奉行大竹氏寫 弘化4 五圓

相武房總海岸圖附伊豆七島 寫本 二尺二寸八 貳圓

維新前ニ於ケル軍政(經理)機關ノ變遷 森貝述明29 壹圓

國民的戰爭と國家總動員 佐藤鋼次郎著 大7 壹圓四拾錢

海國兵談 林子平著 圓南社版 大5布貳圓

帝國國防論 衣斐鈞吉著 國防叢書 大5布壹圓八拾錢

帝國國防の本義 溝部洋六著 國防叢書 大8 壹圓貳拾錢

國逸戰の教訓と我國防の將來 日高謙爾述 大8 五圓

國防私論 高木繁 日人 大5 六圓拾錢

文化年間の砲台築造 伴三千雄 歷地 大1013 四圓拾五錢

國防改造論 原象一郎 太陽 大1013 八圓拾五錢

飛行機の發達と立方的國防論 長岡外史述 大1110 六圓拾錢

我が陸軍當局の國防錯覺 伊藤正德 財經 大1110 六圓拾錢

議會史

古來政府考 小中村清矩述 皇典 明治22年 壹圓貳拾錢

帝國議會史 工藤武重著 三冊36布拾貳圓

帝國議會史綱 工藤武重著 明41布貳圓

日本國會論纂 三宅虎太郎 明13 五圓

明治議會史附明治三十六年史 太陽增刊 明1937 貳圓五拾錢

通俗國會論 淺野義文編 明41布四圓

帝國議會通鑑 帝國修史會編 明41布四圓

第一期國會始末 議員集會所編 明1524 壹圓貳拾錢

停會の先例 花井卓藏 新報 大1524 五圓拾錢

議會の解散と其先例 大隈重信 新報 大13 六圓拾六錢

第一期帝國議會要錄 植木枝盛編 明24 參圓五錢

現はれたる第四十三議會 大山郁夫 我等 大9 五圓拾錢

第四十二議會と立憲政治の前途 植原悅二郎 太陽大9 八圓拾錢

貴族院制度に就いて 美濃部達吉 改造 大1313 五圓拾錢

貴族院改革資料 堀切善次郎著 大1313 貳圓五拾錢

貴族院改革と將來 鎌田勝太郎著 大1314 五圓拾錢

貴族院制改革論 高島義一 日人 大1314 五圓拾錢

貴族院改革の根本義 小村俊三郎 日人 大1313 參圓拾錢

貴族院改革問題 占部百太郎 財經 大1313 參圓拾錢

政黨の近狀と我國憲政の前途 大山郁夫 中公 大11 四圓拾五錢

政黨政治史觀 南總逸人 歷地 大11 四圓拾五錢

尚農勞三黨の我國に於ける將來 高橋龜吉 改造 大12 五圓拾錢

護憲三派の運動 山川均 改造 大13 五圓拾錢

自由黨史 板垣退助 監修 編 二明4布九圓

進步黨黨報 自第一號 至第三號 合本明30方31布五圓

政友會罪惡史論 室伏高信著 大5 八圓拾錢

政友會罪惡史 安藤音三郎著 大8 八圓拾錢

立憲政友會史要 小林雄吾編 大9 壹圓貳拾錢

立憲政友會年表 西野雄治編 大10 布壹圓七拾錢

新政友會論 坂口二郎著 大12 七圓拾錢

實業同志會の成立に就て 森口繁治法叢 大12 七圓拾錢

立憲政友會史 小林雄吾著 編 四大13方14布拾八圓

政友會の新陣容と其將來 三宅雪嶺 中公 大13 八圓拾錢

政友會の分裂と「特權内閣」 財經社説 大13 八圓拾錢

無產政黨運動の將來 水口正一 日人 大14 五圓拾錢

新政黨意識の發生と無產政黨の前途 大山郁夫 中公 大14 八圓拾錢

選舉干渉の變遷 三宅雄二郎 雄辯 大9 八圓拾錢

選舉干渉の變遷 上田外男著 雄辯 大6 壹圓拾錢

二十三年の總選舉 末松謙澄 國家 二明23 參圓八〇錢

二十五年總選舉統計 末松謙澄 國家 二明25 參圓六〇錢

國防史

帝國國防史論 佐藤鐵太郎著 明41布貳圓

國防史

帝國國防史論 佐藤鐵太郎著 明41布貳圓

△國防の根本方針策立の好機 成田篤 外時 大12 五拾錢
△我國國防の基調 河野恒吉 國智 大12 五拾錢

海防史

△海防 海防議會 大13 創刊・年六散賣 參拾五錢
△海防私論 盛田曉述 大6 壹圓參拾錢
△佐藤信淵の海防策 海老名一雄 歴地 明28 壹圓四九錢
△攝海戰守御備 松平修理太夫内 本田綱右衛門内 壹圓五錢

陸海軍史

△陸軍主計團記事同團 明13 創刊・月刊 散賣 參拾五錢
一號方八年間揃二一四〇〇〇〇〇
◎海軍 美術部 大15 創刊・月刊散賣 貳拾壹錢
一號方二年間揃二四〇〇〇〇〇〇
△水交社記事 水交社 明23 創刊・月刊 散賣 五拾錢
最近二十年間揃二四〇〇〇〇〇〇
△帝國海軍 同社 大4 創刊・月刊 散賣 貳拾錢
一號方一三年間揃一五六〇〇〇〇〇
◎法規分兵制門 内閣記録局編 揃四期24 六圓
△帝國陸軍史 田邊元二郎著 明44 革貳圓
荒川銜次郎著
△陸軍歴史 陸軍省編 揃二洋裝六圓五錢
△日本兵制史 歴史地理學會編 大115 壹圓參拾錢
赤堀又次郎 歴地 大115 四拾五錢
△帝國陸軍史論 小笠原長生著 明13 布參圓五錢

△日本海上發展史 足立栗園著 大3 布貳圓五錢
並に日本海軍之發展

○海軍歴史 勝安房著 揃一〇和六圓

□大日本海軍沿革史 石原勇五郎著第二編 明20 布五圓
上代より寛永年間に至る船舶及水軍の沿革を記述し併せて海運
進歩の原因結果を明にし其變遷歴史の實勢を知らしむ
○日本帝國海上權力史 講義 小笠原 明37 布五圓
長生著

△中世の兵士及兵士米に就て 相田二郎 歴地 大13 四拾五錢
△明治初年の帝國海軍 淺井將秀 水交社 大3 壹圓
△騎兵制の發達と武士 西岡虎之助 史雜 大1415 九拾錢
△再び北海道屯田兵制に就て 森谷秀亮 歴地 二大 拾五錢
△徵兵統計の關係 横山雅男 統集 明44 六拾八錢
△徵兵と學生の關係 曾我祐準 國家 明2644 壹圓七五錢
△徵兵危險率に就て 玉野重次郎 保難 大7 七拾五錢
△中古徵兵制度の變遷 川上多助 歴地 明45 七拾貳錢

日本古戦史

△日本戰史 參謀本部編 揃二七 貳圓四八錢
關ヶ原役 三方原役
大坂役 小牧役
桶狭間役 柳瀬役
山崎役 中津役
九州役 小田原役
△皇朝戰略編 宮田敏軒 揃一五 安政3 和四圓
上承平天慶の平將門の亂より下寛永年間天草の亂に至る凡そ七
百年間の軍事戰畧を諸史野乘に採り年序に従つて記す
△日本古戦法 參謀本部編 大13 革壹圓八拾錢
通俗軍役奇談 紫田六郎 譯 鈴木政男 訓 解 明20 布壹圓
△第三師官古戰場集 笠原保久著 明24 七拾錢
賤 筒 嶽 記 山本正信著 文化4 寫壹圓五拾錢

×關ヶ原大合戦諸勇士高名之圖 芳虎畫錦繪 續三八 拾錢
○關ヶ原軍記 村田尙賢寫 小蟲 享保15 壹圓五拾錢
△關原合戦圖志 神谷道一著 明25 布壹圓七錢

△關原備考後編 霞亭文庫藏印 寫本 揃八參圓

×濃州關原古戰場之圖 磯谷治通寫 彩色 嘉永3 六圓
橋本明細紙密にして彩色鮮明且つ紙質薄葉にして頗る美觀なり
×關原合戦之圖 彩色 覆寫 六尺二寸 和六圓
彩色 覆寫 六尺二寸 和六圓

×關原合戦圖 彩色 覆寫 二尺六寸七分 和五圓

□小牧陣始末記 神谷存心著 日本戰附圖共二明22 壹圓參拾錢
史料附圖無 壹圓

×尾州小牧合戦之圖 彩色 覆寫 一尺九寸二分 和壹圓五拾錢
今川義元織田信長桶狭間合戦線記 繪入 和壹圓五拾錢

×小牧山圖 彩色 覆寫 一尺三寸二分 和貳圓

×三州三方原合戦圖 覆寫 彩色 一尺七寸二分 和壹圓
×味方原合戦圖 筆寫 彩色 一尺三寸二分 和壹圓
和壹圓五拾錢

△甲越川中島合戦略傳 和四拾錢
△上杉家就御書上川中島五戰記 土井信敬寫 墨入 慶應3 壹圓

×長篠合戦之圖 筆寫 彩色 五尺九寸二分 和七圓

×姉川合戦圖 筆寫 彩色 二尺六寸二分 和貳圓五錢

×三增峠合戦圖 筆寫 彩色 四尺三寸三分 和六圓

×長篠合戦之陣圖 馬場文英三尺四寸一分 二安政4 貳拾錢
□日本戰史三河物語 大久保彦左衛門著 明23 布八拾錢

軍記戰記 神皇正統記

神皇正統記 朝野房編 明44 五拾錢
神皇正統記 群書類從本 揃三和貳圓
神皇正統記 評釋 大久保初雄著 明27 八拾錢
神皇正統記 評釋 大町 桂月著 新大16 布壹圓六拾錢

神皇正統記

神皇正統記 久米幹文述 布貳圓五錢
神皇正統記 北島親房撰 三度應1 後摺和貳圓五錢
神皇正統記 山田茂助版 揃三度應1 後摺和貳圓五錢
神皇正統記 塚本哲三編 大7 布壹圓五拾錢
神皇正統記 今泉定介述 大9 壹圓參拾錢
神皇正統記 評註 神皇正統記考 内藤耻叟校 明29 和五拾錢
大4 和五拾錢
神皇正統記 久米幹文述 布貳圓五錢

△弘安文祿征戰偉績 史學會編(諸家論集) 明33 壹圓五拾錢
守 記 前田利家佐々成家政合戦記寫本 壹圓

△石山軍記 通俗日本全史假綴云三頁 大2 壹圓
附和田系國夷書・關原家始末・清須合戦記 史籍集覽 和八拾錢

□北越軍功目錄 壽年堂控 寫本 横五圓
米澤藩士越後の新發田藩へ攻撃せる時の日誌にして長六月十二
日より七月二十日に亘る留書なり

△近世四戰紀聞 橋爪實一編 繪入 三明11 和貳圓五錢
近藤主造校

△古備詳書集成戰記部 田中誠一編 同集成刊行會 大11 布貳圓
關ヶ原記 酸漿主水 秀次公高野山伏誅之件 寫本 壹圓五拾錢

△繪本拾遺信長記 外賀如圭畫 二三文化1 和七圓
和泉屋源七板

神皇正統記

評註 神皇正統記 北島親房撰 三度應1 後摺和貳圓五錢
神皇正統記 山田茂助版 揃三度應1 後摺和貳圓五錢
神皇正統記 塚本哲三編 大7 布壹圓五拾錢
神皇正統記 今泉定介述 大9 壹圓參拾錢
神皇正統記 評註 神皇正統記考 内藤耻叟校 明29 和五拾錢
大4 和五拾錢
神皇正統記 久米幹文述 布貳圓五錢

日本志篇 七

六三三

國史略

- 訂正國史略 岩垣松苗編 五慶應1和壹圓五拾錢
- 國史略訓蒙 安富國民著 拙四明7和八拾錢
- 續國史略 谷寬得原撰 正續一〇明7和壹圓五〇錢
- 新刻國史略 石村貞一編 拙七明9和壹圓八〇錢
- 國史略 岩垣善三郎著 拙五明9 壹圓七拾錢
- 國史略 岩垣松苗編 拙二明10和貳圓
- 國史略 菊池純編 拙一五明12五 圓
- 國史略字解大全 紫田秀有編 拙三三明15和五拾錢
- 增補點註國史略 巖垣松苗著 巖垣杉苗註 拙五明17和貳圓參拾錢

日本政記

- 日本政記 賴襄子成著 拙八和 壹圓五〇錢
- △日本政記 雨森精翁編 拙四明和10 壹圓參拾錢
- 改正增補日本政記字類大全 河村與一郎編 拙三三明23和五拾錢
- 日本政記 賴久太郎著 拙八明9和壹圓貳拾錢
- 增補日本政記 賴久太郎著 拙八明3023和壹圓八拾錢
- 論文日本政記講義 富本長洲著 拙二明29和壹圓貳拾錢
- 論文日本政記講義 河村定靜述 拙二明3529和壹圓貳拾錢

日本外史

- 日本外史 賴元協後藤機校輸入 拙五元治1和貳圓五〇錢
- △論文日本外史講義 的場銚之助著 明29 和五拾錢
- △日本外史論文叢註 池田蘆洲著 明29 和五拾錢
- △續外史餘論 長川東洲著 二明6和壹圓五拾錢
- 外史類語 大森惟中庄原和纂 拙二明7和八拾錢
- 日本外史字類大全 河村與一郎輯 拙二明11和五拾錢
- 日本外史前記 近藤瓶城著 拙五明11和壹圓
- 日本外史補 岡田僑撰 拙九嘉永3和壹圓五拾錢
- △日本外史 塚本哲三編 有朋堂文庫 拙二大14布壹圓八〇錢
- 邦文日本外史 池邊義象譯 新昭2 拙五 圓
- △新譯日本外史論文精解 吉川秀雄著 新昭2 拙布壹圓貳拾錢
- △啓蒙日本外史 大槻誠之解 拙波逸益軒校三五明7和壹圓五拾錢

日本開闢史

- △大日本開闢由來記 指瀾漁者編 拙六萬延1和五 圓
- △皇國開闢由來記 指瀾漁者 拙三安政3和四 圓
- 日本開闢由來記 一夢道人著 明33 拙壹圓五拾錢
- 日本開闢 大和田建樹著 三浦寫 明33 拙壹圓
- △日本開闢史 中野德五郎著 明42 拙布參圓五〇錢
- △大日本建國史 木村鷹太郎著 洋裝 拙壹圓八〇錢

神代記

- 神代記 日本書紀 大槻藏印 明2 和壹圓
- 神代記 佐藤小吉著 明43 拙壹圓五拾錢
- 神代記 菅山隆 本居宣長著 須原屋板 明11 和壹圓五拾錢
- 神代記 新解 黑神直臣著 須原屋板 明11 和壹圓五拾錢
- 神代記 日本外史講義及字解 日本開闢史 神代記 太古史 日本外史講義及字解 日本開闢史 神代記 太古史

- △標日本外史 賴又二郎標 北島版 拙三三明10和貳圓五〇錢
- △日本外史 賴氏藏板 拙二元治1和壹圓貳拾錢
- △日本外史 須原屋版 拙二元治12和貳圓
- ×日本外史之内(義平重盛一騎打之圖)清親畫 賴明13 壹圓參拾錢
- △校刻日本外史 保岡元吉校 川越版 拙二明16和貳圓
- △校正日本外史 後藤機撰 拙二明18和壹圓參拾錢
- △日本外史 田中屋版 拙二明24和壹圓貳拾錢
- △日本外史 賴久太郎增補 拙二明3327和壹圓七拾錢
- 增補日本外史 賴久太郎著 拙二明3327和壹圓七拾錢
- 重訂日本外史 久保天隱訂 拙大1326布壹圓五拾錢
- △校日本外史 賴襄子成著 明41 拙布貳圓五〇錢

日本外史講義及字解

- △系譜頭書日本外史便蒙 水野 旭山校 二明6和七拾錢
- 日本外史質疑應答 鹿島長次郎著 明25 和八拾錢
- 演義日本外史 松村操修選 明16 拙布壹圓五〇錢
- △日本外史新論 中村正直著 中西桑陽寫 明43 拙布七拾錢
- ▲新譯日本外史 大町桂月譯 明43 拙布七拾錢
- 改正增補日本外史字類大全 河村與一郎編 拙四明2539和六拾錢
- 日本外史纂語字類大全 櫻井茂衛編 拙四明2539和六拾錢
- 校刻日本外史附字典 賴山陽著 郁文舍刊 拙二明1439和六拾錢
- 便蒙日本外史纂語講義 雨森精翁述 六明1439和六拾錢
- △日本外史論文講義 賴山陽著 片岡潛夫講述 明3330 拙壹圓
- △日本外史論文講義 岩田德義著 明3330 拙壹圓
- △日本外史講義 與文社編 少年叢書 拙四八 和六 圓

太古史

- △神代史の研究 津田左右吉著 大13 拙布參圓貳〇錢
- △日本書紀神代卷 加藤立智著 洋裝 拙參 圓
- △神代之研究 福田芳之助著 大2 拙貳 圓
- 神代卷講述鈔 山本廣尾著 拙二 和貳圓五〇錢
- 祖 岡本監輔著 明23 拙參 圓
- 日本太古史 木村鷹太郎著 拙二 洋裝 拙六圓五〇錢
- 赤經太古傳成文 平篤胤撰 平篤胤著 拙三文政6和壹圓五拾錢
- 考訂古史成文 平篤胤著 拙三文政6和壹圓五拾錢
- △日本太古史 石川利之著 明33 拙參圓五〇錢
- △世界的研究 日本太古史 木村鷹太郎著 明44 拙布參 圓
- △に基つて 日本太古史 木村鷹太郎著 大2 拙布參圓五〇錢
- △原始時代 中央史壇 大12 拙壹 圓
- △原始時代之研究 國史講習會編 大14 拙布參圓六〇錢
- △太古史 野村秋定編 明15 和五拾錢
- △日本上古略史 宮本茂任編 明15 和五拾錢
- 古史 平田篤胤著 拙一〇 和六 圓
- △古史 源君美撰 假綴二〇八頁 八拾錢
- △古史 源君美撰 假綴二〇八頁 八拾錢
- △古史 源君美撰 假綴二〇八頁 八拾錢

古代史

- △少彦名命の研究 喜田貞吉述 民族と歴史大10 八拾圓
- 倭姫命世記講述抄 高宮玉串内人度會清在述 寫本貳圓
- 古事本紀別傳 伊勢貞丈著 關空々々寫文政13貳圓
- 古語上の研究 田口卯吉著 國語上より觀察したる人種の初代・日本朝鮮及支那古代の交通・高皇產靈尊・太后と蒙古の骨占 明35 壹圓貳拾錢
- 日本記略 國史大系本經濟雜誌社 明30布七圓
- △日本古代史 久米邦武著 合本明42布貳圓五拾錢 明二大4布參圓五拾錢
- △大日本古代史 堀田球左右述 國史講習錄 壹圓五拾錢
- 日本古代史と神道との關係 久米邦武著 明42 八拾錢
- △日本古代思想史 橋惠勝著 洋裝 四圓

古事記

- 古事記傳 本居宣長著 箱入美本 揃四五和裝參拾五圓
- 校正古事記 徳川氏藏版 揃三明8和貳圓
- 古事記標註 村上忠順著 揃三 和貳圓五錢
- 古訓古事記 三國幽眠略解 揃三 和貳圓
- 訂正古訓古事記 本居宣長編 揃三明4 和壹圓
- △標註古事記讀本 加藤高文著 明44 壹圓五拾錢
- △古事記及の研究 津田左右吉著 大13 參圓
- 古事記講義 大久保初雄著 快入揃三明2 貳圓 合本新大15布貳圓

古事記通俗講義

- △古事記通俗講義 美濃部伴郎著 昭2布貳圓
- 古事記抄 鴻巣次田栗原編 大14 六拾圓
- 標註古文古事記 池田常太郎著 明44 壹圓
- △古事記通釋 池邊義象著 大6布參圓
- △古事記之研究 美濃部伴郎著 大3 壹圓貳拾錢
- △古事記 藤原成元著 新大14布壹圓
- △古事傳通釋 大國隆正著 一巻 明27 壹圓
- △古事記通釋 千秋季隆述 早大二三頁 明27 壹圓
- 古事記序解 龜田鷹谷述 大10 布壹圓五拾錢
- 古事記神話の新研究 石川三四郎著 大10 布壹圓貳拾錢
- △古事記の性質及び其編述の時代 安藤正次述 大6 七拾錢
- △古事記に見えし植物 白井光太郎述 明治聖徳紀要三頁 八拾錢
- △古事記日本書紀 飯田武福 萩野由之述 新大15布貳圓五拾錢
- △古事記新釋 植松安著 新大15布五圓
- △古事記新講 次田潤著 新大15布五圓
- △古事記全釋 植松安著 廣文堂 新大15布四圓五錢
- 通俗古事記數釋 井上友吉著 洋裝 貳圓
- △要領を得てよくわかる古事記新解 古谷幹夫著 新昭2布壹圓六拾錢

本朝六國史

- 國史六國史 黒板勝美校 散賣六圓
- 大系六國史 經濟雜誌社版 五大4 5布〇〇〇圓
- 日本書紀〇1 會人 親王 文德實錄〇3
- 日本書紀〇2 菅野 眞道 三代實錄〇4
- 日本書紀〇3 藤原冬嗣等 別冊
- 日本書紀〇4 藤原良房等 國史大系類纂國史 菅原道眞等
- 本朝六國史 伴信友校訂 桐箱入四〇明16 和貳拾參圓
- 日本書紀續日本紀 日本後記 文德實錄三代實錄

平安朝史

- ×奥州後三年合戰畫卷 木箱入三天保13 四拾五圓
- 肉筆彩色畫にして頗る美麗、大版長尺巻物なり
- 保建大記打聞 安積學政 揃三正徳4和壹圓五拾錢
- 保元大記 梁山潜録撰 揃二正徳6和壹圓五拾錢
- △平安朝史 池田光淵述 早大高貴 明39 貳圓五錢
- △平安朝裏面より見たる日本歴史 久米邦武述 明44布貳圓
- △平安年中行事記 笠原鴨漣齊藤靜花著 明44 壹圓
- △日本史蹟叢書(保元平治) 日本史蹟刊行會 大7布八拾圓
- △平安朝文化と庶民階級 西田直二郎 史林二大7 貳圓
- △平安朝に於ける王政復古 西岡甫之助 中史大11 五拾圓
- △平安朝の文化 歴史と地理特輯 中史大11 五拾圓
- ▲藤原時代物語 木村小舟著(美術) 大11布貳圓五〇錢
- 參考平治物語 今井弘濟著 揃六元祿6和四圓五〇錢
- 異本五部を集めて互に校合しその文句の異同を註し且つ事實の誤謬を訂正したるものなり

鎌倉時代

- 増補鎌倉武鑑 木村樹年記 一三編揃四文政2和四圓
- 鎌倉大草紙考 黒川景頼述 假綴要頁 寫本 壹圓五拾錢
- 鎌倉大草紙 菅紀氏寫 寫本 壹圓五拾錢
- 永和より文明に至る鎌倉の盛衰 額末を記したるもの
- △鎌倉時代史 三浦周行著 時代史 早大 大5布貳圓 五拾錢
- △鎌倉大草紙脱漏 尼利持氏滅亡記 明16 和壹圓 五拾錢
- △鎌倉時代史 日下寛述 早大 二六頁 明40 壹圓 貳拾錢
- △鎌倉時代通俗史談 大森金五郎著 明40 壹圓 貳拾錢
- △文化より見たる鎌倉時代 醍醐惠端著 大7布貳圓

古代史

- 日本書紀 勅木板 訓點註 釋朱入 揃二五慶長4和拾圓
- △日本書紀通釋 飯田武福著 揃五明16布貳拾六圓
- △本校日本書紀 大八州學會訂 明28 四圓
- △文化史上より見たる日本書紀 三浦周行藝文大8 五拾錢
- △日本書紀文字錯亂備考 大關増業識 文政5 和壹圓 五拾錢
- △日本書紀傳 國學院大學編 揃七洋裝 參拾六圓
- 註假名の日本書紀 植松安著 揃二新大15布各參圓五〇錢

奈良朝史

- 巖屋完節志 帆足萬里鴨知譯 嘉永4寫貳圓五〇錢
- 中井竹山の逸史に誤妄あるを慨して編纂したる櫻岳公遺事を譯者か其門生と共に漢譯せるものなり
- 本朝世紀 國史大系本經濟雜誌社 明31布六圓
- 日本逸史 鴨祐之著 二二享保9和五圓
- 桓武天皇延暦十一年より淳和天皇の天長十一年に亘る歴史なり
- 日本逸史 朝 天皇本記附皇子列傳 寫本 壹圓
- 奈良朝史 久米邦武述 早大六八頁 明38 貳圓五錢
- △奈良時代史論 日本歴史地理學會編 大3布五圓
- △奈良朝時代の文化 清原武雄史地四明42 43 參圓七五錢
- △天平時代物語 木村小舟著(美術) 大11布貳圓五〇錢

- 鎌倉將軍家譜 林道春著 寛永18和五圓
- △高倉天皇の治承四年より光嚴天皇の正慶二年に至る關東將軍九代、百五十四年間の系譜傳記なり
- △鎌倉文明史論 日本歴史地理學會 明42布四圓三錢
- ×頼朝鎌倉館中之圖 奥村德義寫三尺八寸彩色天保12
- ×鎌倉右幕下燒香場の圖 貞秀畫 錦繪 五拾錢
- 鎌倉將軍並伊豫守御侍帳 谷長國寫 嘉永7七拾錢
- 氏政諸將城附(北條家公文所列姓之衆) 寫本 横五拾錢
- 源氏一統志 馬場立隆著 揃一六文政4和拾圓
- 鎌倉武士と禪 鷲尾順敬著 歴史講座 布壹圓五拾錢
- △武家時代概論 久米邦武撰 中央大4六拾五錢
- △鎌倉時代に於ける鎌倉の文化に就て 大森史維大10五拾錢
- △鎌倉時代の武士道管見 清原貞雄 史地 大9五拾錢
- △頼朝の清盛 岩井松風軒著 明34和參拾錢
- △頼朝公給帳 松井氏寫 明34和參拾錢
- △武家時代の研究 大森金五郎著 卷一 新昭2 貳圓三錢
- △源頼朝公御大名分限帳 源家系圖附天明8寫八拾錢
- 安永5寫八拾錢
- 仁部要 日野權中納言實宣著 寫本 五圓
- 建長八年五月より弘安二年五月(鎌倉時代中葉)迄の公務上見聞せしことを記述せるもの
- △武家時代史論 山路愛山著 明43壹圓貳拾錢
- △近古史附近世史 荻野由之小中村義象著 明43壹圓貳拾錢
- △國史玉 葉 藤原兼實著 高頭忠造編 二大6布參圓五錢
- 葉 藤原兼實著 市島謙吉編 二明39布貳圓五錢
- △玉 葉 藤原兼實著 市島謙吉編 二明39布貳圓五錢
- 長寛二年正月より正治二年末月間の朝章典禮時勢の隆替公武事態より天時地理人情風俗の細故に至る迄の日録なり
- △成吉思汗は源義經也 小谷部全一耶著 大14布貳圓八拾錢
- △成吉思汗は源義經に非ず 國史講習會編 大14布壹圓六拾錢
- △成吉思汗は著述の動機と再論 小谷部全一耶著 大14布貳圓五錢

- △源平盛衰記圖繪 秋里晴鳴輯 揃六寛政12和八拾二〇 四圓五拾錢
- 源平軍記話 一〇明曆2和八圓
- 參源平盛衰記 徳川昭武編 史籍覽 三明布五圓
- 訂源平盛衰記 帝國文庫本 明43革貳圓五錢
- 新入義經記 梅村三郎兵衛板 八元祿10和七圓
- △義經記 講談 藏田國秀述 明55五拾錢
- △義經公北方傳記 越後國頭越郡上輪村龜割山和八拾錢
- △源九郎義經 中村孝也著 新大15布貳圓八錢
- △義經再興記 内田潤八郎譯述 明20八拾錢
- △義經傳 黒板勝美著 洋裝 壹圓六拾錢
- △俗義經蝦夷軍談 繪入 揃一〇和五圓五錢
- △關東足利時代之研究 渡邊世祐著 新大15布四圓五錢
- △足利將軍傳 佐々宗淳子朴著 大1布貳拾錢
- △足利十五代史 國史研究會編 大1布貳拾錢
- 前々太平記 須原屋板 二二正徳5和六圓
- 太平記 攝城保武多 傷横揃一〇元祿10和八圓
- 國諸家前太平記 京菱屋板 揃一四正徳6和五圓
- 太平記 取合本二〇貞享5和參圓五錢
- △太平記軍傳 浪花吳玉寫 一册欠五九四圓五錢
- △頭書繪本太平記 東京同益出版社 揃二一明17和六圓
- △增補繪本太平記 山林樓 湖繪繪 揃二一明17和六圓
- △訂正繪本太平記 揃三明41和貳圓五錢
- 校訂前々太平記 續帝國文庫 明38壹圓五拾錢
- 校訂太平記 市島謙吉編 明40布壹圓五拾錢
- 訂太平記 田島象二著 揃二明15布貳圓五錢
- △訂太平記 續帝國文庫博文館 揃二大2革參圓
- 太平記 永井一考校訂 揃二明43布參圓
- △太平記・後太平記 通俗日本全史早大三3布四圓五錢

元寇の役

太平記

- 伏敵論 山田安榮編 明25革六並四圓五拾錢
- 附靖方湖源・蒙古襲來繪詞(竹崎季長畫)
- 元寇紀略 大橋訥菴著 思誠塾版二嘉永6和四圓五錢
- 蒙古襲來繪詞 竹崎季長畫 揃三大5和五圓五錢
- 風俗繪卷圖畫刊行會
- 蒙古台戰元寇軍記 鶴越敏士著 明24貳圓
- 元寇反響護國美談 紫山居士著 中洲補 明21壹圓
- 元寇事蹟殉難及勳功關係者姓名錄 山田安英輯 明30貳圓
- 筑紫のあだ波(一名元寇始末) 小中村義象著 傷明23壹圓貳拾錢
- 文永弘安間の倭寇と高麗の對峙 局策青山公亮史雜大15五拾錢
- △元寇史蹟の新研究 史蹟講演會 洋裝貳圓五錢
- △室町時代史 渡邊世祐述 早大明39壹圓
- △室町時代の裏面 秋山眞著 洋裝壹圓
- △兵部卿護良親王 木村慶太郎清水孝教著 大1布壹圓七拾錢
- △建内 寫本 應永24壹圓
- △結番日記・親孝日記 豐日記 坪井九馬三校 明41壹圓五拾錢
- △足利 尊氏 山路愛山著 日本英雄傳 明42七拾錢
- △足利時代史 田中義成著 新大14布貳圓貳〇錢

- △元寇の役 室町時代史 太平記
- 前々太平記 須原屋板 二二正徳5和六圓
- 太平記 攝城保武多 傷横揃一〇元祿10和八圓
- 國諸家前太平記 京菱屋板 揃一四正徳6和五圓
- 太平記 取合本二〇貞享5和參圓五錢
- △太平記軍傳 浪花吳玉寫 一册欠五九四圓五錢
- △頭書繪本太平記 東京同益出版社 揃二一明17和六圓
- △增補繪本太平記 山林樓 湖繪繪 揃二一明17和六圓
- △訂正繪本太平記 揃三明41和貳圓五錢
- 校訂前々太平記 續帝國文庫 明38壹圓五拾錢
- 校訂太平記 市島謙吉編 明40布壹圓五拾錢
- 訂太平記 田島象二著 揃二明15布貳圓五錢
- △訂太平記 續帝國文庫博文館 揃二大2革參圓
- 太平記 永井一考校訂 揃二明43布參圓
- △太平記・後太平記 通俗日本全史早大三3布四圓五錢

最近世史 幕府衰亡史論 幕末史

柳澤家秘藏實記文政6 望月富治 秋田杉直物語 寛政4
遊女濃安部 天保11 秋田治亂記實錄 寛政4
櫻洲色夫録 寛保11 田沼主膳頭殿へ被仰渡書天明7
櫻洲書延享3 大樽朝元 蚊や火 文政13
見語 龜山訓 文政12 津田政隆 松濱侍從審問封書 天保6
政隣記抄本 寶曆4 高橋首門 龍の宮夢物語 文政13
久留米騒動記 寶曆4 寶曆四甲戌歳騒動御制詞 新井白石著 揃一三嘉永6參 圓

最近世史

△開國五十年史 大隈重信撰 揃二明41年五 圓
○奠都五十年史 文友社編 原色版錦繪寫 大6布四 圓
○寫真五拾年史 國民タイムス社編 大4布參 圓
□最近五十年史 中村徳助著 明44布壹圓五拾錢
○幕末明治裏面史 藤森花影著 大5布七拾錢
△開國大勢史 大隈重信著 厚册大2革四圓五〇錢
△開國起原 勝海舟著 揃三洋裝參拾圓
△大日本現代史 國府種徳著 揃二洋裝四圓五〇錢
△開國論の濫觴 海老名一雄 歴地 明26 壹圓五錢
△太平洋捕鯨事業と日本の開國 新村出 史地明44 八拾五錢
△松平定信の開國に就きて 上野菊爾 歴地 明44 七拾七錢
△開知新編 橋爪貫一編 繪入 揃六明2和六 圓

幕末外國關係文書

文科大學編 二二布壹百六〇圓
幕末諸公文諸達寫 寫本三拾八圓
文久元年辛酉二月より三癸亥七月に亘る諸記録にして當時の内
外情勢を窮ふに足る好史料なり

夷事輯録

附嘉永六年以後 寫本八八拾圓
下田條約之事 八月十日關東江被仰出勅諭之事
墨使登城御免之事 水府老公御沙汰付京部一件御仕
使節申立之軍並に再應接之事 水府老公御沙汰付京部一件御仕
公儀御大變革思召之事 中職之事
京師御伺之事 勅返納名義論
公家諸建議之事 越前福井來書
亞英露諸船入津付條約取替之事 安政七年三月三日井伊掃部頭
六月三日京師御警衛并諸所御持
場替之事 水戸浪士十七人表懷書
六月三日關老進退之事 江戶家上使付内情之事
御養君御弘附御役々被仰付事 水戸御沙汰付藩州御達之事
將軍家御病氣御役人御告付御覽 以上は夷事輯録五冊の大目に
外國江被遣使節之事 一切の精細なる記録を以てす
外國人日本役人江會社中に入事 して附するに嘉永六年より安政
長崎に於て夷人江被之事 一年の精細なる記録を以てす

隨筆時態見聞誌

自弘化二三年 寫本三貳拾圓
世事最も多端なりし當時の世態見聞誌にして異船渡來内政外
交文武六藝開國攘夷諸藩騷擾朝野の政令内外の措擧より日日の
瑣事風聞に至る迄も採録したる幕末維新の好史料なり

幕末世態記録

厚册 寫本三拾五圓
異船渡來に際しての外交對策、海内各地の政績事態より世上の
風聞各藩上書觸書に至る迄登載したる幕末維新の記録
△嘉永明治年間録 吉野眞保著 揃二〇和裝貳拾參圓

幕末史

日本志篇 六

六四四

△近世太平記 吉村明道編 揃二二明12和八 圓
□近世外史 正田筑山輯 揃五嘉永6和貳圓五〇錢
△近世太平記 市川かめ版(嘉永6方明16)明21貳 圓
□維新前後 溝口白洋著 大10 壹圓五拾錢
△新形近世史略 椒山野史著 揃三明5和貳 圓
△校補近世史略 山口謙著 揃六明8和壹圓八拾錢
□通俗近世史略 山口謙著 明21布貳 圓
△近世事情 山田俊藏著 揃七明7和貳圓八〇錢
寛政元年より明治二年に至る迄の記事なり
△近世紀略 菊池經著 正續八明9和參 圓
□近世紀聞 築崎延房輯 明19布四 圓
△近世紀聞 條野傳平 築崎延房輯 揃三六 明8和貳拾五圓
△近世紀聞 條野傳平 築崎延房輯 揃三六 明8和貳拾五圓
△近世紀聞 條野傳平 築崎延房輯 明20布四圓五〇錢
□近世野史 城兼文著 四和貳圓五〇錢
幕府衰亡史論 新大15 壹圓五拾錢
△幕府衰亡論 福地櫻痴著 (朝廷と幕府との關係) 寫本貳 圓
△幕府瓦解史 熊田葦城著 新二大4布參 圓

幕末史

明治前記

鈴木大編 明21 五 圓
上、弘化元甲辰年より下、慶應三丁卯年に亘る歴史なり

幕末史の研究

井野邊茂雄著 新昭2布五圓六〇錢

幕末史

小林庄次郎著 早大明38並壹圓五拾錢
明40布貳圓五拾錢

幕末史概説

井野邊茂雄著 新昭2布五圓八〇錢

幕末小史

戸川安宅著 揃三明32 貳圓五〇錢

幕末哀史

堀江秀雄著 新昭2布貳圓二〇錢

幕末維新熱血史

白羊著 維新前後之卷 新昭2布貳圓五拾錢
維新之人々卷 寫本七 拾 錢

幕末見聞録

篠田鑽造編 明38 壹圓 貳拾錢
安田正秀著 大8 壹圓 貳拾錢

幕末裏面の活動

皆川昌著 明4327 貳圓 五拾錢
高橋幸義著 明4327 貳圓 五拾錢

側面觀幕末史

榎木章著 洋裝 四圓五〇錢

幕府始末

勝安芳著 明28和參 圓

昨夢紀事

中根雪江著 二明29布拾貳圓

日本志篇 六

六四五

潜中紀事

清河正明著 明21布貳圓五〇錢

△尊攘紀事 岡千仞著 描四洋裝壹圓五〇錢

△幕末變革期に於ける社會缺陷の研究 久代高任中史二大10壹圓

△德川末期より明治新政へ 藤井甚太郎 史地大13 五拾錢

△維新新史料 野史彙編 六六明20方25八拾圓

△維新前後の記録 明治六年地租改正條例諸藩知事上書 寫本參

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 文司兩省教導職建議 寫本參

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△維新前後の記録 常陸論其他多數の記 事を収めたるもの

△明治風聞録 寫本七 五拾圓

△維新戰史 寫本 天地二拾圓

△開國始末 島田三郎著 附井伊直弼傳 明21布貳圓二〇錢

△王政復古の歴史 萩野由之著 大7布貳圓

△復古義舉錄 小河一敏著 描二明19和參圓

△復古古蹟新語 松村春輔著 國編畫三三編描五明7和貳圓

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△復古古蹟新語 津田氏著 明6壹圓五拾錢

△明治興國史 平井敏著 大6布貳圓

□明治歴史 坪谷善四郎著 描二明26布參圓五拾錢

△七年史 北原雅長著 描二洋裝六圓

△三十年史 木村芥舟著 洋裝八圓

△明治三十年史 岸上操編 太陽增刊 明31布貳圓貳拾錢

△明治四十年史 河野正義著 明42布貳圓五〇錢

△明治史要 修史局編 (自慶應三至明治七) 明9革貳拾五圓

△明治發達史 毛利原田日野外著 附農商工大全 明41布參圓

△通俗明治歴史 坪谷善四郎著 百全 明2037壹圓

△通俗明治起原史 內村義城稿 明2037壹圓

△明治聖代史 高桑駒吉著 解放 大13布壹圓貳拾錢

△日木最近史 櫻山專太郎述 伊藤銀月著 早大 壹圓

△人情觀的明治史 伊藤銀月著 早大 壹圓

△聖代實錄 石川鴻齋論評 中里篤信記述 描四明22和五圓

□明治外史 松村操編 自明元年 明17布貳圓五〇錢

△明治年表 偉人史叢編輯部編 (明一三三) 明34壹圓參拾錢

△明治新後大年表 妻木忠太著 大3布壹圓五拾錢

△明治顯要職務補任錄 金井之恭著 二明36布七圓

□明治太平記 村井靜馬編 描三八明11和拾八圓

□繪本明治太平記 清水市次郎編 明19壹圓貳拾錢

□繪本明治太平記 福井淳編 明20壹圓五拾錢

△通俗明治太平記 山崎栗堂著 石川致山著 描五大3革拾圓

○明治職官沿革表 內閣 自明二年 至明五年 一二貳拾圓

△明治時代思想史 清原貞雄著 大10布參圓五〇錢

□經世偉漢明治奏議 鈴木編 (名家國策論集) 明12壹圓五拾錢

△明治時代の建設的氣氛 時野谷常三郎 中史大11 五拾錢

△明治維新時代回顧の一片 紀平正美 外時 大15 五拾錢

△明治維新時代に就きて 古田良一 史林 大9 壹圓

△明治大正十年間 東亞 日人 大10 五拾錢

△近世日本の發展 黒板勝美 東亞 日人 大10 五拾錢

△明治政史 指原安三著 描二二布貳拾八圓

□明治開化史 渡邊脩次郎著 明17布貳圓五〇錢

△明治新史 宮川孫二郎編 明24壹圓貳拾錢

△明治歷史の裏面 秋山實著 明43壹圓貳拾錢

△明治憲政經濟史論 國家學會編 大8布貳圓五〇錢

□大正維新の真相 淺野和三郎著 大8布六拾錢

△大正維新史 國論特輯號 大13布六拾錢

○幕末史の再演(第二維新の序幕) 尾崎行雄著大14 拾 圓
△大正政局史論 徳富蘇峰著 大5 布貳 拾 圓

系圖

△系譜と傳記 系譜學會 大14 創刊・月刊 散賣貳拾五錢
一號方三年寫抽三六〇〇〇〇〇〇

△國史と系譜 立命館 大13 創刊・月刊 散賣拾貳圓
一號方三年間 抽三六〇〇〇〇〇〇

△系圖綜覽 國書刊行會 二大4 布六六
第四期本 諸家系圖九一篇² 丸山可澄
三寶院藏本 武藏七黨系圖²

○系圖綱要 太田亮著 洋裝貳圓

○訂百家系譜 經濟雜誌社 洋裝五圓

○尊卑分脈 洞院公定著 索引共一三和六拾圓
帝王及び諸氏の系圖にして卷一の初めに編纂本朝尊卑分脈圖、
特進亞槐藤公定撰とありて清和天皇より記し始め卷三崇光院に
至り卷四以下に源氏平氏楠氏藤原氏の系圖を登載す。古の氏骨
を考ふべき唯一の参考書なりといふ

○南方龍孫 南朝御系譜 寫本壹圓五拾錢
長谷川家喜多村家山本家田二家鳥居家房譜寛政5寫壹圓

○物部氏及宮道氏史蹟 徳川新著 假綴二頁八拾拾錢

○先祖書及諸證文書付大久保菊三郎寫文久² 參
三文化6和五圓

○菅家世系錄 玉田永教著 和裝參圓

○織田信長譜 林道春著 和裝參圓

○豐臣秀吉譜 林道春著 抽三和裝四圓

○本朝武家大系圖 榊原家圖書 二和八圓
天神七代 清和源氏菅家 大江氏
平家 藤原氏 安倍氏 和氣氏
橋氏 小野氏 中原氏 小槻氏
在原氏 清原氏 丹波氏 賀茂氏
大中原氏 下部氏 等の系圖を詳述したるもの
伊達佐竹水戸本多小笠原氏等外十有五家の系圖を詳述し
○諸家御系譜 榊原藏版 横和壹圓五拾錢
伊達佐竹水戸本多小笠原氏等外十有五家の系圖を詳述し
○菊地・大伴宿禰・遠藤等の系圖 横和壹圓五拾錢
△長澤・松平御家系 久保氏寫 寫本五拾圓
安政2 壹圓

△大江家御系圖寫 自寶龜五年至寛政三年 寫本貳圓五錢
(大江廣元熙成等系圖)

△加藤家傳 森本義治校 輸入 二明13和四圓

△甲信源氏之系圖 羽場麗太郎著五尺六・尺八六 壹圓五錢

△新田族譜 鈴木眞平著 和裝參圓

○門院傳 霞亭文庫藏印 抽三寫本六圓
東三條院 上東門院 高陽院 美福門院
陽明門院 二條院 皇嘉門院 以下九十八門院の血統
御芳門院 待賢門院を記し各出生年歴代年等を記す
○寛政重修諸家譜 辰代弘賢著 抽九 布六拾五圓

○諸家祖先考 植村茂三郎著 洋裝四圓

德川家譜及廟墓 抽六 寫本參圓

△外戚傳 抽六 寫本參圓

○東照宮御略略 三尺七・三尺七 寫本壹圓

△將軍譜待季表 寫本六拾圓
家康以下歴代の誕生日及墓所等を詳記したるものなり

○千年山御略略 朝風記(徳川家齊子女略傳)横和壹圓
銅座史記・御代々御靈屋年中行事 蟲入寫本貳圓

○崇廟祭名錄 文化11和壹圓五拾錢
御先祖祖記 小宮山政武寫 六天明5 壹圓五拾錢
家康の系圖及戦記にして永享より延寶年度に亘る記録なり

○要匡辨志 彩色圖入 寫本參圓
祖廟社參之事・官位早進之次第以下數十條凡て安永より文化年
間に於ける幕府年中の儀式等を雜記せるもの

華族

○法規分族爵門 内閣記録局 明26 參圓五錢

△貴族制度 山名義鶴述 解放 大9 七拾錢
一代華族論 坂垣退助伯著 明45 五拾錢

△華族同方會報告 古城貞吉編 四〇明22 散賣貳拾圓
華族大系 水野慶次編 大3 布貳圓五錢

△貴族小史 徳川喜幹 法叢 六六11 參圓

△列傳國乃礎 杉本勝二郎編 抽三明26 貳圓

○華族創設事略會議及諸規則 明16 參圓

○華族會館會員名簿 寫本壹圓

○華族例規便覽 岡崎卯之助著 明29 布七拾圓

△皇室之藩屏 神田中學校友會(華紳の略傳)寫明34 布壹圓
華族要覽 南部信民編 明22 七拾圓

華族公卿士族

○華族證券債却割合表 國債寮調理 抽三明13和五圓
附華族證券利子割合一覽表及證券元利償却割合一覽表

○華族諸家傳 鈴木眞平編 抽三明13和五圓

△公卿補任 國史大系本 抽三明26布拾八圓
經濟雜誌社

○御公家分限帳 横和七圓
禁裏御所・女中・御公家・法皇御所・比丘尼御所・關名次第以
下詳細なる御公家分限帳なり

△宮御移轉御供御用掛掌中覽要 河内屋版 横和壹圓
寫本横五拾錢

△吉野朝時代浴中に於ける公家の有標魚住總五郎史地 大13 五拾錢

○家族賞典典分法案(原案及修正案) 二明3012 壹圓參拾錢
成福閣次著

○祿制法規 大藏省用箋 寫本明1 拾10 四圓五錢

○秩祿處分顛末略 臨時秩祿處分 布八圓
調査局

△士分階級の崩壞 藤井甚太郎 新舊 大14 五拾錢

△家格の實 藤井甚太郎 新舊 大14 五拾錢

△士族の歸農 藤井甚太郎 新舊 大14 五拾錢

△士族の論 藤井甚太郎 新舊 大14 五拾錢

△士族の養子 藤井甚太郎 新舊 大14 五拾錢

△士族の株の賣買 喜田貞吉 新舊 大12 四拾五錢

日本志篇 六

六四九

浪人 人名辭典 紳士錄 人物史傳

- △中間社會群としての浪人群 尾池義雄述 大1315 五拾錢
- △島原の亂と浪人問題 栗田元次 中史 大1315 五拾錢
- △戰國時代に於ける浪人の活動 松永紫水中史大11 五拾錢
- △江戸時代と浪人問題 栗田元次 歴地 明36 壹圓拾參錢
- △浪人 堀田璋左右 史界 明4138 壹圓拾五錢
- △浪人 中村直勝 史地 明4138 壹圓拾五錢
- △浪人問題に就きて 犬野峯 歴地 明32 壹圓參拾錢
- △浪人問題に就きて 大森金五郎 歴地 大4 五拾九錢
- △王代の浪人に就て 川上多助國經編三大、4 貳圓五錢

人名辭典

- 新大日本人名辭書同書刊行會編三 昭2 革參拾七圓
- 大日本人名辭書 經濟雜誌社 第七版大1布拾五圓
- 大日本人名辭書 第七版增補之部 經濟雜誌社大1布貳圓
- △修訂帝國人名辭典 帝國圖書 出版會社編 明40 革參圓五錢
- 日 本人名辭典 芳賀矢一編 大6 革六圓
- 增補大日本人名辭典 附假作人名字彙 梁島山之助編 大5 革參圓
- △大正人名辭典 五十嵐榮吉著 附日本帝國之富力商工業發達史 大3 革參圓
- △日本現今人名辭典 同書發行所 明34 革壹圓
- △英傑名家の出詳地皇國自慢 牧野勤三郎編 明44 壹圓五拾錢

日本志寫 六五〇

- △江戸諸家人名錄 複製 摺二 貳圓五錢
- △當時諸家人名錄 文化12 和貳圓五錢
- △廣益諸家人名錄 須原長三著 摺二天保6 和壹圓貳拾錢
- △墨林今話人名錄 須原長三著 摺二 和四拾錢

紳士錄

- △日本紳士錄 村上謙次郎著 交詢社版 新版略3布貳拾五圓
- △日本紳士名鑑 須藤省編 自大一三三版 散賣貳圓五拾錢
- △朝野紳士錄 第一興信所 明43 布壹圓五拾錢
- △日本紳士名錄 日本ガセツト社 英文 明36 布八拾錢
- 現今日本名家列傳 日本力行會 加藤新著 橫明1836 布壹圓五拾錢
- 日本之精華 北川由之助編 每日通信社 大3 布參圓
- 大日本法學博士及醫學博士 井關九郎修 和英文對照大9 革貳圓二錢
- △古今人物年表 早川龍介著 銅版明33 和拾圓
- △日本史傳文選 幸田露伴著 上卷 大8 布壹圓
- △日本史傳文選 幸田露伴著 中村和周著(名士傳) 摺二 明25 壹圓五拾錢
- △近世名家傳 渡邊信次郎著 摺二 明11 和貳圓
- △日本名家列傳 木村勝治編 上卷 大2 革壹圓五拾錢
- △日本名家列傳 幸田露伴編 上卷 大2 布壹圓五拾錢
- △明治新刻皇朝百家論文鈔 沖冠嶺著 摺八 明17 和壹圓八拾錢
- 近世佳人物 蒲生重章著 摺六 貳圓八〇錢
- 名家乃遠影 村松忠雄編 明34 五拾錢
- 推新後に於ける名士の逸談 伊澤時編 明33 六拾錢
- 明治名譽略傳 福田恒久編 極小形本 摺四 明12 壹圓貳拾錢
- 知己八賢 杉浦重剛述 大10 布壹圓
- 亡友遺錄 杉浦重剛述 大10 布八拾錢
- 帝國博士列傳 萩原善太郎著 明23 布八拾錢

人物史傳

- 逸傳六種 近藤圭造編 存採叢書 明13 和壹圓五〇錢
- 文應皇帝外記 師範菅原御傳記 菅原陳經
- 上宮皇太子著傳 釋 恩託橋邊勢傳
- 恒貞親王傳(殘缺) 藤原保則傳
- 日本古今人物志 宇都宮由的著寫本 六寬文9 圓
- ▲日本諸家人物誌 南山道人纂 摺四 寬政12 和貳圓五錢
- 日本諸家人物誌 淇園先生閱 摺三 和貳圓五錢
- 古今早引人物故事 川關惟充著 橫摺二 文政8 和貳圓五〇錢
- △人物研究と史論 横山健室著 大2 布貳圓八〇錢
- 一九二四年 大日本人物史 中村武三著 大13 革貳圓
- △人物論叢 辻善之助著 新大14 布四圓
- △隨感 史傳史話(大森金五郎著) 新大14 布參圓
- △隨感 史傳史話(史上の人物・地方史話) 新大14 布參圓
- △皇朝大家人物論 遠藤進正編 漢文 明18 和壹圓五拾錢
- 日本史初新志 近藤元弘編 漢文 二明14 壹圓八拾錢
- 凡て百三十五家の逸事・史傳等を纂輯したるものなり
- △古今名譽實錄 春陽堂 自一卷 合本二明28 六圓
- △維新實歴史傳 西河稱編 摺七 明25 和四圓五〇錢
- △日本百傑傳 松井廣吉著 摺二 明26 五圓
- 近世百傑傳 千海岸實一編 明33 布壹圓
- 現代百傑傳 活人増刊 大2 布五拾錢

德川三百年史

德川三百年史

- △德川三百年史 雲華房編 (上卷) 摺二 明36 布貳拾五圓
- △德川三百年史 雲華房編 (末刊) 摺二 明36 布貳拾五圓
- △林羅山 日東學人著 新井白石 摺二 明36 布貳拾五圓
- △中江藤樹 日東學人著 室鳩巢 摺二 明36 布貳拾五圓
- △熊澤蕃山 日東學人著 梅田屋 摺二 明36 布貳拾五圓
- △朱舜水 日東學人著 杉田玄白 摺二 明36 布貳拾五圓
- △山崎闇斎 長田偶得著 伊能忠敬 摺二 明36 布貳拾五圓
- △貝原益軒 長田偶得著 伊能忠敬 摺二 明36 布貳拾五圓
- △伊藤仁軒 長田偶得著 伊能忠敬 摺二 明36 布貳拾五圓
- △荻原徂徠 長田偶得著 伊能忠敬 摺二 明36 布貳拾五圓
- △日本志寫 六五一

Table listing authors and their works, including names like 隆元, 澤元, 夏目, etc., and their respective titles and prices.

人物評傳

Table listing authors and their works, including names like 成活, 朝野, 雅號, etc., and their respective titles and prices.

自叙傳

Table listing authors and their works, including names like 福翁, 川崎, 白崎, etc., and their respective titles and prices.

偉人傳

Table listing authors and their works, including names like 近世, 日本, 東土, etc., and their respective titles and prices.

自叙傳 偉人傳 勤王史實

Table listing authors and their works, including names like 櫻明, 新入, 漫遊, etc., and their respective titles and prices.

言行錄

Table listing authors and their works, including names like 名將, 自恃, 松平, etc., and their respective titles and prices.

勤王史實

Table listing authors and their works, including names like 勤王, 日本, 訂尊, etc., and their respective titles and prices.

△尊王實記 馬場文英編(木曾源太郎記) 明30和參圓五拾錢
 △勤王美談 賴光一代記 森順三郎編 繪本 明30和參圓五拾錢
 △河上彦彦 齋河上彦彦建碑事務所 大15布八拾錢
 △名和氏紀事 門脇重義著 揃二 壹圓五拾錢
 △膳城烈士傳 永元南涯編 附遺稿 揃四和貳圓五錢

英雄豪傑論

△英西英雄一夕話 福本誠著 洋裝 壹圓五拾錢
 △東國英雄一夕話 三宅雪嶺著 大7布壹圓五拾錢
 △家傑の少時 來城小隱著 豪傑叢談 明3634 五拾錢
 △牢獄の英雄 野崎海東著 明3634 五拾錢
 △情の英雄史 斬馬劍禪著 明3634 五拾錢
 △維新豪傑の情事 長田偶得著 明3634 五拾錢
 △豪傑の遺訓 松風軒主人著 明3634 五拾錢
 △豪傑の臨終訓 來城小隱著 豪傑叢談 明3634 五拾錢
 △三十一豪傑列傳 天野御民編 揃四和參圓五錢
 △武術流祖錄 羽鳥池田青山輯 横 壹圓八錢

武將傳

△六雄八將論 青山延光著 集義社藏版 揃二和壹圓
 上杉謙信 武田信玄 蒲生氏郷 合本八拾錢
 北條早雲 毛利元就 小早川隆景 加藤清正
 織田信長 豊臣秀吉 前田利家 伊達政宗
 △六雄八將論講義 櫻井野史述 明43 八拾錢
 △勇臣英名百雄傳 橋本玉蘭齋編並畫 揃三慶應2和壹圓
 ○日本百將傳一夕話 松亭金水撰 挿入 揃二文久3和拾壹圓

△武功雜記 松浦詮編 秋元家藏版 揃五明36和四圓
 △皇朝名臣傳 中澤寛一郎著 揃五明13和參圓
 △日本武將高名鑑 淡庵子編 挿入 和五拾錢
 △武將感狀記 大3 八拾錢

武功雜記

△武家禁秘錄 自一卷至二卷 五寫本四圓
 中古以來諸家の事績・將士の雜話等を記載したるもの
 △武藝百話 須原屋板 彩色繪入 洋裝 壹圓
 △上杉謙信傳 布施秀治著 洋裝 參拾錢
 △戦へる僧上杉謙信 大川周明著 大13 參拾錢
 △武田信玄事蹟考 内藤慶助著 洋裝 壹圓五錢
 △信玄の民政 土屋操 歴地 明23 壹圓七拾錢
 △頼政一代記 平等院浄家藏板 繪入 明23 和五拾錢
 △蒲生氏郷 幸田露伴著 新大15布貳圓
 △平將門故蹟考 織田完之著 明40 八拾錢
 ○將門記 檢校保巳一集群書類從復寫 天保5 壹圓五拾錢
 □秀實事蹟考 野口南豐編 八拾錢
 □藤堂高亮公傳略 藤堂家藏 壹圓
 □黒田如水翁記 箕輪閣藏印 横寫本壹圓
 □黒田如水傳 金子聖太郎著 洋裝 壹圓五拾錢
 □古今史料武田信玄百首 太田百祥著 大9 八拾錢
 □淺野長政公傳 手島益雄著 大9 八拾錢
 □桃太郎傳 猪耳堅著 大9 八拾錢

將軍

△家康と直弼 大久保湖州著 洋裝 壹圓五錢

△徳川家康事蹟 村岡素一郎著 明35 八拾錢

△大君言行錄 本柴藏書 寫本 八拾錢

△家康公尺牘 大宮覺實編 明30 和參圓

△徳川家光 芳賀八洲著 明30 和參圓

△歴代將軍略評 有澤永貞著 寶永元年與書寫壹圓 貳拾錢

△神君御書之寫 御上洛御用掛職名 挿入 和八拾錢

△徳川慶喜公傳 淺澤榮一著 揃八 大7布拾五圓

△徳川慶喜朝廷への歎願書 稻葉子爵家所藏寫眞版 六拾錢

△徳川内府の大政返上及軍職辭退條 寫本 八拾錢

△徳川慶喜天下之形勢不得已を察し大政返上將軍職辭退相願之書 寫本 壹圓

旗本

△御旗本御姓名宿高覺帳 光利寫 横安政4 八圓
 姓氏をいるは別に分ち旗本衆の住所・石高等を記したるもの
 △國字分名集 横揃二文政12和參圓
 萬石以下五百石に至る諸家屋敷・家紋・系譜等を記す
 △御旗本千石以上上覺 毛利氏寫 横天保13 參圓
 いろは別旗本石高屋敷在地の記にして附するに「交代御旗本並
 三千石以上御寄合記」を以てす
 △布衣以上御目見以上・御目見以下大無頼 寫本 横五拾錢
 △御旗本三千石以上(大久保小石川品川木庄下谷筋) 寫本 五拾錢
 ○吉宗公被仰出(旗本江被仰出心得書) 天明8 寫八拾錢
 ○諸家萬石以上陪審錄(凡て七十家) 寫本 横八拾錢

諸侯

△加賀松雲公 近藤磐雄著 揃三明4布六圓

日本志篇

△三三百諸侯 戸川殘花著 自一至三卷 合本布七圓

○幕府諸侯所勞病氣死亡記錄 松平阿波守所藏 寫本二 貳拾五圓
 自安政四年一月至慶應三年十二月(十二年間)美濃紙約八百枚

△古今大小名改易並國替其外寫 弘化8 參圓

△大名の研究 中村直勝 史地 二大8 壹圓

△閣老安藤對馬守 藤澤衛彦著 大3 布貳圓五錢

○仰春 山口安固識 寫本明和2 參圓五錢
 酒井忠勝の言行事蹟其他を録したるものにして史料としてよし

△水野越前守 天和元年に至る 横寫本 壹圓

△三河記 脱漏(大久保彦左衛門之記) 寫本 八拾錢

△徳川の孔明 甲秀之輔著(伊豆守) 明35 五拾錢

△柳澤吉保 民友社(伊豆と豊後) 明2931 八拾錢

△白河樂翁公と徳川時代 辻善之助 史林 明24 壹圓五拾錢

△樂翁と須多因 井上友一著 明41 布壹圓 貳拾錢

△松井佐渡守 廣瀬宗爾著 明44 壹圓

△阿部正弘事蹟 渡邊修二郎著 揃二明43 布六圓

△松雲公小傳 藤岡作太郎著(加賀) 明42 布貳圓

△加賀松雲公 近藤磐雄著 揃三明43 布六圓

刺客及暗殺 政治家 元勳 西郷隆盛

△尾張 敬公 西村時彦著 洋裝 壹圓五拾錢

△附正一位島津齊彬公記 寺師宗徳著 明41 壹圓

△島津義弘公記 義弘公三百年會編 大7 布壹圓 參拾錢

△島津久光公實記 島津家藏版 揃八 和拾 圓

○細川頼之補傳 細川十洲著 鐵齋畫像入 揃二 貳圓三錢

○長岡雲海公傳 附錄共揃一〇 四圓五〇錢

△山利公正傳 三岡丈夫著 洋裝 壹圓五拾錢

△宗 麟 高山通男著(大友宗麟) 大10 壹圓

△柳 隆 紀 事(土井利忠公傳) 洋裝 八拾 錢

△前田利家公 和田文次郎著 明32 六拾 錢

△鷹山公世紀 池田成章著(米澤)千餘頁大13 布五圓五〇錢

△米澤 鷹山公 川村惺編 明26 布壹圓 貳拾錢

△上杉 鷹山公とフリードリッヒ大王の農政 高岡經義大8 五拾錢

○來島 恒喜 的野中介著 大2 布壹圓 五拾錢

○通俗近代暗殺事蹟 菊亭靜編 戲舟題 明18 貳圓 五拾錢

○幕末政治家 福地櫻癡著 大133 壹圓 五拾錢

△現代日本の政治家 細井肇著 大5 革壹圓 五拾錢

○薩長 土肥 肥 小林雄七郎著 明22 壹圓 貳拾錢

○廟堂人物論 大久保常吉著 明41 壹圓 五拾錢

○板垣伯岐卓遺難錄 岩田徳義著 明41 壹圓 五拾錢

○西郷隆盛蓋棺記 山本園衛編 自一卷 五明10 和參 圓

○繪本西郷一代記 松月保誠編 一八九〇二四號五明10 和壹圓 五拾錢

△西郷隆盛物語 小神野中編 土居信敬寫 明11 壹圓

△通俗西郷隆盛一代記 村井致齊著 揃六明33 四五 圓

○西郷隆盛詩文 坂東一平編 並評 寫本 八拾 錢

○維新元勳西郷隆盛君之傳 渡邊朝霞著 明22 壹圓 貳拾錢

○西郷月照投海始末 泰東散士著 明22 壹圓 貳拾錢

△西郷南洲翁逸話 川崎三郎著 明27 和壹圓 五拾錢

△西郷南洲翁百話 河村定靜著 大3 和壹圓 貳拾錢

△西郷南洲翁傳 川崎紫山著 寸珍百種 明27 九拾 錢

△西郷隆盛詳傳 村井致齊著 卷一 明27 九拾 錢

△西郷隆盛傳 坂本忠一郎著 江戸城卷 明30 壹圓 五拾錢

△西郷隆盛所遺話 東郷中介著 明42 和壹圓

△西郷隆盛の南洲 田中殿軒著 上卷 明43 壹圓 五拾錢

△西郷隆盛と軍事附宮廷 葛生東介著 明44 布壹圓 六拾錢

△西郷南洲書翰集 關矢允耶著 明44 布壹圓 五〇錢

△西郷隆盛傳 下中彌三郎著 明45 布壹圓 八拾錢

△西郷隆盛傳 伊藤痴遊著 明45 布壹圓 八拾錢

△南洲手抄言志錄 南洲遺訓共二 貳圓八〇錢

△西郷南洲先生遺訓 木内克矢氏書 大129 和壹 拾 錢

△西郷南洲翁遺訓及遺文 神崎政徳編 大142 和壹 拾 錢

日本志篇 六五六

○板垣退助君傳 栗原亮一宇田友猪編 一巻 明15 壹圓 貳拾錢

○板垣退助君略傳 伯銅像記念碑建設會編 大16 拾 錢

○板垣君歐米漫遊錄 清水益次郎編 一編 明16 拾 錢

△孤松餘影(二宮孤松) 池原鹿之助著 大6 布壹圓 貳拾錢

△子爵井上勝君小傳 村井正利編(前編道頭) 大4 壹圓 五拾錢

○政局を繞る人々 山浦實一著 新昭2 壹圓 五拾錢

○明治功臣錄 朝比奈知泉著 新二大15 布四 圓

○維新三傑傳 大橋進一編 少年文學叢書 大10 八 拾 圓

△維新元勳三傑詩文 内山福(木月)西郷大久保(木月) 明43 八 拾 圓

○木月 孝允言行錄 渡邊修二郎著 偉人研究 大1 八 拾 圓

○木月 孝允言行錄 川崎紫山著 洋裝 五 拾 圓

△木月 松菊 妻木忠大著 明8 和壹 圓

△大久保利通傳 勝田孫彌著 揃三明44 布五圓五〇錢

○大久保利通公之傳 三宅虎太郎著 明11 和壹 圓

△岩倉具視傳 佛文 明11 和壹 圓

○岩倉公實記 宮内省藏版 揃三 布參拾五圓

○三條實美公履歷 東久世通禧著 揃五和裝八圓五錢

○西郷南洲先生遺訓 澁田正夫編 大15 布四 拾 圓

○西郷南洲附遺話遺訓 土屋春泉著 大15 布四 拾 圓

○南洲 號 日本及日本人増刊 大15 拾 圓

○西郷隆盛 山本富夫編 偉人研究 大15 拾 圓

△西郷南洲言行錄 白田石楠編 大15 拾 圓

○西郷南洲先生 徳富猪一郎著 大15 拾 圓

○西郷隆盛賞檢之圖 年信書錦繪 大15 拾 圓

○戰地之實況奏聞之圖 年信書錦繪 大15 拾 圓

○波瀾南河の夢 芦原國直書錦繪 大15 拾 圓

○川施徳鬼供養に隆盛利秋國幹の靈魂出現し鐵舟に感謝するの圖 楊洲筆錦繪 大15 拾 圓

○近世人物誌西郷隆盛 やまと新聞附録錦繪 明21 拾 圓

○かた傳 報註進講 珍聞かんぶん壹號 明21 拾 圓

○有名十八史略西郷隆盛 雷齊年基筆錦繪 明10 拾 圓

○西南役鹿兒島英雄傳西郷の室貞信筆錦繪 二明11 拾 圓

○西南雲晴朝東風(西郷之圖) 芳年筆錦繪 二明11 拾 圓

○西南役鹿兒島英雄傳(芳年筆錦繪) 梅堂國政筆錦繪 明10 拾 圓

○鎮撫鹿兒島新聞(西郷隆盛) 銀光筆錦繪 三明10 拾 圓

○鹿兒島各縣西南珍聞俗稱西郷星之圖 國政錦繪 三明10 拾 圓

○西郷隆盛家族離別之圖 笑門舍述 錦繪 三明10 拾 圓

○西郷隆盛城山龍穴之圖 眞信筆錦繪 三明10 拾 圓

○西郷隆盛賊徒討死之圖 周延筆錦繪 三明10 拾 圓

○西郷隆盛之圖 玉亭芳筆錦繪 明10 拾 圓

○西郷隆盛討死之圖 一英齋芳筆錦繪 明10 拾 圓

○清隆訪問隆盛之圖 年英筆錦繪 三明25 拾 圓

○西郷南洲と僧月照の話 中村徳五郎述史談會 大12 拾 圓

日本志篇 六五七

伊藤博文 大隈重信 志士名士

- 鹿兒島暴徒見立 あふむ石 周重筆錦繪 明10和六 拾錢
雷名鏡 佛ナボレオン 西郷隆盛楚項羽年基筆錦繪 明11和五拾錢
奇星之實説(隆盛) 周延筆錦繪 明10和七 拾錢
西郷出陣子別之圖 國政圖錦繪 明10和七 拾錢
鹿兒島戰記西郷中根會見之圖 周延筆錦繪 明10和七 拾錢
西南役鹿兒島英雄傳(隆盛) 貞信筆錦繪 明10和七 拾錢
鹿兒島新誌西郷花岡山巡見 芳年筆錦繪 明10和七 拾錢
近世人物誌(西郷之圖) 芳年筆錦繪 明10和七 拾錢
鹿兒島新誌西郷之圖 國周筆錦繪 明10和七 拾錢
谷干城西郷隆盛之像 玉亭貞信筆錦繪 明10和七 拾錢
鹿兒島新報隆盛仁愛愛離別圖 芳年筆錦繪 明10和七 拾錢
二勇之義説西郷勝會見之圖 松月保誠錦繪 明10和七 拾錢
錦繪西南夢物語 よし瀧筆 明10和七 拾錢
鹿兒島戰記桐野野津一騎打之圖 周延筆錦繪 明10和七 拾錢
鹿兒島勇勇桐野野津三騎討之圖 芳年筆錦繪 明10和七 拾錢
鹿兒島英勇傳藤原國幹之圖 清親筆錦繪 明10和七 拾錢
西郷子岩倉殿江差出候書付(政道改革の條々) 寫本壹圓五拾錢
西郷隆盛辛未の建白と廢藩置縣 妻木忠大歴地大14四拾五錢

伊藤博文

- 伊藤博文附伊東已代治末松謙澄 民友社編 明3129 七拾圓
伊藤博文侯對清政策附貿易意 緒方常影編 明3129 七拾圓
鳴呼伊藤公爵附韓國合併論 松風同感會 明3242 五拾圓
伊藤公演説集 東京日日新聞附録 明3242 五拾圓
伊藤侯井上伯山縣侯元勳談 中央新聞社 明3533 八拾圓
伊藤侯八面觀 大町桂月東京川柳舟著 明3533 八拾圓
伊藤博文 文 民友社著今世人物評傳叢書 明42 八拾圓
伊藤博文 文 民友社著今世人物評傳叢書 明29 壹圓五拾錢

伊藤公狙擊狀況報告公文電報 始一枚欠 拾五圓

日本志篇 六五八

- 公雷伊藤博文 吉野臥城高瀨火海著 明42各五 拾圓
勸語教訓偉人伊藤公爵 中島章哉著 明43布壹圓 五拾錢
藤公餘影 古谷久綱著民友社 明43布壹圓 五拾錢
伊藤公國葬餘韻 中村嘉壽著(英文) 明44布八 拾錢
伊藤公國葬餘韻 末松謙澄著(文章詩歌) 明43布八 拾錢
伊藤博文言行錄 秋山悟庵著 偉人研究 大2 八拾七錢
政治家としての伊藤博文 黒澤龍溪 東經 明42五拾七錢

大隈重信

- 大隈侯八十五季史 同史編纂會 附風雲傳觀 描四大15革拾五圓
聞キ込ミシ事柄ヲ取集メ 寫本 明18 五圓
大隈重信氏が三菱會社社長岩崎彌之助氏に發したる通知及岩崎氏が之に答へたる返答書 大隈重信著 明28 布壹圓 八拾錢
大隈侯昔日譚 圓城寺清著 明28 布壹圓 八拾錢
大隈重信附矢野大石 無何有郷主人著民友社 明29 七拾錢
大隈侯哀悼號 大隈特輯 明29 七拾錢
大隈侯昔日譚 渡部外太郎編 大11 布壹圓 參拾錢
大隈侯昔日譚 松枝保二編報知新聞社 大11 布壹圓 參拾錢
大隈侯一言一行 市島謙吉著 大11 布壹圓 參拾錢
重信 大隈 水谷竹紫鶴淡々著 大11 布壹圓 參拾錢
大隈伯演説集 早大編 洋裝 壹圓六錢
大隈侯論集 大隈重信著 洋裝 貳圓五錢

志士名士

維新名譽昇進錄 佐藤多三郎編 折本明12和參 圓

志士小傳 青雲閣城兼文輯 明2和貳 圓

戰亡殉難志士人名錄 史談會編(嘉永二方明三間)明40布貳 圓

國事報效志士人名錄 史談會編 二明44布參圓五錢

殉難錄稿 川田剛撰 宮内省藏 描五七 和四拾圓

獄中憂憤餘情 原彌一郎編(漢詩) 中史 明15和八 拾錢

血淚一滴 圓南居士編 前編 明21布參 圓

近世義士傳 馬杉繁著 溫知塾版 二明10和壹圓 五拾錢

近世義士傳 龜谷行撰 明7和壹 圓

偉臣名家維新全編 江之本編第二集(漢詩) 明1211和八 拾錢

明治中興德舊編 田島象二著維新叢書 明1211和八 拾錢

得間項錄 龜江老漁著 金田耕平著 二明11和壹圓 五拾錢

近世英傑略傳 高見泰藏山住方三編 明1210和壹圓 五拾錢

維新名譽昇進錄 佐藤多三郎編 折本 明1210和壹圓 五拾錢

明治活史江戸開城 坂本忠一著 大1010 七拾錢

明治活史七廟落 坂本燕林著 大1010 七拾錢

近古慷慨家列傳 西村三郎編 明20 壹圓 五拾錢

慷慨詩歌集 衛冠生編(凡て百三五家) 明35 五拾錢

海南義烈傳 土居香國編 描三 和壹圓 參拾錢

東洋義人百家傳 小室信介編 描三 和壹圓 參拾錢

維新志士列傳

- 土方伯 木村知治著(土方久元) 大2 布壹圓 五拾錢
小方伯 關博直述 明38 布壹圓 貳拾錢
佐久間象山先生と石黒忠憲の初對面 石黒述 洋裝 大3 壹拾錢
久間象山 齊藤謙著 洋裝 七拾錢

日本志篇 六五九

- 象山松蔭 藏世餘聞 齊藤丁治編 明22 壹圓 貳拾錢
佐久間象山 大志傳 清水義壽編 明22 壹圓 貳拾錢
東行先生遺文 東行五十年 祭記念會編(高杉晋作) 大5 布參 圓
日記及手録(安政三) 警御日誌27 甲子殘稿2
東行先生遺文 警御日誌18 觀光錄4
東行先生遺文 警御日誌18 觀光錄4
高杉晋作傳入筑始末 江島茂逸著 明26 壹圓 五拾錢
坂本龍馬 千頭清臣著偉人傳叢書 大13 壹圓 貳拾錢
坂本龍馬 弘松宣枝著 明29 八拾圓
坂本龍馬 山下白雲著 昭2 壹圓 貳拾錢
坂本龍馬 碧瑠璃園著 洋裝 貳圓五錢
幕末俊傑高野長英 青果園著 明3242 壹圓 五拾錢
高野長英先生傳 長田偶得著 明3242 壹圓 五拾錢
高野長英言行錄 杉原三省著 偉人研究 明41 壹圓 五拾錢
平賀鳩溪實記 竹原三郎著 假綴七頁 明29 壹圓 五拾錢
蒲生君平翁傳 高橋直記著 偉人研究 明29 壹圓 五拾錢
蒲生君平翁傳 高橋直記著 偉人研究 明29 壹圓 五拾錢
蒲生秀實墓表 高山正之傳 藤田杉山撰 文政1 和壹圓 五拾錢
高山彦九郎 山路愛山著 描二 明3 壹圓 貳拾錢
高山彦九郎 金井之恭編 描二 明3 壹圓 貳拾錢
河井繼之助傳 今泉鐸次郎著 明42 布貳 圓
幕末英傑橋本左内 遊外居士著 明3033 七拾五錢
小山田與清傳 紀淑雄著 明3033 壹圓 貳拾錢
山縣大貳 櫻痴居士著 明23 八拾錢
幕末偉人齋藤彌九郎傳 大坪武門著 大7 壹圓 五拾錢

吉田松陰 平野國臣 明治志士列傳
○森田節齋と郡山 武岡豐太著 大8 壹圓五拾錢
△明治中興凌煙圖錄 田島集之畫名家圖錄小傳明13 和壹圓五拾錢
○列士伊東七十郎 齋藤七十郎編(仙臺人) 大8 八拾錢
△橋本左内 西村文則著 明42 八拾錢

吉田松陰 野口勝一編 明24 布參
○吉田松陰 德富蘇峰著 明43 壹圓六拾錢
△吉田松陰 帝國教育會編 明42 八拾錢
△吉田松陰 德富猪一郎著民友社 明41 布貳

△吉田寅次郎 偉人叢書 洋裝 壹圓
△松陰先生と少年時代 金原善三郎著 大4 八拾錢
△松陰先生武教講錄 高木卯三郎編 大5 和六拾錢
△吉田松陰 平凡社編 偉人史談 大7 五拾錢

△松陰快談 長野豐山著 藝苑叢書 大8 和壹圓貳拾錢
△吉田松陰と國士の陶谷 安岡正篤著 大13 五拾錢
○松陰 土規七則 松陰蓬頭子輯 明41 和七拾錢
○留魂錄・風俗遺草 吉田松陰著 明2 和壹圓貳拾錢

△松陰先生遺著 吉田庫三編民友社刊厚册明42 布八圓
平野國臣 今田主稅著 明25 壹圓五錢

△國士平野國臣傳 今田主稅著 明25 壹圓五錢

○頭山翁清話 柴田德次郎編 大15 布壹圓四拾錢
○噫總裁大木遠吉伯爵 大日本國粹會々報 大15 布壹圓四拾錢

勝海舟 田村維則編 明32 和壹圓五拾錢
○勝海舟 水魚庵述 明32 和壹圓五拾錢
○勝海舟 民友社編 明40 壹圓五拾錢

△井上伯(馨)傳 中原邦平編 映入揃九明40 和四圓五錢
△公爵桂太郎 德富猪一郎編 厚册二大6 布八圓

△公爵桂太郎 坂本辰之助著 大3 八拾錢
△桂公功罪史論 高橋鐵太郎著 大3 八拾錢
△森有禮 海門山人著 民友社 明52 布壹圓參拾錢

△西郷從道 安田直著 民友社 明29 布七拾錢
△山縣有朋附渡邊國武岡本柳之助 民友社 明29 布七拾錢
△山縣公のおかけ 入江貫一著 大11 布壹圓拾錢
△大浦兼武傳 香川悅次松井廣告編 大15 布貳圓拾錢

勝海舟 國務大臣列傳 政黨員 代議士列傳

日本志篇 100 六六〇
△平野國臣 宮部天民著 偉人史叢 明15 七拾錢
○平野國臣傳 石津瀧園編 寫本 壹圓五拾錢
△純情の人平野國臣 大川周明著日本精神研究 大13 參拾錢
△平野國臣傳記及遺稿 平野國臣 顯彰會編 大5 布七圓

明治志士列傳 的野牛介著 映入三大3 布五圓
△江藤南白 (江藤新平) 明10 和貳圓五拾錢
△後藤 象二郎 岩崎英重著 第三集 明10 和貳圓五拾錢
△明後 治史 岩崎隆存編 第九集 明10 和貳圓五拾錢

△丸山作樂と後藤象二郎の動靜報告 東京憲兵隊用箋寫參 大3 布貳圓
△丸山作樂と後藤象二郎の動靜報告 東京憲兵隊用箋寫參 大3 布貳圓
△丸山作樂と後藤象二郎の動靜報告 東京憲兵隊用箋寫參 大3 布貳圓

△大村益次郎先生事蹟 村田峰次郎著 大8 布貳圓三錢
△近世傑士雲井龍雄事蹟 有田正夫編 明14 和壹圓貳拾錢
△雲井龍雄之傳 的野牛介編 明14 和壹圓貳拾錢

△品川子爵傳 村田峰次郎著 明43 貳圓五錢
△品川子爵傳 阿部信一著(品川彌次郎) 明33 五拾錢
△品川子爵傳 阿部信一著(品川彌次郎) 明33 五拾錢

△河野磐州傳 中山義助著河野磐州傳編纂會 二大13 四圓五錢
○子爵清浦奎吾傳 後藤武夫著 大13 布壹圓五拾錢
○壺堂餘唾 和田鍊太郎編 明24 壹圓

△仲小路廉集 仲小路彰編 二大14 布貳圓
○平民宰相原敬 井上雅二著 大11 布壹圓貳拾錢
○平民宰相原敬 佐藤桑原著 大11 布壹圓貳拾錢

△原田大塊翁略傳 國士館編 政治教育大15 八拾錢
○加藤高明論 尾崎行雄著 大2 壹圓五拾錢
○加藤高明論 荒木武行著 大14 布壹圓五拾錢

△平相若槻禮次郎 尼子止著 大15 布貳圓二錢
○床次竹二郎評傳 荒木武行著 大15 布壹圓八拾錢
○床次竹二郎評傳 荒木武行著 大15 布壹圓八拾錢

政黨員 怪傑星亨 仙洞隱士著 明34 七拾錢
△時代思想の權化(星亨と社會) 正岡鑰一著 明34 七拾錢
△政界名士星亨 藤井竹官著 明34 七拾錢

代議士列傳 國會議員百首 伊東洋二郎著國葉畫 明24 和壹圓五錢
△憲政國大平民杉田鶴山 中村江畔編(杉田定一) 大5 八拾錢
△波多野(傳三郎)先生傳 渡邊幾治郎編(越後人) 大2 布壹圓

日本志篇 101 六六一

對外先覺者

- 開國勳將事略 友部八太郎著 二明24和貳圓
- 曾津謙遠征健士傳 丸田猷彦著 明25和貳圓
- 南海傳人高田屋嘉兵衛傳 山下礎一郎編 明17和七拾錢
- 高田屋嘉兵衛 碧瑠璃園著 洋裝 貳圓三錢
- △外交家としての高田屋嘉兵衛 深瀬春一歴史二大14九拾錢
- △寛政三寄士林子平 藤原信軒著 明36八拾錢
- △林子平處罰論 上野菊爾 歴史地 明43八拾錢
- ×波邊 華山 碧瑠璃園著 典風叢書 明45布貳圓
- 華山遺墨 寫真版十一葉入 布參圓五錢
- ×渡邊華山逮捕の自盡 志賀重昂藏五寸・四寸寫真版 八拾錢
- △藤田 東湖 川崎三郎著 明30壹圓五拾錢
- △藤田 東湖 雨谷幹一著 洋裝 五拾錢
- △藤田 東湖 菊池謙二郎著 明32布壹圓五拾錢
- △東湖全集 菊池謙二郎編 明42布九圓
- 回天詩史50 東湖見聞偶筆32
- 常陸帶86 東湖歌話14
- 弘道館記述義58 東湖必力42
- 東湖遺稿拾遺32 壬辰封事26
- 東湖詩文拾遺88 漢華題詞事10
- 東湖隨筆12 丁酉日錄70
- △開國井伊直弼傳 島田三郎著 明24布參圓
- 開國元勳井伊大老 伊豆のや者 明44壹圓貳拾錢
- △近藤 重 長田權治郎著 洋裝 五拾錢
- △佐藤一齋と其門人 高瀬代次郎著 洋裝 八圓
- △柳水青木昆陽傳 猪股延太郎(柳水)著 明45布五圓

- △開國論者としての司馬江漢 海老名一雄歴史地 明27壹圓五拾錢
- 吉岡真太夫小傳 洋裝 壹圓
- △西 周 傳 森嶋外著 明31和參圓
- △神田孝平略傳 神田乃武編 明43布參圓
- 賴山陽
 - △山陽論 河村誠著 漢文 明31和八拾錢
 - △山陽陽論 少年文學 洋裝 八拾錢
 - △山陽大觀 坂本箕山著 厚冊 大5布參圓五錢
 - △家庭の賴山陽 木崎愛吉著 明38布貳圓五錢
 - △賴山陽 坂本箕山著 洋裝 五圓
 - △賴山陽言行錄 高橋立吉著 明42八拾錢
 - △賴山陽及其時代 森田思軒著 洋裝 壹圓四拾錢
 - △賴山陽 德富猪一郎著 洋裝 四圓
 - △山陽外傳 吉村春雄編 明10和壹圓五錢
- 外交家
 - △自然の人小村壽太郎 榎本卯平著 大3布貳圓五拾錢
 - △陸奥 宗光 阪崎誠著 明31布壹圓參拾錢
 - △評傳陸奥宗光 渡邊修二郎著 明30八拾錢
 - △子爵花房義實君事略 黒瀬義門編 大2布壹圓五拾錢
- 宗教家
 - 大 蓮 聖日 蓮 林元吉著 大13布壹圓五拾錢
 - 日 蓮 聖日 蓮 碧瑠璃園著 大15布壹圓七拾錢
 - 超 人 蓮 上 蓮 須藤光輝著 大3布壹圓五拾錢
 - 日 蓮 上 蓮 人 藤井眞澄著 大12布壹圓五拾錢
 - 日 蓮 上 蓮 傳十講 山川智應著 洋裝 四圓五錢
 - 立正大師日蓮 碧瑠璃園著 洋裝 參圓八錢

- △親鸞上人真傳 松原致遠著 二明44 貳圓五錢
- △新島襄先生傳 アビス著 山本美越乃譯 洋裝 大3布壹圓五拾錢
- △西行と芭蕉 友納友次郎著 讀木物語 新昭2壹圓八拾錢
- △山行詩傳 上村觀光著 洋裝 貳圓八拾錢
- △親鸞上人 碧瑠璃園著 洋裝 貳圓五拾錢
- △親鸞上人真傳 松原致遠著 二明44 貳圓五錢
- △勸諭正宗國師白隱和尚全集 三浦開造著 洋裝 壹圓五拾錢
- △正宗國師年譜34 夜船閑話24 實鏡齋記8 辻談議18
- △蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1
- △假名法語49 蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1
- △邊鄙以知語38 蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1 蓮羅天蓋百1
- △一休和尚傳 小川日貞編 高島米峰著 大6布壹圓五拾錢
- △弘法大師 渡邊霞著 洋裝 貳圓五錢
- △弘法大師一代記 高峰虎次郎著 洋裝 五拾錢
- △傳教大師傳 山方香峰著 洋裝 八拾錢
- △大僧正天海 須藤光暉著 洋裝 貳圓五錢
- △空 海 須藤光暉著 洋裝 貳圓五錢
- 大愚良寛 相馬御風著 洋裝 貳圓五錢
- 華芳餘輝(慈覺大師傳) 比叡山延曆寺著 和參圓五錢

- △杉浦重剛先生 大町桂月著 猪狩史山著 大13布貳圓五錢
- △樂石伊澤翁二先生 同先生記念事業會編 大8布壹圓五拾錢
- △福澤(諭吉)先生と小川武平翁 増島信吉著 大1布八拾錢
- △福澤 諭吉 話 時事新報社編(福澤諭吉) 大10七拾五錢
- △福澤 諭吉 傳 宮森麻太郎著 英文 明35布壹圓五拾錢
- △余が見たる福澤先生 土屋元作著 明36布貳圓
- △歐羅巴三郎君 同君遺稿出版會著(一高教授) 大7布壹圓八拾錢
- △福澤全集 時事新報社編 大14布貳圓五拾錢
- 第一冊 華英通語 91 清英文學 院始末 635343
- 第二冊 西洋事情 初編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三冊 西洋事情 外編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第二十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第三十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第四十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第五十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第六十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第七十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第八十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十一冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十二冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十三冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十四冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十五冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十六冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十七冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十八冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第九十九冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619
- 第一百冊 西洋事情 續編 百 512131 世界國史 附錄 3619

法曹 經濟學者

Table listing various books and authors in the 'Law' and 'Economics' categories. Includes titles like '西洋文明の由來', '日本婦人論', and '泊翁西村先生'.

Table listing books and authors in the 'Law' and 'Economics' categories, including '江木冷灰(裏)先生追憶譚', '冷灰野稗', and '近畿辯護士評傳'.

△保險學者列傳 三浦義道保雜 揃二七六一 九二九圓三錢

Table listing biographies of insurance scholars, including '△本多利明の著書に就て', '△山片蟠桃のこと', and '△杉先師略傳'.

軍人傳

Table listing biographies of military figures, including '△千城偉績', '△東郷元帥詳傳', and '△甘粕事件の皮相観'.

乃木希典

軍人傳 乃木希典

Table listing books and authors related to '乃木希典', including '△乃木大將と其夫人', '△乃木大將の面影', and '△乃木大將の遺書'.

- ◎法律上より觀たる乃木家 原嘉道 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎乃木家再興問題に就て 誠思堂山人 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎乃木家再興問題に對する辯明 牧野菊之助 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎乃木家創立問題 川久保源治 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎乃木家再興問題に關し學士牧野菊之助氏に問ふ 宮島清次郎 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎大浦乃木問題 増島六一郎 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎大浦及乃木問題に就て 龜山要 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎乃木家再興問題と風教論 布施長治 新聞 大4 拾 參 錢
- ◎所謂乃木家再興問題 吉田三市郎 新聞 大4 拾 參 錢
- △乃木家問題に就て 大澤眞吉 法協 大4 拾 參 錢
- △純然たる科法上より觀たる乃木問題 乾政彦 法協 大4 拾 參 錢

官吏

- △郡筑野六傳 警光會編上州人福審顧問官大15 布壹圓五拾錢
- △横尾東作翁傳 河東田經清編(警視廳記録課長)大6 拾 錢
- △得能良介君傳 池田敬八刊(印刷局長) 大10 布壹圓五拾錢
- △府縣長官録々傳 西村兼文編芝田畫 明43 拾 錢
- △横山壯次郎君 新渡月稻造編(鹿兒島縣) 明43 拾 錢
- △井上明府遺稿 近江匡男編(東京府知事)大9 布貳圓
- 井上友一君斷片傳54 井上明府著書目錄2 書信77 論文及講話298 手記百39

地方名望家

- △増田 宋太郎 熊谷克己著(大分縣人) 大2 壹圓貳拾錢
- △田中兵庫先生評傳 鳥養編(市制施行功勞者)相州人鐵版大13 壹圓
- △岸 宇吉翁 小峠龜太郎編(新潟縣人) 明44 壹圓五拾錢
- △贈正五位本間四郎三郎光丘翁事歴 齋藤編(山形)大9 布壹圓
- △長者 號 民族と歴史特輯號 大11 五 拾 錢

實業家傳

- △鐵川初期の貿易家 絲屋隨右衛門 川島元次郎史林大10 壹圓
- △海外貿易家平野藤次郎 若生成一 歴地大14 四 拾 五 錢
- △天下の糸平 高橋淡水著 大6 壹 圓
- △實業史 談 切山聽松編(名士傳記) 明20 和 壹 圓
- 大日本實業家名鑑 實業の世界社 二大8 布四圓五拾錢
- 金 號 談 天城甚七編 明25 六 拾 錢
- △現代名家精 彩成文社編(實業界名士履歴)明44 布壹圓五拾錢
- △三井の起立 江戸 明23 參圓八〇錢
- △下村(大丸)の起立 江戸 明24 參圓七〇錢
- △住友家の五十年 廣瀬寧平 地球 大9 五 拾 錢
- △鴻池家の過去及現在 地球 大9 五 拾 錢
- 現代 百 傑 實業雜誌活人増刊 大2 五 拾 錢
- 明治の商工界に於ける五代友厚 三浦周行史地大5 六 拾 錢
- 人物併觀海運界の驍將 石丸素川著 大8 布壹圓 貳拾 錢
- 從六位光村彌兵衛傳 中西牛郎編 明27 壹 圓
- △青淵先生六十年史 龍門社編 捕二 明33 布四圓五拾錢
- △今村清之助君事歴 足立栗園著 明32 布壹 圓
- △岩崎 彌太郎 弘松宣枝著 民友社 明31 五 拾 錢
- △森村翁熱海一夕話 井上雅二編 大9 拾 錢
- △子爵 澤榮一 大瀧鞍馬著 大14 布壹 圓
- △川崎 正 藏 山本實彦著 大7 布壹圓 五拾 錢
- △大倉鶴彦翁 鶴友會編(喜八郎) 大13 布貳圓五拾錢

實業家傳 銀行家 商人 先哲傳

- 機業家富田彌三郎概歴 大熊淺次郎編(博多)傷明28 和壹圓
- △横山 隆興翁 碧瑠璃園著(金澤人) 大9 布壹 圓

社會思想家

- 馬場 長 猪 安藤梧郎著 明30 洋裝五 拾 錢
- 民權 家列傳 小池洋次郎著 明30 洋裝五 拾 錢
- 東洋民權百家傳 小室信介著 捕三 和裝貳 拾 錢
- △牛生を社會事業に捧げた人々 慶福會編 大15 布七 拾 錢

農學家

- 老農關根矢作 杉山枏木著(枏木縣人) 大6 壹 拾 錢
- 日本牧牛家實傳 金田耕平編 卷一 明19 八 拾 錢
- △二宮 尊 德 碧瑠璃園著 與風叢書 捕三 明43 貳 圓
- △二宮 尊 德 碧瑠璃園著 霞亭會 大5 布九 拾 圓

產業家

- △田中芳男君 七六展覽會紀念誌 大日本山林會編大2 壹圓八〇錢
- 官歴24 公務關係6 展覽會列品目錄38 同列品解説百40 寄贈品并祝詞其他16

工業家

- △田邊朝郎博士六十年史 西川正治郎著 大13 布壹圓 貳拾 錢
- △高 峯 博 士 鹽原又策編(高峯讓吉) 大15 布壹 圓
- 恩輝軒主人(其兵衛)小傳 橋本五雄編 大2 參圓五〇錢
- △土木統計の恩人たる故近藤工學博士 篠崎亮統編 大11 參拾五 圓
- △四村 勝三翁傳 西村翁傳記編纂會 大10 布壹 圓
- 大日本印刷業者名鑑 大阪出版社編 昭2 貳 圓

銀行家

- △和田豐治傳 喜多貞吉編 大15 布貳 圓
- △鶴原定吉君略傳 池原鹿之助著(福岡縣) 大6 布壹 圓
- △淺野 總一 淺野泰治郎著 大4 總平壹圓 五拾 錢
- △松野 濤洲 翁 西川文太郎著 大3 布壹 圓
- △小林 富次郎傳 荻野仲三郎著 大15 布壹圓 五拾 圓
- △小園 富次郎傳 加藤直士著 明44 布壹 圓

商人

- △安田善次郎傳 矢野文雄著 天金大14 布貳圓五〇錢
- △三島太郎氏記念誌 中島司編 大12 布貳圓五〇錢
- 銀行王安田善次郎 坂井嘉川著 大14 布壹圓 參拾 錢
- △中上川 彦次郎君 菊池武徳著 明36 布八 拾 錢

先哲傳

- △日本 商人史 日本歴史地理學會編 大14 布壹圓 五拾 錢
- △日本 商人五百年史 河瀬蘇北著 大14 布壹圓 參拾 錢
- △近江 商人 井上政共編(今古商人傳)明23 布貳圓五〇錢
- △近江商人の起源に就ての一考察 田中秀作 大15 六 拾 錢
- △勤王商傑山中新十郎翁傳 橋仁太郎編 大5 布八 拾 錢
- △日本 商人史 三浦周行 歴地 大11 四 拾 五 圓
- 起業秀才明治百商傳 竹内鏡亭編 卷一 明13 壹 圓

先哲傳

- 前賢 故 實 菊池武保著並畫 二〇天保7 和拾貳圓
- 神武天皇の朝より後村上天皇の御世に至る古賢者の圖像なり上 王公より下庶民婦女に至る迄、凡て賢徳を以て知られたるもの 數百人を圖出し各小傳を附記したり

日本志篇一七 六六七

新聞記者

- △新聞屋の履みぐり 佐々木吉太郎編 前篇 明12 和壹圓五拾錢
- △日本記者年鑑 新聞及新聞記者特輯 大11 壹圓參拾錢
- 新聞記者奇行傳 隅田了古編 鮮齊永瀧編 明14 和貳圓
- 現今名家記者列傳 大屋專五郎編 明35 貳拾錢
- △三十三年の夢 白浪庵酒天著 明35 貳拾錢
- 新聞記者の十年間 平田久著 明14 35 壹圓五拾錢
- 新聞及記者の罪惡 東日出夫著 大14 35 壹圓貳拾錢
- 新聞記者腕競べ 小川定明著 大15 壹圓貳拾錢
- 新聞記者列傳 佐々木秀二郎著 二明16 參圓五〇錢

崎人傳

- 近世崎人傳 伴蒿蹊著 正續一〇寛政2 和五圓
- 百餘名の傳記なり 和文にて記す 伴蒿蹊著 文求堂版 明20 布壹圓參拾錢
- 近世崎人傳 伴蒿蹊著 佐藤仁之助註 明44 布壹圓貳拾錢
- 近世崎人傳 大川鏡吉編 十錢文庫 大1 五拾錢
- 近世崎人傳 蓋踐大人著 四村次選 大1 五拾錢
- 明治崎人傳 文藝俱樂部增刊 明36 39 六拾錢
- 妙好人傳 平田思永著 映入編五明19 和參圓五〇錢
- 本朝名人傳 石川二三造著 寫本 壹圓貳拾錢
- 倅家人列傳 局山人編 水入表紙編明19 壹圓五拾錢
- 崎人百人一首傳 藤亭川柳誌 輸入 嘉永5 和壹圓五拾錢

畫傳及肖像

- 大日本名家肖像集 經濟雜誌社 明40 布參圓
- △英雄百將傳 渡邊廣照末孫畫彩色肉筆 參圓
- 近世遺勳高名像傳 子安信成編 石田溪岳畫 二明13 和壹圓五拾錢
- △偉人之肖像 頼朝親鸞素行以下九家彩色折本貳圓五〇錢
- 先哲像傳 原德齋著 四弘化1 和五圓
- 近世名家傳 三尾重定編 初集 二明13 和壹圓五〇錢
- 秀雅百人一首 綾亭川柳輯國芳英泉畫 弘化5 和八拾錢
- 明治百人一首 石丸忠胤編 自筆歌竹像 入明15 和壹圓五拾錢
- 高名像傳 藤野彦次郎編 明31 布壹圓五拾錢
- 高名像傳 于安信成編 和壹圓八拾錢

婦人傳

- △小學勸善本朝烈女傳 松平直温著 和裝 壹圓五拾錢
- △近世名婦傳 大日本文明協會 洋裝 壹圓五拾錢
- △近世名婦傳 岡田霞船編 四明15 和貳圓
- △德川大貞烈義忠阿茶の局 松林伯知述 明27 八拾錢
- △古今名婦傳 豐國畫 繪畫文庫 和壹圓五拾錢
- △柳營婦女傳叢 國書刊行會 大6 布參圓

俠客傳

- △近世俠義傳 船齋芳年畫 彩色錦繪 大6 和壹圓五〇錢
- 俠客傳全集 帝國文庫第貳編 明34 布貳圓
- 天龍水滸傳 松角助六江戸紫三人同胞 松前屋五郎兵衛
- 江戶俠客物語 塚原濤佈著 洋裝 貳圓五拾錢
- 江戶俠客物語 林和著 洋裝 貳圓五拾錢
- 幡隨院長兵衛 碧瑠璃園著 洋裝 貳圓五〇錢
- 開卷奇驚俠客傳 曲亭馬琴著 文事堂版 明19 布貳圓
- 國定忠二傳 觀堂弄寫 安政4 壹圓

仇討

- 日本十大仇討錄 泉光哉著 劍客叢書 大15 壹圓
- 古今復讐日本義烈傳 福田宇中著 映入 二明13 和壹圓五拾錢
- 奥州仙臺女敵討(敵討千本萩) 寛永七年白石城下にて寫本壹圓
- 殺法輪(伊賀越仇討一件) 久谷彦太郎寫 三度應3 壹圓貳拾錢
- 改更伊賀越乘掛合羽 澤村長之助振附畫本 明36 寫壹圓
- 松平誠丸元家來須藤準太郎外貳人復讐之始末 御居書寫壹圓
- 肥後國駒下駄物語(向井善九郎父の復仇記) 寫本壹圓
- 東毛栗谷復讐記 廣賴孝作編 大1 壹圓五拾錢
- 東毛復讐始末 竹内安素子行著 漢文寫本4 寫參圓
- 野州足利郡栗谷村宮下金井信珍が父の討金井準人並伴吉右衛門の兩人を討取り關八州在方取締本陣へ名乗り出たる復讐記 寫本 二元 肆拾圓
- 龜山敵討 中村照只寫本 文政2 八拾圓
- 備前渡邊數馬仇討記 寫本 二元 肆拾圓

日本志篇

俳優全集

- △校訂俳優全集 續帝國文庫本博文館 明34 布參圓
- △市川團十郎 江原青々園著 明35 布貳圓五拾錢
- △尾上菊五郎自傳 時事新報社版 洋裝 壹圓五拾錢
- 孝貞美談 碧瑠璃園著 洋裝 壹圓八拾錢
- 古今孝子至情哀史 夢想兵衛著 大10 布壹圓貳拾錢
- 北越孝士傳 藤山張太郎著 洋裝 五拾錢
- 杉平作彌翁 熊本縣阿蘇郡北小國村教育會大12 七拾錢
- 大平記菊水之卷 竹田小出雲外五名作 明2 六拾錢
- △調音資料川田繁馬 原口晃著(高知縣考貞者)明44 八拾錢
- △忠僕庄七傳 駿東教育會(靜岡縣駿東郡人)大1 七拾錢
- 俳優傳 孝貞美談 俠客傳 仇討

五與

- 柳營婦女傳系 一七 幕府版女傳續編 八 竹尾善英
- △理慶尼の記 竹谷壽入著 洋裝 壹圓參拾錢
- △靜御前 黑河内與四郎著 明33 八拾錢
- △演劇脚本春日局 福知櫻癡著 明36 六拾錢
- △與村五百子刀自詳傳 大久保著愛國婦人會創設者明41 八拾錢
- △美姬遺蹟 池邊義象著 洋裝 參圓
- 烈女百人一首 綠亭川柳葛飾記老人畫 弘化4 和五拾錢
- △廣島縣婦人傳 手島益雄著 大14 和四拾錢
- 奧羽婦人傳(一名窮究美譚) 佐澤廣勝著 輸入明35 和壹圓貳拾錢
- △女傑お萬の方 増田磯吉著 洋裝 六拾錢
- 鏡山お初 碧瑠璃園著 洋裝 貳圓三〇錢

△伊勢國百姓暴動記

明治九年十二月十八日三重縣下第八區魚取村百姓暴動始末 寫本 貳圓五〇錢

△一揆の觀念 本庄榮治郎 三評 大八 五拾參錢

△德川時代の米騒動 阿部秀助 三評 大八 五拾參錢

△米騒動の今昔 森田藤吉 國經 大八 五拾參錢

△米騒動の社會觀 藤田民藏 國家 大八 五拾參錢

△倉敷淺尾騒動史 渡邊頼母編 大八 五拾參錢

△我が國社會史に現れたる一揆の研究 佐野學 解放二大 六拾錢

△土民一揆と農民一揆 佐野學 解放二大 六拾錢

△百姓一揆物語 小野武夫 中公 大八 五拾參錢

△百姓一揆の鎮壓 佐野學 中公 大八 五拾參錢

△舊幕府領の小作騒動 小野武夫 帝農 大八 五拾參錢

△作州鶴田藩の農民騒動 黒正藏 史地 大八 五拾參錢

△元文騒動(鳥取藩百姓一揆の事)衣笠建雄 中史大 大八 五拾參錢

△後騷動 記 小杉生 帝農 三 大八 五拾參錢

△維新後に於ける農民暴動 小野武夫 農研 大八 五拾參錢

△明治初期の百姓一揆 梅原北明 解放 大八 五拾參錢

日本災害史

△災害の種類と其沿革 江馬務 風俗 大八 五拾參錢

△天災を背景として見た史上の文化 關熱期及び其建設期 高須芳次郎 中史大 大八 五拾參錢

△德川時代に於ける天災地變 田代善吉 歷地明 三 貳圓二六錢

△平安朝末期の國民思想と天變地異 森徳太郎 風俗大八 五拾參錢

△江戸時代に於ける天災と政治との關係 栗田元次 中史大 大八 五拾參錢

△天災を豫防した鈴木爲蝶軒 大塚久 中史大 大八 五拾參錢

△明曆安政及大正の離 東京市編 復興叢書 大八 五拾參錢

濃尾越大地震の原因

小藤文次郎述 理科大學紀要 洋裝 五圓

△濃尾慘狀地震實記 長野縣內務部 明 大 壹圓

△上田附近地震報告 長野縣內務部 明 大 壹圓

○朝鮮古今地震考 和田勇治著 明 大 四圓

△肥前島原ノ大地震 大森博士述 神奈川縣測候所大 拾五圓

△新潟縣地震調査書 新潟測候所 卷一 大 拾圓

△銚子地震年報 銚子 明 大 四圓八〇錢

○秋田震災誌 秋田震災救濟會 明 大 參圓五〇錢

△山陰東部の震火災 神戸正雄 財經 明 大 四拾圓

△高嶺地方震災誌 臺灣總督府 明 大 四拾圓

△大正元年自三月至五月地震調査 宮崎測候所 大 拾圓

△東京大正震災誌 東京市役所編 大 拾圓

△大正震災美跡 東京府編 洋裝 六圓

△大正大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△東京大震火災誌 朝倉義朗著 大 拾圓

△叙情日本大震災史 田中高山著 大 拾圓

▲大震火災誌 神奈川縣警察部編 三餘頁大 拾五圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

△大震火災誌 警視廳藏版 大 拾圓

凶荒史

○大正震災志寫真帖

內務省 社會局 美本 橫大 拾五圓

內務省 社會局 美本 橫大 拾五圓

△日本災異志 小島島果著 洋裝 參拾五圓

△日本の災害 河合利安 統集 二明 貳圓三錢

△東京市變災篇 東京市役所編 大 拾圓

△史稿 變災篇 東京市役所編 大 拾圓

△第一冊 變災史 關東首府時代ノ震災 天正迄 慶應迄

△第二冊 變災史 關東首府時代ノ震災 慶應迄 明治迄

△第三冊 變災史 關東首府時代ノ震災 明治迄 大正迄

△第四冊 變災史 關東首府時代ノ震災 大正迄 昭和迄

△第五冊 變災史 關東首府時代ノ震災 昭和迄 現在迄

△第六冊 變災史 關東首府時代ノ震災 現在迄 未來迄

△第七冊 變災史 關東首府時代ノ震災 未來迄 永遠迄

△第八冊 變災史 關東首府時代ノ震災 永遠迄 無限迄

△第九冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無限迄 無窮迄

△第十冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第十一冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第十二冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第十三冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第十四冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第十五冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第十六冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第十七冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第十八冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第十九冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第二十冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第二十一冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第二十二冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第二十三冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第二十四冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第二十五冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第二十六冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第二十七冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第二十八冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第二十九冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第三十冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第三十一冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第三十二冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第三十三冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第三十四冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第三十五冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第三十六冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第三十七冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第三十八冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第三十九冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第四十冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第四十一冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第四十二冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第四十三冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第四十四冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第四十五冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第四十六冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

△第四十七冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無量迄 無際迄

△第四十八冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無際迄 無極迄

△第四十九冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無極迄 無窮迄

△第五十冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無窮迄 無盡迄

△第五十一冊 變災史 關東首府時代ノ震災 無盡迄 無量迄

日本志篇 二九

六七九

凶荒史

△宮城縣凶作救濟誌 宮城縣 (明三年度) 明 大 貳圓

△宮城縣凶作救濟誌 宮城縣 (明六年度) 明 大 貳圓

△宮城縣凶作救濟誌 宮城縣 (明天年度) 大 拾圓

△福島縣凶作救濟誌 福島縣藏版 大 拾圓

△大正青森縣凶作救濟誌 青森縣藏版 大 拾圓

△青森縣凶作救濟誌 青森縣藏版 大 拾圓

△天明大飢饉後の鈴木爲蝶軒 大塚久 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の經濟的觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△天保凶飢饉の觀察 石卷良夫 中史 大 拾圓

△濟救記聞 常陸且暮庵野集輯 天保版和貳圓三錢

震災と其結果

- △震災後の失業問題 河津暹 社政 大12 六拾
- △震災と社会政策 永井亨 社政 大12 六拾
- △震災後の犯罪現象に關する統計的概観 小野 國家大13 五拾
- △震災の朝鮮人に及したる影響を憂ふ 上田外時 大12 五拾
- △震災善後會報告書 同會編 大14 布壹圓五拾
- △安政の震災と救済策 本庄榮治郎 經叢 大12 五拾
- △安政の震災の復舊策に就て 本庄榮治郎 經叢 大12 五拾
- △安政の震災の復活 三田村壽魚 改造 大12 五拾
- △安政の農村に及ぼしたる影響 協同會大三年十月調 大12 八拾
- △安政及桑港震災の今回ノ震災ノ經濟的關係 財經 大12 五拾
- △大震災後の失業救済法 三邊金藏 財經 大12 五拾

震災と産業

- △大震災火災損害額計算に就て 古館市太郎計理 大12 四拾
- △震災地と産業組合 大森健作 經叢 大12 五拾
- △震災と本邦鐵道工業 資料 大13 壹拾
- △三池礦山震災損害要價事件の法理的觀察 江木真新報明 大12 壹圓
- △大震災經濟史 時事新報社編 大12 五拾
- △平時經濟と震災經濟 大内嗣次 經商 大12 五拾
- △震災經濟誌 河田嗣郎著 大13 壹拾
- △安政桑港兩震災の經濟的影響の比較 勝田貞次 經研 大12 六拾

震災と生命保険

- △震災に關する生命保險統計 竹下清松 保維 大13 七拾
- △震災に關する生命保險統計 鈴木敏一 保維 大13 七拾

△大正三年櫻島噴火記事 九州鐵道管理局 大3 布壹圓五拾

△櫻島大噴火寫真帖 杉本寫真館 大3 布壹圓五拾

△櫻島噴火狀況 講話會編 大3 壹圓

△櫻島噴火ニ就テ 押川則吉 櫻島噴火被害農耕地 農商務省 大3 壹圓

△噴火及地震豫知ト櫻島噴火ニ就テ 櫻島噴火ニ就テ(秋田大地震ト櫻島噴火ニ就テ)今村明恒 櫻島噴火ニ就テ(秋田大地震ト櫻島噴火ニ就テ)今村明恒 櫻島噴火ニ就テ(秋田大地震ト櫻島噴火ニ就テ)今村明恒

海嘯史

- △宮城縣海嘯誌 宮城縣藏版 明36 參圓
- △海嘯義損小説 文藝俱樂部增刊 明29 壹拾
- △大海嘯被害錄 風俗畫報增刊 明29 八拾
- 日本ニ於ケル津浪ニ就テ 大森房吉述 震災豫防調査會 明43 參圓五錢

風水害史

- △元祿十五年八月雲州大洪水被害所書付寫 嘉永3 五拾
- △東京風水害救済會報告書 中村由次郎編 大7 五拾
- △東北九州水害救済會報告書 同會 大3 布八拾
- △享保二十年洪水之日記 布川氏寫 嘉永5 貳圓
- △奈良縣下十津川地方變災害實況圖 東京朝三 明22 八拾
- △和歌山縣下西牟婁郡中變災實況圖 日附錄 天明6 壹圓
- △武相兩國境川水荒御普請所目録見帳 天明6 壹圓
- △水害と森林の關係 川瀬善太郎 日經 大14 五拾
- △他國洪水にて田畑損毛御斷公儀被仰上留横天和3寫壹圓五拾
- 大正十四年七月中間京城附近 立岩 巖述 大14 貳圓
- 二於ケル漢江汜濫調査報告文 島村新兵衛 巖述 大14 貳圓
- 近年に於ける朝鮮の風水害 總督府觀測所 大15 參圓
- 水害並暴風雨より受たる我邦の損失 河合統集 大14 四拾

海嘯史 風水害史 國體史 國旗志 民權史

火災史

- △震災に關する生命保險統計 與石五太郎保維 大13 七拾
- △震災に關する生命保險統計 土肥棍太郎保維 大13 七拾
- 最近十年間に於ける東京市の火災統計 高井保評 大1 八拾
- △明治四十五年大阪大火救護誌 市役所編 明45 布壹圓
- △大阪火災と火災保險 村上隆吉 國經 明92 九拾
- △函館大火に關し火災保險事業に就て 村上 國經 明40 壹圓
- 石巻大火之狀 文久三年三月廿一日(陸前國)寫本 元治1 和貳圓
- 洛中大火夢物語 繪入 大正1 和貳圓
- △大阪市大火救護誌 大阪市役所編 明43 布壹圓五錢
- △大阪大火と火災保險 村上隆吉 國經 明42 九拾
- △大阪大火義捐金の處分私案 河上肇 日經 明42 五拾

噴火史

- 日本噴火誌 震災豫防 調查會 描二洋裝 拾參圓
- 文月淺間記 上毛羽毛氏撰 寫本 參圓五錢
- △天明三卯淺間山爆發當時の天異巷間妖說其狀況等を仔細に記す 淺間山噴火記及燒岳踏査報告書 長野縣 明45 壹圓
- △淺間火山調査書 大森房吉述 明45 七拾
- 磐梯山破裂の記 關谷清景 理科大學 洋裝 五圓
- 磐梯山噴火實況 大塚又兵著 紀要論文 洋裝 四拾
- △阿蘇大火山附近温泉勝地 角田政治著 明14 壹圓
- 櫻島爆發紀念寫真帖 杉本寫真館 大3 布壹圓五拾
- 櫻島大爆發記 同記編纂事務所 大3 八拾
- 櫻島噴火の研究 小藤文次郎述 理科大學紀要 洋裝 七圓

國體史

- △國體論史 內務省神社局 大10 四圓
- 大日本皇國國體要論 中川周順著 大1 和貳圓
- △尊嚴なる我國體 佐瀨範雄著 大4 和八拾
- 國體觀念の研究 池田直孝著 新大12 布壹圓九拾
- △帝國の國體と帝國憲法 美濃部達吉 法協 大2 七拾
- △皇國國體根柢たる古神道に就て 實克彦 法協 大3 貳圓拾錢
- △我が國體の特長を論ず 佐藤丑次郎 法論 大6 五拾
- △建國の大精神 田崎仁義 商濟 大15 五拾
- 日本の堅實性 永田秀次郎著 大13 布壹圓
- △崇神天皇は國家統一の時期を劃すもの也の私見 明44 八拾

國旗志

- △大日本帝國國旗 亙理章三郎著 新大14 布貳圓五錢

民權史

- △日本民權發達史 植原悅二郎著 大5 布參圓五錢
- △明治民權史論 中野正剛著 大2 布參圓五錢
- △維新前の民衆運動 尾池義雄 解放 大14 五拾
- △東洋民權史 關戸覺藏著 明35 革參圓
- △加波山義舉の事を主とし諸士の精神行動を畫ける實錄なり 佐藤論と民權論 尾佐竹著 大14 四拾
- △戰國時代都市發達の上に現はれた民衆力 高須中史 大11 五拾

日本志篇 三 六八一

鮮血大日本民權史 (東洋狂史著 久永廉三) 表紙傷明21 貳圓五錢

政治思想史

- 天保鏡連々草 鈴木惠助寫 嘉永4 四圓
- 天保年間水野越前守忠邦執政當時の時勢世情を連歌・發句・川柳・芝居・詞等に書き綴れるもの 寫本慶應4 參圓
- 風流田沼たん歌 寫本慶應4 參圓
- 内憂外患最も多端なりし幕末當世の朝野諸藩世趨の詠草 寫本慶應4 貳圓
- 當世よばくればし 寫本(幕末世論物語)慶應4 貳圓
- 日本政治史上公議輿論の意義 稻田周之助新報大2 七拾五錢
- 國會開設ヲ願望セザルベカラザル儀ニ付意見書 豐前中津亦一社 明治和參圓
- 心いさといつ婦し 各藩見立の諷刺と、逸 寫本壹圓 五拾錢
- 時勢作千代徳久禮 上州茂林寺守稿作 安政4 寫貳圓
- 新井白石の政治思想 栗田元次 史地 大1411 五拾錢
- 西南戦争後より憲法發布に到る政治思想 山田止才三 國家 大1411 五拾錢

日本思想史

- 現代日本の思想界 伊藤銀二編 明治40 布壹圓 五拾錢
- 國民道徳の本質としての祖先崇拝 補永茂助 法政三 大12 壹圓 貳錢
- 日本古代の祭政と法律 川面凡兒 國國二 大3、4 壹圓 八錢
- 祖先の祭祀と現行の法律 野村調太郎 國國二 大15 參拾錢
- 日本古代思想史 橋惠勝著 大11 布貳圓 五錢
- 日本に於けるソリダリテイの思想 瀧本誠一 三學大 大11 五拾錢
- 國史上の革命思想 三浦周行 中史 大5 六拾錢
- 山城國民議會秘譚 阪本勝 解放 大1314 五拾錢
- 日本社會運動史 高島素之 解放 大1314 五拾錢
- 日本社會運動史論 白柳秀湖 中公 大8 五拾錢
- 日本社會主義運動史 山口孤劍 改造 大8 五拾錢

建白志

- 諸家上書往返尺牘拔萃 寫本二嘉永6 七圓
- 松平越中守・薩摩守・外當時の當路者が鳩首擬議して時勢に應策せる尺牘及露西亞尺牘浦賀藩書等宛に好史料多し
- 野野江守及菅原藩子建白 寫本慶應4 壹圓 貳拾錢
- 前野江守及菅原藩子建白 寫本慶應4 壹圓 貳拾錢
- 木戸・板垣・島津・有栖川宮諸藩書 邑野舊藏 寫本 貳拾錢
- 出所不知無名公京師へ上書 寫本 貳拾錢
- 黒船來航當時の建白にて末尾に附したる一文は當時の世界國際關係を説く一資料たり
- 建白二十餘條御尋問 高深忠義編(戊辰前後諸家建白)明10 和壹圓
- 政道御不審二十條に付三條公へ御尋問の寫なり
- 高知縣立志社建白書 寫本 貳圓 五錢
- 時世を慨し政府の失政專横を糾す上奏文なり
- 幕末時務建白書 寫本 壹圓
- 亞米利加使節來朝に際し萬石以上諸侯への達書及其意見書なり
- 林子平 上書 志立書 寫本 參圓
- 學政、武備、制度、法令、賞罰其他合計九篇に分ち上書せる寫し
- 水府公 不可和之議 舊矢島文庫藏 寫本(治國策建白)貳圓
- 崇徳天皇之御社地御治定に付き保元の忠臣合配方を建白せる也
- 紀州公建白・文久勅書・長井上書・江戸御仰出 寫本 貳圓
- 再上閣老 書 大橋順藏 寫本 貳圓
- 異國船渡來に就きて時の堀田閣老へ海防策を建言する寫しなり
- 大 概 獻 策 大橋清崇書(黒船關係) 寫本嘉永6 八拾錢
- 島地黙雷建白・東京日々新聞投書 寫本 壹圓
- 神佛混教反對に就て教部省へ上書せるものなり
- 建 白 杉山茂丸(首相政道改革建白)大12 壹圓 拾錢
- 肥後細川家の擧用せる儒臣堀の上書及堀に關し島田の上書
- 七郷薩州因州日本橋張紙浪士建白元治頃寫四圓
- 尊王攘夷に關し或は失政に對し前記各家よりの上書及當時日本橋上に張紙せるものか寫せしものなり

國民性

- 西周先生の百一新論 鶴澤總明 法協 大2 明41 貳圓 六拾錢
- に於ける法理思想 國國 大4 貳圓 六拾錢
- 日本帝國主義的發展 高橋貞樹 マル 大1413 四拾錢
- 再び科學的の日本主義に就て 志賀義雄 マル 大1413 四拾錢
- 科學的の日本主義の理論に就て 赤松克麿 マル 大14 九拾錢
- 明治の文明と近代思潮 樋口龍峽 新日 大2 九拾錢
- 明治時代の思想界 清原貞雄 史地 明14 八拾五錢
- 幕末に於ける帝國膨脹の思想 魚住 史地 明26 壹圓 七五錢
- 國史上の革命思想 三浦周行 中史 大14 四拾五錢
- 上代人の思想 中村孝也 史地 大14 四拾五錢
- 古代日本人の民族的觀念 松本芳夫 史學 大9 壹圓 拾錢
- 近世思想問題の回顧 藤井甚太郎 中史 大5 六拾錢
- 江戸時代思想の回顧 佐々木臥山 史地 大7 壹圓 參五錢
- 徳川時代思想の一考察 佐々木臥山 史地 大5 六拾錢
- 明治思想界の啓蒙時代 佐々木臥山 史地 大136 壹圓 六五錢
- 明治元年の御誓約と我國立憲思想の淵源 山口鏡之助 史地 大136 四拾五錢
- 明治大正思想史の傾向 喜田貞吉 中史 大1111 四拾五錢
- 歴史上より見たる現代思想 喜田貞吉 史地 大1111 四拾五錢
- 日本の國民性(日本は軍閥國なりや)原敬 外時 大9 七拾五錢
- 我が國民性に就て 戸田海市 京法 大3 七拾五錢
- 戸田博士の國民性論を評す 石坂音四郎 京法 大3 七拾五錢
- 我が民族性に就て 佐藤丑次郎 京法 大3 七拾五錢
- 交通機關より見たる我國國民性 下村宏 國國大 大105 七拾八錢
- 古き外人の觀たる日本國民性 嶋川新譯 國國大 大105 七拾八錢
- 國民性の上鏡の話 石橋臥波著 附御即位大典と鏡 民俗叢書大3 參圓
- より觀たる鏡 附御即位大典と鏡 民俗叢書大3 參圓
- 日本人は好戰的國民なりや 大森金五郎 史地 明26 壹圓 七五錢
- 日本精神研究 大川周明著 新昭2 布貳圓 貳拾錢

九鬼式部少補建白

- 國防に關する上書にて兵制に武具に詳細を極むる長文なり 弘化4 四圓
- 山下廣内上書同書評 岡宮源好信寫 寬政5 拾貳圓
- 金融財政改革を論じ夫れに對し伊豆守・越中守其他の評言あり 終りに物價論を寫したるもの
- 水府公 獻 策 淺井氏書 寫本 安政2 壹圓 五拾錢
- 植崎氏上書及町人より差上御書付の寫 寫本 天明7 貳圓 五拾錢
- 小身の武士及び町人より政道改革に就き歎願的意見書の寫也
- 谷干城 君 意見書 靖民甫寫 寫本 明22 壹圓 八拾錢
- 歐米視察より歸朝後内閣に出したる文にして條約改正其他國策

勤王志

- 貝原益軒の勤王思想 藤井甚太郎 歴地 大8 四拾五錢
- 心學の勤王說 藤井甚太郎 歴地 大8 四拾五錢

日本社會主義志

- 本邦社會主義(初期)文獻 石川茂 マル 大4315 四拾貳錢
- 桂内閣と社會主義者 横山勝太郎 辯協 明11 七拾貳錢
- 日本現在の社會主義 桑原冊二郎 日人 大11 五拾錢
- 日本に於ける社會主義運動の發達 淺野研眞 法政二 大10 壹圓
- 最近日本に於ける婦人社會主義運動 伊那支夫 社政大 大10 六拾錢
- 明治社會主義史概論 石川三四郎 解放 大13 參拾錢
- 徳川時代の社會主義 國家 九明27 拾五圓

起原史

- 萬物のはじめ 大坂笹屋板 輸入 文政13 和貳圓
- 萬物のはじめ 江戸森屋板 輸入 文政13 和貳圓
- 雅俗日本事物起原 金子晋編 明36 參圓
- 便覽日本事物起原 石井研堂著 洋裝 五圓 五錢

明治文化書類 宗教史

- △日本文化の獨立 內藤虎次郎 史地 大8 五拾錢
- △日本國文化の特色 中村孝也 中史 大5 六拾錢
- △我が上代文化に於ける地方相 後藤守一 中史大10 五拾錢
- △樂浪帶方二郡の遺民と我が上古の文化 木宮歴地大12 四拾五錢
- △大内氏の文化 伊木壽一 二大9 八拾錢
- 江戸時代に於ける文化事業 本多辰次郎 太陽大11 四拾錢
- △日本の文化的使命 後藤新平 外時 二大9 八拾錢
- △世界新文化の開展と日本 手塚小南 國聯大11 四拾錢

明治文化書誌

- △雜新舊時代 明治文化 大14創刊・月刊散賣多
- 明治名著集 博文館(太陽臨時増刊)明40 壹圓五〇錢
- 學問のすゝめ 福澤 諭吉 救荒植物集説 伊藤 圭介
- 日本經濟論 加藤 弘吉 小説神髓 坪内 雄藏
- 人権新説 中江 弘吉 社會改良と耶蘇教との關係 西村 茂樹
- 王法論 井上 哲次郎 新日本の青年 德富 猪一郎
- 天賦人權論 藤田 茂吉 思想を管理する要を講ず 中村 正直
- 文明東漸史 藤田 茂吉 正直

宗教史

- △日本宗教史 土屋詮教著 早稻田叢書 明41革 貳圓五〇錢
- △日本宗教史 土屋詮教著 新大14布 五圓五〇錢
- △日本宗教史 比屋根安定著 新大14革 八圓 五拾錢
- △日本宗教史 土屋詮教述 早大 三頁 布壹圓 五拾錢
- W. E. Curtis—The religions of Japan, 1895 布貳圓 五拾錢

西教史

- △日本西教史 太政官翻譯 內閣記録課版 摘二明27 貳拾貳圓
- △日本基督教史 山本秀雄著 摘二大14布 五圓
- 西教史 山本秀雄著 大8布 貳圓
- △長崎叢書(耶蘇會年報) 村上直次郎譯 大15布 貳圓

社寺志

- △中世寺院法の貨幣説 山口正太郎 我研 大14 五拾錢
- △中世寺院法と銀行業 山口正太郎 銀研 大14 五拾錢
- △中世日本の寺院領 朝河實一 國經 大14 五拾錢
- △延久記録所の意義 三浦周行 史地 明45 七拾貳錢
- △徳川時代に於ける寺社境内の私法的性質 中田 蕭 國家 三二大8 壹圓 八拾錢
- △武家時代の神道概観 山本信哉 法政 大15 五拾錢
- △神社教養制度の一例 黒正殿 經叢 大15 五拾錢

○社寺領性質の研究

- 三上・芝・辻著 大3 貳拾五圓
- 東大文科紀要

△外交史稿

- 外務省編 二洋裝 貳拾五圓
- 木島幸藏 國際 五明41 42 五圓
- △德川家康の外交政策 柴謙太郎 四二明37 40 四拾六圓

西教史 社寺志 外交史 外交思想史 異船渡來記

日本志篇 二六 六八六

- △通俗東西比較宗教史 加藤玄智著 明36 貳圓五〇錢
- △朝鮮宗教史 青柳南冥著 明44布壹圓 五拾錢
- 日本の宗教及其現勢 松岡真友著 大6布 八拾錢
- 神代史と宗教思想の發達 津田著 新大14布 四圓八〇錢
- △日本佛教史之研究 辻善之助著 大14布 四圓五〇錢
- △日本佛教外史 菊地亮三郎著 大37布 四圓
- △日本佛教史 石原則開著 帝百 洋裝 壹圓
- △小乘佛教史論 舟橋水哉著 明37 壹圓 八拾錢
- △新編日蓮宗史 影山幾雄著 大10布 壹圓 五拾錢
- △日蓮宗史要 磯野本精著 大3布 貳圓 八拾錢
- 日宗史談 附統合史論 小笹原毅堂著 大1布 壹圓 五拾錢
- 曹洞宗史要 麻生吉漢著 明26布 壹圓 八拾錢
- △釋尊御遺形傳來史 小室重弘著 明38布 壹圓 五拾錢
- 批判的日本佛教史 足立栗園著 大3布 壹圓 五拾錢
- △日本佛教史綱 村上專精著 摘二洋裝 拾圓
- △佛教の美術と歴史 小野玄妙著 洋裝 拾圓
- △僧侶の物質的事業 尾田信直 史雜 三明29 四圓八〇錢
- △日本佛教小史 境野黃洋著 明44布 八拾錢
- △宗教統計 高橋二郎 統雜 明25 壹圓 貳六錢
- △國勢調査に於ける宗教 世良太一 統雜 明40 九拾壹錢
- △我宗教制度の將來を論ず 清水澄 國家 明40 壹圓 五拾錢
- 我國宗教制度の將來に就て 清水澄 新聞 三 大4 六拾錢
- △國家と宗教の沿革的觀察 渡邊清太郎 法政 明33 壹圓 四拾錢

△幕末外交談

- 田邊太一著 洋裝 參拾五圓
- △幕末之外交 高橋宇一著 明39 壹圓 八拾錢
- △日本最近外交史 齋藤文藏述 國史講習會 四頁 壹圓 貳拾錢
- △最近三十年外交史 有賀長雄著 摘二明43革 六圓
- △明治外交要録 小川平吉著 明35 貳圓 五〇錢

△日本と東亞に於ける歐洲協調

- 有賀長雄 外時 明31 壹圓 參拾錢
- △世界五大講和會議の史實と其の比較 牧野國知 大8 壹圓 六拾錢
- △尼港事件と世論是非 蛭川新 外時 大9 參拾錢
- 尼港問題と蘇丹事件 田川大吉郎 洋經 大9 參拾錢
- △外交史上より觀たる倭寇 後藤秀徳 外時 四 大4 貳圓 八拾錢
- △滿洲問題と日本外交の將來 北崎進 東經 明43 五拾四錢
- △日本平和運動史 松下芳男 國知 二 大15 五拾錢
- △蒲生氏郷の羅馬遣使に就て 辻善之助 史雜 大15 五拾錢

外交思想史

- △日本に於ける平和思想發展 澤田節藏 國知 大14 七拾七錢
- △江戸時代の開國思想に就き 上野菊爾 歴地 明44 七拾七錢

異船渡來記

- 鹿兒島灣沖黒船碇泊せし様子 松平大膳太夫控 寫本 壹圓
- 浦賀表江渡來之亞墨利加船よりの書翰和解 寫本 壹圓
- △亞墨利加船之儀ニ付急遽申上候書付(伊豆守) 寫本 壹圓
- △提督ペルリ日本全權林大學頭取極條約附録 寫本 壹圓
- △異國船打拂一件(黒船渡來の節の諸藩應策事情) 八拾錢
- △異國船渡來に付相州守衛を命ぜられたるに關し 上家老より輕輩に至る迄の心得を記したるものなり 寫本 壹圓

日本志篇 二七 六八七

外國の影響誌

△異緒生 譚 月下亭東流作 捕三文化五和拾五圓
△本緒生 譚 東春嶺畫 捕三文化五和拾五圓
「千種侯家惜昔談古今」より延て一劍を紛失し種々の事を惹起し
遂に精生芳園の難を報い「劍氣化龍歸侯家」と云ふ條に終れる一
の仇討話にして文章に問々異國語を取入れ挿畫甚だ多くして中
に異人の姿態を畫けるもあり

對外思想史

△田原珍事記 寫本 參圓
弘化三年三州田原侯領海へ黒船出現の際に於る公儀の措置政令
甚問の異事奇聞其他を書き記せるもの
△鷹坂中務大輔へ横濱町人より駕籠訴狀之寫萬延一寫壹圓
△異船來朝に際しての諸侯鳩首然慮の雜志 寫本 壹圓
□慎機論附缺舌或問缺舌小説 渡邊登著内藤耻校明24八拾錢
△松代侯之臣佐久間修理書上之寫 小島寫本天保13貳圓
内外の情勢を痛論し邊傍警備の急務なることを論述す
△夷船打拂之儀ニ付長府が小倉江使者應接書 寫本 壹圓五〇錢
△京都警備並姉小路家一條其他諸件 寫本 壹圓五〇錢
△長州新聞(薩長二藩外國船砲擊戰況) 寫本 壹圓
△照錄・坐獄日録 吉田松陰著 合冊和壹圓
△正幽 囚 録 吉田松陰著 明12寫貳圓五〇錢
○海國兵談 林子平著 寫本捕三貳圓五拾錢
○井伊直弼の開國政策に關する功過の判斷 檜松考昭 洋經 明42 五拾七錢
△開席料理三者論 因循堂主人作 寫本 貳圓五〇錢
儒者藝者醫者との問答に假托し藝者の口を藉りて長藩等の擴張
策は内外の情勢を達観せる高見なりと主張せるものなり
△日本人の對外思想を論ず 丹羽筑山 東經 明6 拾圓
△佐久間象山の對外意見 井野邊茂雄 國院 二大1341 壹圓
△赤化防止と大和民族發展策 内田定雄 外時 大13 五拾錢
△内地雜居の可否は須らく學術的に研究すべし 明26 壹圓七五錢
加藤弘之 國家

國際聯盟

△國際聯盟新議定書と日本 横田喜三郎 外時 大13 五拾錢
△國際聯盟會議と日本 一外交家 外時 大9 拾錢
△國際聯盟と日本の地位 三枝茂智 外時 二大108 四拾錢
△國際聯盟と日本の主張 末弘重雄 國聯 大10 四拾錢
△國際聯盟と國民の覺悟 織田萬 國聯 大10 四拾錢
△國際聯盟と日本 高石眞五郎 國聯 大10 四拾錢
△國際聯盟と日本 堀江歸一 國知 大14 五拾錢
△國際聯盟と日本 田川大吉郎 國知 大14 五拾錢
△國際聯盟の批判及其將來 土生秀穂 二大9 四拾錢
日社

日支關係

△日本談判始末 多田直繩輯 捕三明8和拾貳圓
△日本清國條約書 外務省藏版 明6和參圓
△和清條約 (修好通商關稅條規) 明6和貳圓
□破球事件日清談判始末 大久保常吉輯 明14 壹圓五拾錢
△日本と支那と 安岡秀夫著 大4 壹圓五拾錢
△支那に於ける日貨排斥運動 東亞經濟調查局 大13 壹圓五拾錢
△對清辨妄 荒尾精著 明28 參圓
△對清清意見 荒尾精著 明27 壹圓五拾錢
□支那征伐と我國論 福島文中編 明27 貳圓
○明治十八年清國特派復命書 外務省藏版洋裝 四拾五圓
○伊藤全權大使復命書 外務省藏版洋裝 四拾五圓
△支那に於ける日本人 經濟資料 大4 壹圓參拾錢
△日本朝廷と渤海國との交渉に就て 中村元次郎 歴地 明30 壹圓四拾錢

日蘭關係

△明治以前の支那貿易 山口舉直 舊書 明34 貳圓拾六錢
△近世支那の日本文化に及ぼしたる勢力影響 中村久四郎 歴地 大8 四拾五錢
△日本と吳越の交通 西岡虎之助 歴地 大8 四拾五錢
△遺唐使並に遺唐使に關する研究 木宮泰彦 歴地 大11 12貳圓
△遺唐使發給後に於ける日唐の交通 木宮泰彦 歴地 大11 12四拾五錢
△足利時代の日明交通 宮島貞亮 史學 三三 大11 12四拾五圓
○日蘭三百年の親交 村上直次郎著 洋裝 拾六圓
△日蘭通商航海條約 國察 大2 七拾五錢
△足利時代に於ける日蘭關係 新村出 藝文 大4 六拾五錢
△德川時代和蘭通商始末 山縣昌藏 史雜 八明24 拾四圓
△和蘭商館主の書翰 史雜 八明24 拾四圓
△和蘭通商の創立考 本多淺治郎 史雜 二明27 參圓四〇錢
△起原及其 本多淺治郎 史雜 二明27 參圓四〇錢
△吾邦蘭學勃興の原因 大槻文彦 日人 大4 六拾五錢
△和蘭通商の蘭學史上の地位と功績 高槻未知生 歴地 大6 五拾錢
△阿蘭陀人風説書 小林虎介寫 安政3 貳圓二〇錢
△附亞墨利加人浦賀江渡見聞之事、江戸近郊洪水見聞之事、老の
くりこと、江府大地震之事、及亞人獻貢見聞書
○日本と和蘭 日蘭協會編 大3 布拾八圓
日蘭三百年の親交 村上直次郎 八代將軍と蘭學輸入大槻文彦
慈愛に富める文明の母石黒忠憲 我新文明の曙光 杉享二
和蘭之現狀 松本義顯

△日露交渉彙報 渡邊新太郎著 洋裝 參圓二〇錢

日支關係 日蘭關係

△日支關係と英米の轉旋 伊藤正雄 財經 大12 參拾錢
△日本古代に於ける支那文化の傳來高樹健自 中史 大5 六拾錢
△日本に於ける對支爲替の探算 岡田重要 商事 大14 六拾錢
△日明交通に關する明史の想誤 後藤秀穂 史雜 二大6 壹圓拾錢
△支那の將來と日本 寺尾亨 國國 大2 七拾錢
△宋代に於ける日支交通 後藤齋堂 早講 大3 七拾錢
△清韓兩國に於ける發明意匠商標及び 菊地駒次 明41 壹圓
著作權の保護に關する日米條約釋義 國察
△支那及我邦に於ける殺倉の研究 小島憲經 商二 大11 壹圓
△支那南洋より觀たる日本教育 後藤朝太郎 外時 大14 五拾錢
△清人に對する邦人の態度 松崎藏之助 日經 明40 六拾參圓
△長丸事件と日清の國交 青柳萬恒 外時 明41 壹圓
△菊の根分け(日支經濟上の施設に就て) 勝田主計 述大7 壹圓
△元治元年に於ける幕吏の上海視察記 新村出 商濟 大14 四拾錢
○日本と支那 田川大吉郎 洋經 二大9 五拾錢
△支那と日本 本多熊太郎 外時 大9 五拾錢
△日支關係の現在及將來 神田正雄 國知 大13 五拾錢
△日支提携實現の機 神田正雄 國知 大13 五拾錢
△日支外交の側面觀 青柳萬恒 外時 大9 五拾錢
△支那の視察の所感を述べて日支關係に及ぶ 仁保龜松 法叢 二大10 拾圓
○日支交渉事件に就て 山本唯三郎 洋經 大4 參拾九錢
△日支交渉と最後通牒 小山清一郎 外時 大4 六拾五錢
△邦人の中華民國に賣する態度一般 泉善治 長彙 大14 壹圓五拾錢
△往古に於ける上海と日本の史的關係 新村出 經叢 大14 五拾錢
○日本は支那の知識に乏し 布川靜淵 東經 三三 壹圓貳拾錢
△日本紡績の對支關係 神坂靜太郎 藝文 大14 參拾錢
△日元貿易の研究 相原昌三 史雜 大3 七拾錢
△日明勘合貿易に於ける細川大内二氏の抗争 三三 貳圓五錢
△唐 人 屋敷 福田忠昭 歴地 明37 壹圓八錢
△舊幕時代に於ける長崎唐船貿易の研究 參考書 明30 壹圓四拾錢
妻木忠太 歴地

日露國交史料 梅森三郎著

洋裝 六圓

- ▲維新前より日露交渉史 植木直一著 明 3737 壹圓五拾錢
- ▲日露開戦 觀 中村進午 法政 明 38 壹圓貳拾錢
- ▲樺太下半露民の国籍 中村進午 法政 明 38 壹圓貳拾錢
- ▲十七世紀に亘れる露國の太平洋發展と對日關係 田保橋源 歴史 明 39 九拾錢
- ▲朝鮮に於ける日露關係の近狀 鳳凰山人 外時 明 3333 壹圓四拾錢
- ▲露國の朝鮮入兵一件 有賀長雄 外時 明 3333 壹圓四拾錢
- ▲幕末に於ける我對露論者 煙山專太郎 外時 明 39 四圓四錢

- 露國果して復讐戰 植松考昭 洋經 揃五明41 參圓
- 日露果して再戦すべきや 植松考昭 洋經 四明44 貳圓四錢
- 日露關係の將來 後藤新平 外時 大12 五拾錢
- 古代日露接觸回顧(露國の日本探險) 播磨橋吉 外時 大12 五拾錢
- 日露交渉の沿革 牧野義智 國際 大12 五拾錢
- 對露問題の過現來 高木信成 外時 大12 五拾錢

日米關係

- △樺太境界劃定事業經過概要附錄圖書 明 39 拾貳圓
- △德川日米の外交 日米協會 英文 洋裝 參圓二錢
- △萬延第一遣米使節日記 芝岡壽吉著 洋裝 四圓
- 萬延遣米使節圖錄 田中一貞著 洋裝 九圓五錢
- △在米日本人の一大問題 米田實 外時 大11 五拾五錢
- △日本人の米國歸化權 石川安次郎 外時 大11 五拾五錢

日印關係

- △日印の經濟關係 神戶正雄 時經 大15 貳拾五錢
- △日本印度間航海競争の結果如何 莊田秋村 東經 明 45 四拾八錢

日英關係

- △日英の物價趨勢 河田嗣郎 經叢 大6 五拾五錢
- △日英の物價趨勢 河田嗣郎 經叢 大6 五拾五錢
- △三浦安針の書翰 松宮春一郎 外時 明 2636 壹圓貳五錢
- △日英同盟廢棄後の英國の苦悶 稻原勝治 外時 大14 五拾錢
- △露佛對日英 巽來治郎 外時 明 351 壹圓參拾錢
- △英米と日本(國際的懸懼心と平和主義) 米國實國 大11 五拾錢
- △日本對英米 高木信成 外時 大14 五拾錢
- △極東外交と日英の地位 西澤英一 財經 大14 參拾錢
- △東亞を支配する日露英の三角關係 稻原勝治 外時 大15 拾錢
- 日英關稅問題と我巾製織 谷奧利吉 洋經 二明44 壹圓貳錢
- 英國人は日本に歸化する事を得ざるか 松井慶四郎 法協 明 42 九拾五錢
- △日本の婚姻と英國法廷 植村俊平 法協 二史雜 明 3223 壹圓九拾錢
- △平戸に於ける英國商館の歴史 レドウイヒリス 二史雜 明 3223 壹圓九拾錢
- △日英同盟の史的記述 牧野義智 國圖 揃三 大78 壹圓貳拾錢

日獨關係

- △日獨今後に於ける經濟關係に就て ソルフ東經 大9 參拾錢
- △下の關係と獨逸干渉の動因 煙山專太郎 外時 大15 拾錢
- △日本普西亞市制比較論 野村彌三郎 揃五 明 22 九圓七錢
- △和獨條約書(明治二年)舊上野藏書 和貳圓五〇錢

日印關係 日英關係 日本と南洋 新聞史

維新秘史日米外交の真相 生駒朝翔著 洋裝貳圓

- 遺米使日記 村直渡路守著 洋裝參圓五〇錢
- △米國歸化法に於ける日本人の排斥 山田福三郎 明 35 壹圓四錢
- △幕末本邦藝人の米國出稼 E.M. 歴史 明 34 壹圓貳錢
- △太平洋に於ける日米關係 福島平 京法 明 1040 壹圓五錢
- △太平洋上の日米關係 松波仁一郎 外時 大10 五拾錢
- △太平洋時代に於ける日米關係 堀光龜商叢 外時 大10 五拾錢
- △日米軍備の現狀 村田藤麿 外時 大10 五拾錢
- △日米海軍力競争と日米戰爭論 副島道正 外時 大12 五拾錢
- △日米海軍の對勢及作戰 川島清治郎 外時 大12 五拾錢
- △日米兩國の對支投資に就て 一宮房次郎 財經 大11 參拾六錢
- △日米金融市場と市場利率 平野清 銀研 大11 參拾六錢
- △日米兩國に關する日米比較 吳文炳 銀研 大11 參拾六錢
- △日米兩國に於ける夫婦結合の強さに關する比較 戶田貞三 統計 大10 四拾七錢
- △太平洋に於ける日米關係 福島平 京法 明 4013 九圓五錢
- △米國水師提督ペレリは果して日本の恩人なりや 高橋作衛 國際 明 43 九圓五錢
- 對米問題の難題と日本基督敎徒の責任 片山清洋 經叢 明 42 五拾七錢
- △本邦人との米人 植原悅二郎 國圖 大10 五拾貳錢
- △太平洋上の日米關係 松波仁一郎 外時 大10 五拾貳錢
- △日米問題の經過と其善後策 添田壽一 辯論 大13 八拾錢
- △日米關係の將來 藤澤利喜太郎 國知 大14 五拾錢
- △日米問題と朝鮮統治の根本義 副島道正 外時 大11 五拾錢
- △日米間の貿易關係 塚田慎次 經商 大11 五拾錢
- △米國に於ける日本人土地訴訟事件 桑港日本館 英文 五圓
- Documental history of law cases affecting Japanese in the United States 1916-1924, 1925

日本と南洋

- △暹羅の日本町 新村出 史林 大12 13 貳拾錢
- △呂宋の入貢を促したる秀吉の書翰に就て 村上直次郎 史雜 大14 五拾錢

新聞史

- △本邦新聞史 朝倉龜三著 繪入 明 44 和拾五圓
- 最新新聞紙學 米ドレヤイ著 小野瀨不二人譯 大4 布參圓五〇錢
- 全國新聞紙調 內務省警保局 大六年十月現在 四圓
- 最近新聞紙學 杉村楚人著 大4 布六圓
- 最新實際新聞學 米ドレヤイ著 小野瀨不二人譯 大4 布參圓五〇錢
- △全國新聞紙調 內務省警保局 大六年十月現在 四圓
- △最近新聞紙學 杉村楚人著 大4 布六圓
- △全國新聞紙調 內務省警保局 大六年十月現在 四圓
- △近全國新聞雜誌總目錄 前田千賀真編 明 40 布五圓
- △縮刷新聞總覽 京都新聞附錄 日本電通社編 大8 和壹拾錢
- △日本新聞年鑑 新聞研究所編 大四年版 壹圓貳拾錢
- △東京府下發行新聞紙調 警保局 大7 布壹圓
- △新聞紙講話 後藤武男著 新大15 布貳圓八〇錢
- △文明新聞篇 廢姓外骨著 新大14 和貳圓五〇錢
- △新聞になるまで 東京朝日新聞社 大11 壹圓
- △新聞小觀 芥米地與南著 明 35 壹圓五拾錢

日本志篇 二三 六九一

法律發達史 古代法典令

- △法制史上より見たる國民性 三浦周行 解放大13 五拾錢
△古法律の吾人に與ふる教訓 池邊義象 刑評明43 九拾錢
△本朝法律起源沿革 小中村清短 國家 明23 壹圓九拾錢
△歷史法學の由來 必要なる所以 三崎龜之助 明17 貳圓二〇錢
△日本の法律論 中島玉吉 法叢 大15 五拾錢
△日本以後國法學通勢 加藤正治 志林 捕二明 貳圓五拾錢
△法學の趨勢 岡村司 法記 明40 壹圓五拾錢

法律發達史

- △法律に發達の順序あり 奧田義人 法協 明21 貳圓八五錢
△法律の進化を論ず 仁保龜松 内外 明37 壹圓拾五錢
△我國法律の發達を叙して法律學の現況に及ぶ 仁保龜松 法政 捕三 參圓六拾錢
△法の觀念に關する沿革 寬克彦 法協捕三 參圓三〇錢
△法の由來及本質 副島義一 法政 明42 九拾五錢
△法曲放下僧より法の基礎觀念を論ず 寬克彦 法協明39 壹圓拾錢
△法律に於ける進化と進歩 志林 一〇大67 貳圓五〇錢
△法律の意義の變遷を論ず 仁保龜松 京法 明42 九拾五錢
△法の進化 小林俊三 辯論 大10 四拾錢
△法の歴史的發展に就て 高柳賢三 法協 二大11 貳圓拾錢
△我法律思想最近の趨勢に付て 鈴木信雄 新聞 大11 貳圓拾錢
△文化と法律 安澤喜一郎 法治 大12 貳圓拾錢
△古代の法律問題と常用漢字 播磨龍城 新聞 大12 貳圓拾錢
△法律發達に於ける判例の職能 志林 一〇大14 五圓五錢

日本志篇 一編

六九四

- △「法律に於ける進化と進歩」を讀む 鈴木義男 志林大14 五拾錢
△電氣と法律 藤積陳重 法協 明36 壹圓貳五錢
△古い法律新しい法律 大家郷二 大5 七圓拾錢
志林捕一四

古代法典

- △日本古代法典 萩野由之等校 合本明25 拾貳圓
律疏殘篇1 新編追加3 武家法度5
逸律1 建武式目4 諸士法度5
法曹至要抄2 建武以來追加4 高札5
真永式目3 公家法度5 御定書百ヶ條5

日本古代法典

小中村清短著

洋裝九圓五〇錢

日本古代法釋義

有賀長雄著

洋裝貳拾圓

古法制三題考

瀧川政次郎 國家 法協 捕五大15 貳圓五拾錢

我國最古の法

牧健二 國家 法叢 大15 五拾錢

大寶法典の發布及修正

增田子信 法協 捕二大6 壹圓八拾錢

古法と觸穢

中田蕭 國家 捕二大6 壹圓拾錢

我國古法に於ける保護及連帶債務

中田蕭 國家 捕二大14 壹圓

我國古代の法制關係語

中田蕭 國家 明40 壹圓五錢

令

令義解講義

小中村清短著

洋裝 五圓五〇錢

令集解

三浦博士校訂

洋裝 五圓

大寶令新解

龜美昌保著

和裝 參圓五〇錢

大寶令の施行及び破棄

赤堀又次郎 歴地 明44 七拾七錢

大寶令に見えたる稱呼並畫指

黒板勝美 法協捕二大8 壹圓

大寶令の施行期に就て

中田蕭 法叢 大14 五拾錢

大寶令制定に至れる顛末並大寶令の批評

明39 壹圓拾錢

養老令の施行期に就て

中田蕭 法協 捕二大12 壹圓拾五錢

養老令の奴婢賣買法

瀧川政次郎 法協 捕二大11 壹圓

奴婢逃亡に關する律令の法制

瀧川政次郎 法協 二大11 壹圓

律令時代の賭博罪に就て

内山慶之進 法治大15 四拾錢

王朝の律令と唐の律令

桑原騰藏 史地 大11 七拾五錢

律令の變遷

橋口長一 國史 大11 五拾錢

立法志

- △法典編纂の沿革 小澤正太郎 新報 明43 壹圓五五錢
△伊藤公と立法事業 梅謙次郎 國家 明43 九拾錢
△日本に於ける法典編纂の狀況 富井政章 法協明31 壹圓九五錢

式目

- △御成敗式目 一品尊親親王筆 寛文6 和貳圓五拾錢
△御成敗式目 下河邊拾水書畫 和壹圓參拾錢
△大寶令と貞永式目 岡部精一 法協 捕二明28 參圓參拾錢
△御成敗式目古寫本に就て 三浦周行 法叢 大9 五拾錢
○貞永式目抄 北條泰時草案 和七圓五〇錢
△貞永式目批判 三浦周行 法叢 捕二大12 壹圓五拾錢
△板倉氏新式目に就て 中田蕭 國家 捕三大12 壹圓五拾錢

立法志 式目 御定書 田制 帝國憲法史

日本志篇 一編

六九五

- △貞永式目より見たる祭政一致論 西關歴地 捕二大7 九拾錢
△弘仁式及貞觀式に就て 佐伯有義 國史 大12 五拾錢
△九條家延喜式紙背の養老律斷簡に就て 瀧川法協大12 五拾錢
△九條家延喜式紙背の明法質問狀 瀧川政次郎 法協大14 五拾錢

御定書

- 御定書目録 (寛政二年) 寫本 壹圓五拾錢
□格 律 松戶藩 寫本 橫參 參圓五拾錢
□寛保御定書 寛保二年制定御定書百ヶ條の寫 小蟲 貳圓五〇錢
×定書一札 寫本 二安政5 四圓

田制

宗教、農家生活、風習、儉約等に關する御定書なり

四圓

舊典田制篇

元老院藏板

和貳拾圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

田園類說

谷稻右衛門輯

寫本 八圓

帝國憲法史

田園に關する一切の制度其他の事を詳細に記したるもの

寫本 八圓

井田圖考

萬尾時春著

二享保11 和八圓

日本志篇 一編

六九五

憲法及憲法史研究

- 憲法及憲法史研究 國法學資料 明41年五圓
日本憲法淵源論 廣池千九郎著 大7卷五拾錢
聖德太子十七憲法 藤岡勝二著 大10卷五拾錢
十七憲法和解 廣池進一述 大9卷五拾錢
十七憲法講義 河邊義祐編 明45年八拾錢
帝國憲法皇室典範義解 伊藤博文著 大9卷七拾錢
十七憲法講義 加藤熊一郎著 明34年七拾錢
聖德太子御憲法 寛永寺釋孝泉解 大9卷七拾錢
憲法制度の由來 藤積八東 法協 大5卷七拾錢
本邦憲法制定の由來 伊藤博文 國家 大2卷八拾錢
日本憲法の特色 美濃部達吉 國家 大2卷八拾錢
皇室典範と憲法との關係 奥田義人 新報 大4卷九拾錢
帝國の國體と帝國憲法 美濃部達吉 法協 大2卷七拾錢
帝國憲法と政黨政治 美濃部達吉 國家 大2卷七拾錢
我が日本の憲法問題 稻田周之助 新報 大10卷五拾錢
聖德太子の十七條憲法論 植木直一 國家 大10卷五拾錢
五箇條御誓文の宣布と由來 妻木忠太 國家 大14卷四拾錢
皇室の事務と國家の事務 美濃部達吉 國家 大5卷六拾錢
我憲法に於ける國務大臣の責任 市村光惠 外明 大7卷五拾錢
日本憲法に於ける大臣責任の規定 美濃部達吉 明37年 大4卷四拾錢
憲法及び律令の制定と破毀 赤堀又次郎 歷地 大5卷五拾錢
日本憲法制定史談 藤井甚太郎 歷地 一三三明44拾壹圓

徳川制度史

徳川禁令考 司法省藏版 揃一〇洋裝 壹百五〇圓

寛政律

御目附正憲・御條目看板・御教諭看板・衣服御制・殿中並諸席立合檢使控・道中筋始末其他 寫本 寛政10 五圓

明治制度史

- 明治法制史 清浦奎吾著 明32年五圓
明治法制史 尾佐竹猛 國圖 揃五大9圓
樺太に於ける法令整理に就て 杉生紘 新聞 大12卷 貳拾錢
新領地に關する法律關係論 山田三真 國家 明28年 大4卷貳拾錢
最近十五箇年に於ける本邦法制變遷 富井政章 新聞 大4卷貳拾錢

慣習

- 慣習法起源諸説の批評 江木衷 法協 明39年 壹圓
憲法的慣習論 齊藤隆夫 法協 明39年 壹圓
慣習法の性質 一木喜徳郎 法政 明31年 壹圓
慣習法を論じて民法商法に及ぶ 松本重敏 協明 明32年 壹圓
慣習法の觀念に就て 島田俊雄 法政 明37年 壹圓
慣習法の論ず 市村光惠 京法 明40年 壹圓
慣習法の起原 菊池武夫 新報 明40年 壹圓
日本邦後見慣習一症 藤龍居士 新報 明40年 壹圓
日本の習慣古例講ぜざるべからざるを論ず 小林清藏 法協 明19年 貳圓
婚姻に關する習俗法令 關根正直 中史 大15年 貳圓
人格法學と慣習論 渡邊省三 法新 大11年 貳圓

日本民法史

- 民法小史 岡村司 志林 大2卷 七拾五錢
一子相続制度に就て 八木芳之助 經叢 揃三大13卷 壹圓五拾錢

明治制度史 習慣 日本民法史

御仕置御定秘鑑

- 御仕置御定秘鑑 寫本 揃一〇延享3 四拾五圓
徳川時代に於ける公事訴訟手續及科人罪科御仕置等の事を詳細に輯録し又當時の評定所掛看板の文言を記せり
類例秘録 忍屋隠士輯 寫本 揃一〇 四拾圓
天明以後文政に至る年間關東諸州に於て徳川幕府の諸達令・吟味書類を輯集部類別したるものなり
御定目附御仕置御規定 自寶曆至天保4年 寫本 二二 貳拾貳圓
公裁秘録附公裁御定 勝安房藏印寫本 揃五 六圓五〇錢
公事方心得書 勝安房家舊藏 寫本 二 四圓
公事方下知留 勝安房家舊藏 寫本 貳圓五〇錢
變死人疵人等の處置方法 寫本 四圓五〇錢
變死口論疵人・捨子・出火等の事故に對し其取調方並に御届機式を記したるものなり
頭書參考徳川百ヶ條 伊藤忍校 中田蕭著 大14年 壹圓五拾錢
徳川時代の文學に見えたる私法 中田蕭著 大14年 貳圓貳拾錢
徳川時代の衡平法論 豐浦興七 法叢 大14年 五拾錢
徳川時代の婚姻法 中田蕭 國家 大14年 五拾錢
江戸時代制度の研究 松平太郎著 上編洋裝 六圓五〇錢
徳川時代寺社境内の私法的性質 中田蕭 國家 揃二大5 壹圓貳拾錢
徳川時代不動産擔保法 中田蕭 法協 大7年 五拾錢
徳川時代の刑罰判決例 黒川眞前 法曹 大13年 五拾錢
徳川刑法の論評 中田蕭 志林 大5年 六拾錢
徳川氏の處分に就て 岡部精一 史維 大5年 五拾九錢
江戸時代に於ける賭博犯の種類 三浦法協 二明36 貳圓五拾錢
徳川刑法の論評 中田蕭 志林 大5年 五拾六錢
徳川時代の刑政 三上參次 新聞 揃四大3 五拾六錢

大寶令の親族法

池邊義象 京法 揃六明39 六圓六〇錢

日本親族法の特質

山口弘一 商研 大14年 貳圓五拾錢

日本中世相續法の研究

中田蕭 國家 揃四大5 貳圓四〇錢

日本相續制度論

石山彌平 新聞 揃一〇明29 拾六圓

社會學上より相續の沿革を概論す

石山彌平 新聞 明27年 壹圓七拾錢

比較養子論

田中秀知 内外 揃五明38 39 五圓六五錢

養子の制度

淺見倫太郎 法政 揃三大14 壹圓四拾錢

養子制度の濫用

中島玉吉 法叢 大14年 五拾錢

養子養子と實子養子

鬼武義彦 新聞 大14年 貳拾錢

隱居制度を論じて

三浦周行 太陽 大4年 壹圓四拾錢

我が太古の婚姻法

中田蕭 法叢 大13年 五拾錢

離婚制度私見

加藤行吉 法政 揃四大11 貳圓

△東西對的後見制の比較 中田薫 國家 大6 五拾五圓

△佛敎の正法律(二千五百) 花井卓藏 法記 三大3 貳圓拾錢

△日本不動產法沿革史 橫井時冬著 大15 五拾五圓

△我利法は最優良の刑法か最劣惡の刑法か 大場新報大3 七拾錢

○大日本不動產法沿革史 橫井時冬編 明21 布五圓

△喧嘩兩成敗法 三浦周行 法協 揃八明33 方34 拾圓九〇錢

△維新後不動產法 梅謙次郎 法協 揃二明39 貳圓貳拾錢

△死刑の沿革 卜部喜太郎 新報 明28 壹圓六五錢

△日本中世の不動產法 中田薫 國家 揃四六6 貳圓貳拾錢

△拷問制度の沿革 藤田知治 刑評 揃四六1 參圓三〇錢

△中古の土地公有制度 牧健二 法記 大11 五拾錢

△小河氏著答刑論を讀む 鈴木宗善 法協 揃七明37 貳圓四拾錢

△本邦の動產抵當を論ず 石山彌平 新報 二明26 參圓五拾錢

△遺責刑の歴史的發達 岡田庄作 志林 三大6 壹圓六五錢

△京都古法に於ける追奪擔保沿革 中田薫法協 三大9 壹圓五拾錢

△明初初年の拷問制度と其弱點 播磨龍城 國大6 四拾四錢

△日本に於ける人権の擁護 末川博 法記 大10 五拾錢

△天誅事件に於ける檢事の論に就て 三上英雄 新報 大9 貳拾錢

△日本邦著作權法の沿革 水野鍊太郎 國家 明34 壹圓參拾錢

△伊庭被告事件を論じ謀殺放殺の法理に及ぶ 花井卓藏 新報 四明35 壹圓參拾錢

△深野新田永小作 小野武夫 法協 大12 五拾錢

△天誅事件の檢事の論告批評 梅原錦三郎 新報 大9 貳拾錢

△吉野川沿岸の永小作問題 小野武夫 法協 大12 五拾錢

△大浦告發事件を論じて司法省官制の改正を促す 大澤眞吉 辯協 大4 五拾貳錢

○日本刑法沿革史 小田切成徳述 明15 貳圓

△本邦民刑事統計に就て 秋田稔 統集 明30 壹圓貳四錢

○刑罰審明録並附則 明17 布參圓五〇錢

△本邦民刑事統計に就て 石川惟安 統集 明30 壹圓九錢

○明治死刑執行記録 鐵版二和貳拾五圓

△刑事統計研究と新刑法運用 牧野英一 志林 揃五 明18 八圓六拾錢

△大我神代の刑法 澤田順次郎 國大 大5 四拾八錢

△行政科統計論 岡松徑 統集 揃八明15 拾四圓

△松田前法相と刑法 菊池武夫 刑評 明44 九拾五錢

△破産統計 加藤正治 法協 大2 七拾七錢

△破産法の沿革及主義 花井卓藏 新報 大12 五拾五圓

△再び我國に於ける獨逸人の特許權に就て 遠藤法協 大4 六拾五錢

△破産法案 法記揃二明35 貳圓六〇錢

△場屋主人の責任の沿革と其基本 烏賀陽然 新報 大6 五拾五錢

△大阪奉行所訴訟手續概略 高根義人 二明29 參圓三〇錢

○社會私儀 中井積善著 吉田嘉武寫 天保12 八圓

△王朝時代伊勢神領の裁判手續 石卷良夫 法協 大2 七拾五錢

△社會創設に關する建議なり蓋し宋の朱子が建寧府崇安縣開鄉

△大名領地の裁判制度 三浦周行 京法 大6 五拾五錢

△舊岡山藩の社會法に就て 黒正巖 經叢 大12 五拾九錢

○舊法律と新裁判 安達元之助 法新 揃三 大13 貳圓五拾錢

△社會法に就いて 重田定一 帝農 大4 五拾九錢

△神醫裁判について 牧野信之助 史林 大5 壹圓拾錢

○社會倉考 宅佐美著 早田寫 五圓

△古文書の裁判鑑定 三浦周行 京法 大5 壹圓拾錢

△今の米穀法案と昔の三倉制度 芝葛盛 中史 大5 五拾圓

△考證 概言 木下廣次 法協 大11 貳圓五錢

△朱子社會法 壽文堂刊 和參

△裁判文學論 不破清賢 新報 大11 貳圓拾錢

△日本國際法沿革略史 菊地駒次 國際 大7 五拾錢

△最近十五年間に於ける訴訟法の學說及判例の變遷 板倉松太郎 新報 大4 貳圓拾錢

△國際法の現在及將來 寺尾亨 法協 明35 各壹圓參拾錢

△最近十五年間民事訴訟學說の變遷 板倉松太郎 新報 大4 貳圓拾錢

△國際法の沿革を論ず 花井卓藏 新報 明35 各壹圓參拾錢

△商業登記の歴史 東季彦 法協 揃二 大4 六拾五錢

△日本主義と國際法觀念 寺尾亨 國際 大1 八拾五錢

◎商慣習 松波仁一郎 新聞 明39 貳拾貳錢

△國際公法沿革の大意 寺尾亨 國際 大1 八拾五錢

◎商慣習 森作太郎 新聞 明39 貳拾貳錢

△國際公法沿革の大意 寺尾亨 國際 大1 八拾五錢

△商事者雙方の商慣習法の相異なる場合の準備法 梅志林 明41 壹圓

△國際法と耶蘇敎との關係 井上毅 國家 明24 貳圓八五錢

△手形法の過去現在及將來 松波仁一郎 新報 明15 貳圓

△東京神口の砲臺と國際法 嶋川新 外時 明16 八拾五錢

△米綿輸出に使用する船荷證券 田口松治 新報 明15 貳圓

△日本志篇 一元 六九九

△三世に於ける實買の擔保 三浦周行 經叢 大6 壹圓九錢

△手續法史 商法志 社會志 日本國際法史

△三井物産手形偽造事件に關し同社の責任を論ず 高窪喜八郎 評論 大1 壹圓九錢

△日本志篇 一元 六九九

- △明治時代に於ける 高橋作衛 法協編五大1と2 參圓九〇錢
- △國際法研究の發達 寺田四郎 國際 大4 六拾五錢
- △國際公法典解 寺田四郎 國際 大4 六拾五錢
- △國際協會及び外交史 萬國會議 參圓四十五錢
- △國際政治上の日本 町田梓樓 寺尾亨 外時 大15 七拾五錢
- △世界に於ける日本の地位 添田壽一 京法 大3 七拾五錢
- △日本國民の世界に對する二大主義 川島信太郎 國際大12 五拾五錢
- △我國最初の國際法研究者 尾佐竹猛 國知 大13 五拾五錢
- △國際私法上より觀察したる我が民事訴訟法修正案 花岡敏夫 國際 明3737 壹圓貳拾錢
- △長丸事件國際法規 立作太郎 國際 明4341 九拾錢
- △條約改正と土地所有權 米田實 國際 明40 九拾五錢
- △日韓條約と憲法 佐々木惣一 京法 明40 壹圓五錢
- △臺灣と條約との關係 水野蓮 國家 明31 壹圓五拾錢
- △國際法上の西比利亞出兵問題 泉哲 外時 大7 五拾錢
- △日本に於る過去現在の領事裁判 中村進午 志林 明36 壹圓貳拾錢
- △東洋諸國特に日本帝國に於ける領事裁判權 中村進午 志林 明36 壹圓貳拾錢
- △日本仲裁々判條約に就て 山田三真 法協 明41 壹圓拾錢
- △居留地家屋稅仲裁裁判 中村進午 法政 明39 壹圓拾錢
- △日本人歸化權を論じて條約締結に及ぶ 米田實 國際 明43 九拾錢
- △内地雜居ト地外法權 尾崎三真著 明26 貳圓

海 法 史

- ◎海 法 會 誌 松波仁一 耶著 摘一二洋裝 六拾圓
- △北條時代の領船式目と現代の海法寺尾新報 二大 3810 壹圓八四錢
- △警巨秀吉の海法 松波仁一 耶 明學 二大 3810 壹圓八四錢

- △臺灣裁判問題と司法統一 土屋理喜治 籌協 大6 四拾四錢
- △獨立せる臺灣の司法 三好一八 憲法 大8 五拾錢
- △臺灣に於ける相續主義の立法に就て 玲瓏學人 憲法 大8 五拾錢
- △臺灣人の刑罰感應性と刑量裁定との關係 上內憲法 大8 貳圓
- △臺灣管刑例に就て 小河滋太郎 法協 二明 37 貳圓四〇錢
- △本島(臺灣)人内地人と公法及私法 伊藤正介 憲法 大6 五拾錢
- △臺灣に於る既往及現在の國際法問題 後藤新平 國際 大1 八拾錢
- △登記簿公信主義と臺灣 岩澤彰二 耶 憲法 三三 壹圓五拾錢
- △臺灣に於ける相續主義の立法に就て 玲瓏學人 憲法 大8 五拾錢
- △臺灣に於ける法律施行に就て 岡野敬次 耶新報 明40 壹圓五拾錢
- △民法商法を本島臺灣人間に施行の可否 杉本憲法 大14 五拾錢
- △臺灣の司法制度に就ての所感 新田繁永 新聞 二大 5 貳拾四錢
- △南支の我國司法權を臺灣に領有するの議 三好憲法 大8 五拾錢
- △臺灣と憲法 小澤政許 新報 二明 30 貳圓九五錢
- △臺灣に關する立法の錯誤 有賀長雄 國家 明34 壹圓參五錢
- △井上博士臺灣律令違憲論を駁す 武田鬼十郎 新聞 明35 四拾錢
- △内地臺灣間に於ける法 鈴木宗言 法協 二明 38 貳圓三〇錢
- △内地臺灣間に於ける法 鈴木宗言 法協 二明 38 貳圓三〇錢
- △内地及臺灣間に於る法制上の連絡 鈴木新開 三明 38 六拾九錢
- △臺灣の國法的關係を論じて 鈴木新開 三明 38 六拾九錢
- △臺灣律令問題に就て 無名生 新聞 大5 壹圓拾五錢
- △臺灣又は樺太に法律を施行する勅令の效力 長岡法協 明42 九五錢
- △内地人臺灣人間の親族關係 入家及三好一八 憲法 二大 8 壹圓

支那母體日本法制史

- △唐令と日本令との比較研究 中田 三三 參圓六〇錢
- 支那母體日本法制史 陪審制度史 入會權史

- △德川時代の海法 中田憲 法協 二大 3 壹圓四拾錢
- △德川時代に於ける海難救助の研究 生島國經 二大 12 壹圓四拾錢
- △本邦に於ける海法 穂積陳重 海法 大5 參圓
- △我が海上保險業の萌芽時代 藤三郎 七大 14 參圓五錢
- △日本海法會小史 松波仁一 耶 海法 大5 參圓
- △タイタニック沈没と其審問 松波仁一 耶 法協 大1 八拾錢
- △愛麗丸沈没事件 松波仁一 耶 法協 大3 七拾錢
- △梅ヶ香丸沈没事件 岩田 宙造 法協 大3 七拾錢

朝鮮法制史

- △朝鮮法制史稿 淺見倫太郎著 大11 布四圓
- △朝鮮並臺灣聯合事件の經過を敘して司法統一の緊要を論ず 大井靜雄 新聞 大6 貳拾四錢
- △朝鮮民事令と民事訴訟法改正法律案 多田吉鍾 朝司 大15 參拾錢
- △朝鮮に於ける日本の司法權 有賀長雄 外時 明39 壹圓拾錢
- △朝鮮司法制度の改革 宮脇梅吉 新聞 明41 壹圓拾錢
- △朝鮮理事廳の判決は内地に於て執行し得るや 清瀬一 耶 法協 明41 壹圓拾錢
- △韓國の合併と立法事業 梅謙次郎 國際 明43 九拾錢
- △朝鮮法系の歴史的研究 淺見倫太郎 法協 大10 五拾錢
- △朝鮮の近世情 根村熊五郎 編 明15 五拾錢
- △朝鮮の法律、宗教、地理、王家、兵制、政黨其他を論ず

臺灣制度史

- △臺灣制度大要 手島兵次郎編 明43 貳圓
- △臺灣私法の完成 福田德三 國經 大1 八拾錢
- △松岡博士の内地臺灣司法共通を讀む 增島辯協 明14 八拾錢

陪審制度史

- △明律に就て 淺井虎夫 京法 明41 壹圓五拾錢
- △唐律に就て 淺井虎夫 京法 明41 壹圓五拾錢
- △明會典に就て 淺井虎夫 京法 明41 壹圓五拾錢
- △尙書に見えたる法の公示 淺井虎夫 京法 明41 壹圓五拾錢
- △馬端臨の四書考に見えたる比較法制史料 中田憲 法協 大8 五拾錢
- △日本陪審の沿革 尾佐竹延 法曹 大12 四圓五〇錢
- △日本の陪審制度 林頼三郎 新報 大12 五拾錢
- △日本陪審法の綱領 林頼三郎 新報 大12 五拾錢
- △陪審制度の沿革 大場茂馬 新報 大8 四拾五錢
- △陪審制度の北條泰時 石山彌平 新報 大8 四拾五錢
- ◎伊藤公と陪審制 江木衷 新聞 明42 七拾六錢
- △我國の陪審法 中島玉吉著 洋裝 大6 六拾錢
- △陪審制度と憲法の關係論 小室春富 新聞 大9 貳拾錢
- △入會山野入會論 小町谷純 新報 明26 壹圓七五錢
- △山林原野に對する入會權を論ず 藤澤茂十郎 新聞 明39 貳拾貳錢
- △入會權の性質を論ず 田多井四郎 法協 大9 四拾四錢
- △國有山野に對する入會權問題 播磨龍城 辯協 大1 六拾四錢
- △林野入會權の整理を非とす 横井時敬 新聞 大1 四拾八錢
- △國有山野入會權餘論 播磨龍城 新聞 大1 拾六錢
- △入會權と町村制の規定 織田萬 京法 大2 七拾五錢
- △入會山野法の制定は立消歟 播磨龍城 新聞 大8 貳拾錢

◎岩手縣の山野入會問題 辯護士會志 新聞 大11 九拾五錢
△入會と所有 菊池武雄 新報 明42 九拾五錢

辯護士會志

□法曹至要抄正解 三島敦雄著 洋裝 六圓五錢

△日本辯護士史 奥平昌洪著 洋裝 八圓

◎辯護士協會派非協會派 辯護士會志 新聞 大11 貳拾錢
◎東京辯護士界の内紛所謂協會非協會派 辯護士會志 新聞 大12 貳拾錢
△東京辯護士會の内紛に就て 猪股淇水 新報 大12 五拾錢
△東京辯護士會分立問題 安達元之助 法新 大14 貳拾錢

△代言職の起原 穂積陳重 法協 明19 貳圓拾錢

△古の辯護士及今の辯護士 岡村輝彦 刑評 明44 八拾五錢
△代言人時代の法廷 角田眞平 刑評 明44 八拾五錢

日本神祇史

△大日本神祇史 佐伯有義著 大2 革八圓

△神祇史 宮地直一著 二明43 布拾八圓

△神祇志料 栗田寛著 揃一七和五拾圓

△神道起源論 津田敬武著 洋裝 五圓

△神道沿革史論 清原貞雄著 洋裝 五圓

△古神道大義 笈克彦著 揃三洋裝 拾八圓

○本朝神社考 林羅山著 揃六和七圓

△神祇史の研究 宮地直一著 洋裝 參圓

○神道名目類聚抄 小佐治半衛門板橋六元 和六圓五錢

△神道概説 吉川野行著 揃二明3 和貳圓
△皇道概説 上杉慎吉 國家 大2 七拾五錢

△古神道の神格及專制主義 笈克彦法協 大1 八拾錢
△大警會に於ける天神壽詞評釋 池邊義象法協 大2 七拾五錢

△皇國の根柢たる古神道に就て 笈克彦法協 大3、4 壹圓參五錢
△神道綱要 山本信哉 法政 揃六 大11 參圓

△復古神道論(其文化史的價值) 河野省三法政 大12 壹圓
△神宮寺の思想に就て 竹關勝也 法集 大14 壹圓

△王道に就きて 服部宇之吉 國家 揃三 大9 壹圓五拾錢
△神宮 綜覽 神宮司廳編 大4 布壹圓八拾錢

警察史

◎法規分警察門 内閣記録局編 明24 參圓五錢

△德川時代警察沿革誌 内務省編 揃二 大13 布參拾五圓

△本邦警察の沿革 松井茂 法協 揃七 明32、33 九圓八五錢

△繪畫彫刻と風俗警察 草野約一 新報 大13 布壹圓五拾錢
△明治警察裁判史附刑事辯護制 尾佐竹著 大15 布壹圓五拾錢

△廳府縣警察沿革史 内務省警保局編 五略2 貳拾圓

△日本警察彰功錄 吉原眞次郎編 明24 貳圓五錢

○警視廳統計書 警視廳編 最近二十年間 貳圓五拾錢

△犯罪研究の推移 萩野萬之助 法研 揃二 大12 貳圓
△犯罪統計 相原重政 統計 明30 壹圓貳四錢

△犯罪の統計に就て 横山雅男 統計 揃二 明43 八圓六錢

△犯罪統計に就て 田中太郎 統計 明41 八拾錢

△犯罪統計に就て 牧野英一 法協 明41 壹圓

△犯罪統計論 高橋二郎 統計 明23 壹圓六八錢

△犯罪統計に就て 加藤銀藏 統計 明23 壹圓五錢

△犯罪統計諸表 吳文聰 國家 揃二 明32 壹圓四錢

△犯罪統計の話 高橋二郎 統計 揃二 明23 貳圓拾錢

△犯罪一層の話 高橋二郎 統計 揃二 明23 參圓四錢

△季節犯罪と在監人の減少 羽柴瑪之助 統計 大5 四拾貳錢

△死刑及殺人罪の統計 田中太郎 統計 揃四 明44 貳圓七錢

△竊盜五犯以上一人に對する統計 藤澤正啓 統計 揃二 明43 壹圓四錢

△統計上より見たる犯罪少年 黒田源太郎 統計 揃二 大11 參拾五錢

△犯罪人の二度以上入監 羽柴瑪之助 統計 揃二 大11 參拾五錢

△本邦の盜難統計 加藤銀藏 統計 揃二 大11 四拾錢
△内地臺灣犯罪比較統計 水科七三郎 統計 揃二 大7 四拾錢
△我國の犯罪の現状 大場茂馬 新報 明28 壹圓拾六錢
△謀殺及放火罪者犯罪の因由に就き教育の度 石川惟安 統計 明28 壹圓拾六錢

△犯罪の起原 寺田精一 法政 大8 壹圓拾錢
△犯罪の起原及其進化 佐々木英夫 法政 揃二 大9 壹圓拾錢
△犯罪の原因と腦の缺陷 芥川信 法政 大15 五拾錢
△犯罪原因に關する一考察 寺崎勝治 法政 大15 五拾錢
△刑事社會學上摘摸及竊盜の化生原因 中村法協 明31 壹圓五拾錢
△近世の犯罪 相生政次 刑評 明43 九拾錢

犯罪志 監獄志

△監獄制度略論 曲木如長 法記 揃二 明20 參圓六錢

△監獄事業の大體 曲木如長 國家 揃二 明27 參圓四錢

△監獄改良と刑法改正 長島鷲太郎 國家 揃二 明26 參圓五錢

△監獄 石渡敏一 新報 明21 壹圓八拾錢
△監獄論 穂積陳重 國家 明21 貳圓

△監獄問 小河滋次郎 新報 明25 壹圓八拾錢
△刑法草案に對し監獄學上より觀察したる意見 小河滋次郎 國家 明31 壹圓五拾錢

△最近犯罪の減少 桑原榮次郎 刑評 明39 九拾錢
△犯罪と犯罪との關係 高野岩三郎 法協 明39 壹圓拾錢

△人口の増加と犯罪 澤村晴夫 刑評 明42 九拾五錢

△犯罪と季節 小河滋次郎 新聞 明42 九拾五錢
△新平民の改善と犯罪 有松英義 刑評 明42 九拾五錢

△犯罪と教育の關係 武田慧安 刑評 明43 九拾五錢
△法令時代の賭博罪に就て 内山慶之進 法治 大15 四拾錢

△犯罪と天候との關係 源真英 刑評 明43 九拾五錢
△迷信と犯罪 泉二新熊 法協 大4 六拾五錢

△ひげしと犯罪 寺田四郎 刑評 揃三 明44、45 貳圓四五錢
△犯罪の地理的分布に就て 小野、白山 志林 大15 五拾錢

△臺灣に於ける犯罪狀態概観 上内恒三郎 法大 大14 五拾錢
△東京府下に於ける犯罪者と佛教各宗との關係 窪田貞一 統計 明34 壹圓八錢

△本邦古代に於ける犯罪奴隷 瀧川政次郎 志林 大11 五拾錢
△歌舞伎劇に現はれたる悪人の研究 金富法政 揃四 大13 貳圓

△臺灣の犯罪傾向と對策 長尾景徳 憲法 大9 五拾錢
△上代に於ける日本民族の罪に對する思想 石橋臥波 刑評 揃二 明43 壹圓八拾錢

△監獄制度略論 曲木如長 法記 揃二 明20 參圓六錢

△監獄 石渡敏一 新報 明21 壹圓八拾錢

△監獄事業の大體 曲木如長 國家 揃二 明27 參圓四錢

△監獄改良と刑法改正 長島鷲太郎 國家 揃二 明26 參圓五錢

△監獄問 小河滋次郎 新報 明25 壹圓八拾錢

△刑法草案に對し監獄學上より觀察したる意見 小河滋次郎 國家 明31 壹圓五拾錢

△最近犯罪の減少 桑原榮次郎 刑評 明39 九拾錢

△犯罪と犯罪との關係 高野岩三郎 法協 明39 壹圓拾錢

△人口の増加と犯罪 澤村晴夫 刑評 明42 九拾五錢

△犯罪と季節 小河滋次郎 新聞 明42 九拾五錢

△新平民の改善と犯罪 有松英義 刑評 明42 九拾五錢

△犯罪と教育の關係 武田慧安 刑評 明43 九拾五錢

△法令時代の賭博罪に就て 内山慶之進 法治 大15 四拾錢

△犯罪と天候との關係 源真英 刑評 明43 九拾五錢

△迷信と犯罪 泉二新熊 法協 大4 六拾五錢

△ひげしと犯罪 寺田四郎 刑評 揃三 明44、45 貳圓四五錢

△犯罪の地理的分布に就て 小野、白山 志林 大15 五拾錢

△臺灣に於ける犯罪狀態概観 上内恒三郎 法大 大14 五拾錢

△本邦古代に於ける犯罪奴隷 瀧川政次郎 志林 大11 五拾錢

△歌舞伎劇に現はれたる悪人の研究 金富法政 揃四 大13 貳圓

△臺灣の犯罪傾向と對策 長尾景徳 憲法 大9 五拾錢

監獄統計 因人記録 武士道

Table with columns for book titles, authors, and prices. Includes titles like '監獄改正の前途', '監獄の生活', '監獄改良私見', etc.

監獄統計

Table with columns for book titles, authors, and prices. Includes titles like '奈良縣監獄統計表', '石川縣監獄年報', etc.

日本志篇 二冊 七〇四

囚人記録

Table with columns for book titles, authors, and prices. Includes titles like '鳥根及大森町牢番より大森目代所へ差出したる牢屋踏入用割合書付', '囚人の最大危機', etc.

武士道

Table with columns for book titles, authors, and prices. Includes titles like '日本武士道史', '武士道の淵源', '武士道と國際法', etc.

武士道

Table with columns for book titles, authors, and prices. Includes titles like '柳營秘鑑', '江戸時代の研究', '武士道の研究', etc.

封建考

Table with columns for book titles, authors, and prices. Includes titles like '日本に封建の制なし', '日本の封建制度に就きて', etc.

封建制度 武士制度 守職職

△京都守護職始末 山川浩著 明44布貳圓五〇錢

△守護制度の研究 三浦周行 史雜 大8 五拾錢

△文治守護職の補任 牧健二 法叢 大11 貳圓

△牧學士の文治守護職の補任を讀みて 中田蕭法叢 大11 五拾錢

△日本國總守護及總地頭 牧健二 法叢 大11 壹圓

△再び牧學士の文治守護職補任論に就て 中田蕭法叢 大11 五拾錢

△中田博士の教に接して古代法研究と文治守護論 牧健二 法叢 大11 五拾錢

△守護職小史 北原雅長著 前編 二〇三二和貳圓五〇錢

△庄園制度之大要 吉田東伍著 新大14 布壹圓五拾錢

△日本庄園の系統 中田蕭 國家 二〇三〇 貳圓貳拾錢

△王朝時代の庄園に関する研究 中田蕭 國家 七〇三九 七圓七〇錢

△莊園考 栗田寛著 洋裝 八圓

△土地法と莊園 山崎宗直 三學 大5 六拾錢

△莊園の起源 川上多助 歴地 明36 壹圓拾參錢

△武家と莊園制度 芝葛盛 中史 大4 六拾五錢

△後三條帝莊園の御處分に関する文書 三上史雜 明32 壹圓四五錢

△我國中古における莊園に關係せる地頭、出作、加納等の名稱起源及出典 歴地 明44 七拾七錢

△莊園制度崩壊の一例として 牧野信之助 史林 二大9 貳圓

△越前國河口坪莊の研究 牧野信之助 史林 二大9 貳圓

△平安朝の莊園政策 川上多助 史雜 四〇四二 貳圓

△平安朝時代に於ける莊園の組織 川上多助 史林 二大15 貳圓

△建武一統の際における諸國莊園の課税 國院 明32 壹圓四五錢

大森金五郎

△莊園保の概略 清水正健 國院 二大14 壹圓

△莊民の生活 中村直勝 史林 大12 壹圓

△東寺文書に就て(莊園關係) 三成重敬 史雜 大15 五拾錢

△莊園の影響を受けたる向神社の宮座 六人部 國院 大14 五拾錢

△高野山領莊園に就て 魚住總五郎 歴地 明43 八拾壹錢

△土地法と莊園 山崎宗直 三學 大5 六拾錢

知行及領土

除邑録 天保11寫參圓

吉宗公の御代、命を被り林大學頭信萬の編に係る諸大名有罪國除左運除封邑食地行石高等の記録なり

徳川加封録 清田默著 明24布四圓

諸大名關東改正高附 寫本貳圓

御扶持方之儀に付款願書控 山口平助 寫本 文久3 壹圓

知行高村付帳 寫本 天保14 貳圓五拾錢

地頭の得分に就いて 黒板勝美 史雜 明1835 壹圓參拾錢

維新前後に於ける大名領地 喜田貞吉 歴地 明1835 壹圓九拾錢

下司と地頭に就いて 魚住總五郎 歴地 明3838 壹圓四拾錢

大名領地の性質に関する思想 藤井 歴地 明3838 壹圓四拾錢

細川幽齋の大名領地観 中村直勝 歴地 明640 五拾五錢

後院と後院領 中村直勝 歴地 明640 五拾五錢

梁田御厨の研究 中村太郎 國院 明4014 壹圓拾五錢

知行論 中田蕭 法協 明4014 壹圓拾五錢

鎌倉地代地頭職は官職に非ず 中田蕭 國家 二〇四〇 貳圓拾錢

足高の制を論ず 井野邊茂雄 國院 大34 七拾錢

參勤交代制

參勤交代制度の經濟觀 本庄榮治郎 經叢 二大5、6 壹圓拾五錢

元治元年參勤交代及妻子在府制の復舊事情 明43 八拾壹錢

原傳藏 歴地

武州埼玉郡伊草村末年五人組帳 蟲入 文政6 寫貳圓

安房國朝夷郡上香見村五人組御改帳 天保15 寫壹圓五拾錢

下總國海上郡成田村五人組連判帳 弘化2 寫貳圓五拾錢

五人組制度の模倣と五戸の組合 明44布貳圓

五人組制度 穂積陳重著 法理論叢 明35 貳圓五〇錢

五人組制度 穂積陳重著 洋裝 六圓

五人組法規集 穂積陳重著 洋裝 六圓

農村の振興と五人組制度 板井申生 帝農 大13 壹圓參五錢

京都五人組編制の年代 中田蕭 國家 大13 壹圓參五錢

勤方日記

勤方留帳 平井掛五郎 寫本 參圓

享和元年より文化五年に亘る板倉侯取次役勤方日記 武圓五〇錢

御供小姓頭勤方日記 松戸藩 落丁あり 寫本 享和1 壹圓

御刀持御駕脇勤方日記 浪華散人 寫本 明和9 壹圓五拾錢

勤方 柳河藩義路 寫本 享和3 壹圓

江戸詰合中日記 羽前藩岡藩安會寫 橫嘉永3 壹圓

殿様江直書下書覺帳(琴峰公へ) 穂積奉仕書狀 高照寫 弘化2 壹圓

古來の官制職名の考證にして文武諸官に関する數十項あり 寫本 壹圓

雜錄 (見習の節の控) 尹擬寫 文久1 壹圓五〇錢

二の丸御留守居役公文手扣 寫本 參圓

安永五丙申より嘉永三庚戌に亘る留守居役公文全般に亘る詳細なる記録にして老職よりの達等もあり資料として良し 折本 二天保11和貳圓五拾錢

武家秘册 青標紙 忍道屋藏版 折本 二天保8和貳圓五拾錢

武家必撃 殿居藏版 訂書堂藏版 折本 二天保8和貳圓五拾錢

五人組制度

五人組帳 武州國部村 蟲入寶曆1 寫貳圓五〇錢

五人組御仕置帳 武州國部村 文化13 寫壹圓五拾錢

五人組御仕置帳 武州三笠村 蟲入 傷文化6 寫壹圓五拾錢

五人組御條目書上帳 武州三笠村 天保10 寫壹圓五拾錢

五人組帳 島下郡橋之内村 享和3 寫壹圓

五人組帳 信濃國伊那郡火山村 文化5 寫貳圓五〇錢

地方自治制度

江戸の名主について 幸田成友述 史學 大12 壹圓貳拾錢

庄屋役儀定書 大森取給津吉郎控 安政4 寫壹圓五拾錢

日本古代の村落制に就きて 内田銀藏 四〇四二 八圓八二錢

愛媛縣舊庄屋地御所分探偵問書並伺寫 郷土制度の研究 小野武夫著 新大14 布貳圓五拾錢

町會所の始末の追加 江戶 明25 參圓八〇錢

並兩替爲替の追加 江戶 明25 參圓八〇錢

御觸寫し(市町村と農村自治に關する御觸) 安政5 貳圓

江戸町會所に關する一考察 倉持徳久 總研 大14 壹圓

江戸時代交隣地行政と日本都市自治政治の發達に關する一考察 吉川 同志 大15 壹圓

自治政治の發達に關する一考察 吉川 同志 大15 壹圓

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

勤方日記 五人組制度 名主庄屋及村役 地方自治制度 日本志篇 一四七 七〇七

- △王朝時代の地方行政に關する一考察宮地直一史雜大13五拾錢
- △江戸時代に於ける辻番及自身番に就て松本愛重國院大12五拾錢
- △近世に於ける地方自治に就て中村直野史地 二大6壹圓拾錢
- △上古の地方政治 大家政長 法政 大12 五拾錢
- △徳川時代に於ける村の人格 中田蕭 國家 大9 五拾錢
- △日本の部落有地 小野武夫 國經 摘三大6壹圓六五錢
- △日本普西亞市制比較論 野村法協摘五明2九圓七五錢
- △山田の自治機關 石卷夏夫 歴史 明41 九拾錢
- △町村自治活用大資料 戸田承著 明43 布貳圓
- △地方自治制要義 末松借一耶著 大12 布參圓
- △地方資料 地方局 自一至五編 一八明40 貳圓五錢
- △地方往來 市野蒙述 繪入 明3 和七拾圓
- △自治興新論 井上明府著 大9 布貳圓

氏族制度

- △日本古代氏族制度 太田亮著 洋裝 五圓五錢
- △氏族制度雜考 本庄榮治耶 經叢 大12 五拾圓
- △氏族制度論 河田嗣耶 國家 二明41 貳圓
- △日本の氏族制度 河田嗣耶 京法 明42 九拾五錢
- △日本の氏族制につきて 山上高次郎 歴史 明21 壹圓八拾錢
- △日本上古の氏族制度につきて 内田銀藏史雜大3 七拾五錢
- △中古初期に於ける氏族制 新見吉次 史雜 明42 九拾五錢
- △氏族 考 近藤瓶城著 摘二和壹圓貳拾錢
- △我が上代の母系氏族制 松岡靜雄 中史 大15 五拾圓
- △姓氏雜考 宮崎道三郎 法協 摘一明38 五圓五錢

婚姻志

- △我國家族制度の前途に就て 奥田義人 新報 明35 壹圓參拾錢
- △家族制の將來を論ず 梅謙次郎 志林 明35 壹圓參拾錢
- △家族制度の變遷 河田嗣耶著 法經研究叢書明44 貳圓
- △家族制の變遷 岡村司 内外 明38 壹圓參八錢
- △鎌倉時代の家族制度 三浦周行經叢七大9 參圓五錢
- △古代法に現れたる家族制 野村兼太郎 三學大9 五拾錢
- △我民法に於ける戸主制度 岡村司 志林 二明44 壹圓七拾錢
- △朝鮮人の婚姻と族姓 都守泰一 社雜 大15 五拾錢
- △吾國家族制度に對する法律的考察 小室春富經叢大12 四拾錢
- △日本に於ける家の制度發達の研究 戸田貞三 社大2 六拾錢
- △我國のトイテミズムの考察 中山太郎 社雜三大14 壹圓五拾錢
- △言語研究より見たる日本古代の家族制度 金澤史地明43 九拾錢
- △飛騨白川の大家族制 本庄榮治耶 京法 明44 八拾五錢
- △白川村家族制度と大寶二年戸籍 岡村利平 飛史大6 七拾七錢
- △白川村に於ける大家族制度に就て 有森三評 二大11 六拾七錢
- △飛騨白川 江戸 一六明22 貳拾四圓
- △飛騨の白川 大鶴利三耶 飛史 大10 七拾錢
- △家族制度研究 河田嗣耶著 飛史 大8 10 壹圓五拾錢
- △母權と母系相續に就て 久野芳藏 歴史 大10 10 四拾五錢
- △血統上祖先觀 播磨龍城 新聞 大10 10 貳拾五錢
- △三父の研究 早田正雄 法政 大14 14 五拾錢
- △本邦結婚統計一斑 高野岩三耶 法協 明39 40 八拾八錢
- △我國の結婚歩合 河合利安 統計 明39 40 八拾八錢

- △日本人の婚姻姪及出生 二階堂保則 國國大5 四拾八錢
- △徳川時代の婚姻法 中田蕭 國家 大14 五拾錢
- △我國に於ける婚姻法に就ての一問題成田治三耶 法曹大13 五拾錢
- △我が太古の婚姻法 中田蕭 法叢 大13 五拾錢
- △兄の妻をめとる古俗 別所梅之助 社研 大15 壹圓貳拾錢
- △我國に於ける逆縁婚に就て 中山太郎 社雜 大13 五拾錢
- △結婚の數より觀たる内壘同化の實現 久保田法政大9 五拾錢
- △本邦の結婚統計 加藤銀藏 統計 二大12 八拾錢
- △近親結婚と統計 松本修 法協 明36 壹圓貳五錢
- △婚禮かゞみ 武井碩三著 洋裝 壹圓五拾錢
- 類聚婚禮式 東陽堂編 洋裝 四圓

離婚志

- △離婚統計 一 二 布川靜淵 統計 明36 36 壹圓
- △本邦離婚統計一斑 高野岩三耶 統計 二明42 壹圓五錢
- △本邦離婚統計の一斑 岡松徑 統計 二大2 四圓二錢
- △我國の離婚率に就て 岡崎文規 經叢 摘二大12 11 八拾錢
- △本邦の離婚統計 加藤銀藏 統計 摘二大12 11 八拾錢
- △都鄙別による離婚率 岡崎文規 經叢 大14 14 五拾錢
- △夫婦關係の強さの測定(離婚に關する一研究) 戸田貞三 社雜 大14 14 五拾錢

文藝史

- 江戸時代文藝資料 國書刊行會叢書 散賣 四圓
- △近世文藝叢書 國書刊行會叢書 散賣 貳圓五拾錢
- △近世文藝叢書 內容六一四頁參照 摘一二 貳拾五圓
- 離婚志 文藝史 文學史

文學史

- 明治文藝史 太陽增刊 附明治四十一年史 明42 壹圓五錢
- 文藝百科要義 相馬御風著 洋裝 八圓五錢
- 近代文藝史論 高須梅溪著 洋裝 貳圓
- 近代文藝十二講 文壇四家合著 洋裝 八拾錢
- 近世文藝思潮 長谷川誠也著 洋裝 八拾錢
- 文藝類纂 楠原芳野著 洋裝 八圓七錢
- 日本短歌史 山内素行著 大2 布七圓
- 自己中心明治文壇史 江見水陸著 新報2 布壹圓八拾錢
- △歌垣の源流 内藤吉之助 社雜 摘二大13 壹圓
- △日本新詩史 福井久藏著 社雜 大13 布貳圓
- 新撰俳諧年表 平林鳳二著 大13 布參圓二錢
- △國文學發達史 永井一孝 述早大六四六頁 參圓
- △日本文學史論 鈴木暢幸著 明37 布貳圓
- △日本文學史 三上參次著 摘二明23 布參圓
- △訂國文學小史 和田萬吉永井一孝著 明33 布貳圓
- △和文學史 大和田健樹著 明31 布貳圓
- △日本文學史辭典 佐々政一編 明39 布四圓五錢
- 日本志篇 二四九 七〇九

- △日本古俗誌 松岡靜雄著 新大15布參圓二錢
- △日本風俗史 坂本健一編 帝百 明43 壹圓五〇錢
- △日本風俗全史 江馬務著 和裝 四圓五〇錢
- 國俗變更默識錄 箕浦專八著 寫本享和 拾貳圓
序に曰く「我邦俗の變替を廣く見聞に採り世態の推移を教へ固
有忠孝の道を悟し人心の戒に資す」と
- △近世風俗見聞集 國書刊行會叢書 散賣 拾貳圓
內容六六頁參照 拾四 拾貳 圓
- 日本風俗沿革圖說 江馬務著 和裝 七 圓
- 日本風俗圖繪 風俗圖繪刊行會 描二和貳拾五圓
- △近世女風俗考 生川春明著 和裝 五 圓
- △歷史女裝考 岩瀬百樹著 描五和裝 五 圓
- 風俗史研究指針 森徳太郎著 洋裝 壹圓 五拾錢
□かくれさとと雜考 上林豐明著 民俗叢書 新昭2布壹圓 七拾錢
- △日本鹿子 石川流宣畫 横二二元線4和參拾五圓
- 日本風俗圖說 ミレー著 英文 八七七 年版描一〇洋裝壹百二〇圓
- 日本風俗誌 レガミー著 佛文 洋裝 拾五圓
- 日本風俗史 ホルトシ ヨーン著 英文 描二洋裝 拾 圓
- 日本風俗史 フレゾー著 英文 八七九 年版描二洋裝拾六圓

- 日本風俗誌 チャーリー著 英文 洋裝 拾貳圓
- △日本風俗誌 ノルマン著 英文 八七九 年版洋裝六 圓
- △日本風俗誌 アキノ 英文 八七九 年版洋裝 八 圓
- 吾妻みやげ 蕭々房述 輸入折本 四嘉永5和參圓五〇錢
一方五篇內四篇缺
- 譚 津村正恭著 寫本一二 拾 圓
神道佛道・江戸京都等の事・其他諸國の雜事風俗奇談等を書き牧
めたるものなり
- △日本燈火史 内坂素夫著 大6布八 圓
- △古今吾妻餘波 岡本昆石編 一編 明16和八 圓
- △民間風俗年中行事 國書刊行會叢書 大5布參圓五〇錢
諸國年中行事 第五期 操 厄子 芝居年中行事 はんじゅう
増補江戸年中行事 石井 藤 おとしばなし年中行事 二
石井士郎著 東都叢書 坂内直頼 正月揃 六
山城四季物語 六 中川喜雲 民間時令 一〇
案內者 北里年中行事 二 花里散人 年中故事 二〇
北里年中行事 二 古雅輸入 描四享保版和拾 圓
- △諸國年中行事 古雅輸入 描四享保版和拾 圓
- 年中行事文章 泉花堂三蝶述 文化1和壹 圓
□増補實年中行事 蓬萊堂版 和五 拾 圓
- ×往古年中行事 筆蹟美麗頗る 長尺巻物一卷 寫本 六拾圓
- 年中行事 正月3月に至る年中の 故事慣例行事を詳述す 寫本參 圓

西九年中行事

殿中に於ける一月二日より寫本横五 圓

柳營年中行事

松葉園英鶴仙識 香取新之助編 明13 布參 圓

温古年中行事

詳齊永羅畫 繪本 明22 和壹 圓

日本歲事史

江馬務著 大12 參圓二錢

葬祭志

葬禮私考

栗田寛著 描二和裝 六 圓

葬禮考

物茂嗣著 寫本文政13 貳圓 貳拾錢

生活志

武士と都會生活

栗田元治 歴地 史雜 大1538 壹圓 四錢

江戸時代に於ける富豪の生活

江馬務 風俗 大13 和四圓八〇錢

我國經濟生活の特徵

佐野學 我等 大3911 五拾錢

江戸時代に於ける市民の經濟生活と文學

高須芳次郎 新潮 明3911 壹圓 拾錢

吾國古代の經濟生活

大内武次 經濟 大1313 六拾錢

日本服飾史論

高橋健自著 新昭2布參 圓

服飾史

日本風俗史

江馬務著 上卷 大10 和貳圓五〇錢

日本風俗史

高橋健自著 新昭2布參 圓

日本風俗史

高橋健自著 新昭2布參 圓

紋志

定紋の研究

福井萬次郎著 大13 布貳圓三錢

家紋の由來

生田目經徳著 明44 貳圓五〇錢

日本紋章學

沼田頼輔著 新大15 革拾五圓

日本紋章學

沼田頼輔著 新昭3 布參圓五〇錢

民衆娛樂

民衆娛樂の發達に就て

榑田保之助 統集 大9 四拾錢

最近十五年間に於ける各種興行物の趨勢

榑田保之助 國家 大8 五拾錢

寄席興業の統計的觀察

榑田保之助 國家 大8 四拾錢

演劇研究

同社 大14 創刊・月一 散賣 拾〇〇〇錢

歌舞伎研究

歌舞伎 大15 創刊・月一 散賣 四〇〇〇錢

芝居番附

二島英勇註入 映入和八拾五圓

芝居番附

二島英勇註入 映入和八拾五圓

芝居番附

二島英勇註入 映入和八拾五圓

芝居番附

二島英勇註入 映入和八拾五圓

□演劇通史 花房柳條著 明23 四 圓

△日本演劇史論 吳文炳著 上卷 大10 參 圓

△日本演劇史 伊原敏郎(青々園)著 大13 布四 圓

△近世日本演劇史 伊原敏郎著 大13 布四 圓

△近世日本演劇史 伊原敏郎述早大三三頁 壹圓 五拾錢

×三都惣役者大見立 大坂喜平衛板 嘉永6 和壹圓 五拾錢

△歌舞伎年代記 談洲樓馬馬著 揃一〇和參拾圓

○續々歌舞伎年代記 田村成義編 乾卷大11 革拾貳圓

△日本劇場史 後藤慶二著 附西洋劇場の話 新大14 布四 圓

□歌舞伎座案内 川尻清潭編 大13 八 拾 錢

△帝劇十年史 杉浦善三著 大9 壹圓 五拾錢

△花 踊 奧西筋三編美人寫真滿載大12 七 拾 錢

○都 踊 南洋著(松坂音頭ぶし)大12 八 拾 錢

○あしべ(浪花)なとり 秋山編 京都祇園美妓寫真帖明45 五 拾 錢

○近世邦樂年表 東京音樂學校編 揃二洋裝拾五圓

△歌舞音樂畧史 小中村清短著 揃二洋裝六 圓

□歌舞音曲考説 小中村清短著 洋裝 七 圓

△平家音樂史 館山漸之進著 揃二洋裝拾 圓

△我が國の古舞古樂に就て 高野辰之述 昭1 壹圓 貳拾 圓

△日本の音樂 源典清著(文政リ原著)三頁 壹圓 貳拾 圓

△日本音樂の音學 阿ツアチツク本 假綴 四 圓

△尺八の歴史 考 栗原廣太著 假綴 四 圓

△通俗琵琶史 荒牧守著 大7 布貳圓 五拾錢

△日本歌謡史 高野辰之著 附薪能圖及町入能圖 新大15 布八圓 五〇錢

□日本民謡史 藤澤衛彦著 新大14 布貳圓 二〇錢

□日本歌謡史講話 坂井衛平著 洋裝 貳 圓

□日本民謡正調追分節古今名句集 河越編音譜付 大10 貳 圓

×日本民謡全集(續篇) 前田林外選 橫明40 貳 圓

×常磐津祖二百五十年祭執行錦繪 周延筆 三明18 貳圓 五拾錢

□小唄漫考 湯朝竹山人著 大15 布貳圓 四〇錢

□諸國俚語傑作集 湯朝竹山人著 大4 壹圓 七拾錢

△江差追分歌謡全集 江渡省三編 大12 六 拾 錢

△生粋江差追分節 百津瀧瀧著 大14 五 拾 錢

△俚語正調江差追分節 清水きよ編 大14 五 拾 錢

□相撲勝負表 十日間宛合本 七天保6 五 圓 五〇錢

□江戸花街沿革志 關根金四郎著 揃二洋裝四 圓

△花街風俗志 大久保菫雪著 洋裝貳圓 五拾錢

△日本花柳史 山根秋伴著 洋裝貳圓 五拾錢

△花柳風俗志 文藝俱樂部增刊 明5 拾 圓

△遊廓設置審議大會開議案各區町村浦總代心得要領其他 明5 拾 圓

△金澤美人選集 池永智勝著 非賣品 大15 五 拾 錢

△美術春秋 同社 大14 創刊・月一 散賣 貳拾五錢

○大日本美術新報 自一號 至三號 三五明16 參圓八〇錢

○日本帝國美術略史 帝國博物館特製洋裝 四拾參圓

○日本帝國美術略史 帝國博物館佛文描五洋裝六拾圓

○日本帝國美術畧史 日本皇室博 物館藏版 佛文革四拾五圓

○日本美術史 姑射良著 洋裝 參 圓

○大日本美術史 小杉楳村編(書史) 貳圓八〇錢

○日本美術沿革誌 アーネストハート述邦譯 四 圓

□八重山民謡集 八重山新報社 上卷(沖繩縣)大12 六 拾 錢

□流行唄變遷史 藤澤衛彦著 大3 貳圓 五〇錢

▲小夜の中山よなき石からくりこうじやう和泉屋板繪本和貳圓

□阿波鳴門じゆん禮くと幾子別の段 吉田屋板 和五 拾 錢

□初春三河万ざい 泉榮板 輸入 八頁 和參圓 五〇錢

□新板花づくし 堀岡幸四郎編 上 輸入 明23 五 拾 錢

□しん板群馬くどき 河上權藏編 第編輸入 明19 和四 拾 錢

△笑ひぐさ 基左衛門寫 諸讀雜詠 文久2 壹 拾 錢

△子もり歌 参前舍藏板 明17 和五 拾 錢

△大新はん大津畫婦し正月の戀花くらべ其他 寫本 壹圓 五拾錢

△當世新作こつけいくちからてまかせ山崎著繪本 明25 四 拾 錢

△淨瑠璃史 高野辰之著 明33 革七 圓

△日本淨瑠璃史 小山龍之輔編アカギ叢書 大3 壹 圓

△淨瑠璃人名誌 淨瑠璃雜誌社 明24 壹圓 五拾錢

△淨瑠璃史 寺山星川著 明26 貳圓 五〇錢

□相撲沿革史 松田貞吉著 明28 壹圓 五〇錢

□日本角力史 三木愛花著 增訂版 明42 布壹圓 五拾錢

□日本角力史 三木愛花著 明35 壹圓 五拾錢

△相撲沿革史 松田貞吉著 明28 壹圓 五〇錢

△相撲沿革史 松田貞吉著 明28 壹圓 五〇錢

流行歌

音樂史

各地の踊り

日本歌謡史

地方の歌謡

花柳志

美術史

日本美術史講話 黒田鶴心著 洋裝 參圓

日本美術史講話 趣味叢書本 拙二洋裝 貳圓參拾錢

東洋藝術史 中央史壇特輯 大15 壹圓五拾錢

美術年契 福地復一著 和裝 七圓

日本美術工藝目錄 一八六四年 佛國パリー出版 佛文洋裝拾五圓

國初美術の變遷及び特質 帝國博物館用紙初稿 大3 壹圓

日本美術史講話 森田春潮述 一六頁 大3 壹圓

繪畫史

日本繪畫史 大河内定雄著 鐵版 大15 壹圓五拾錢

近世繪畫史 藤岡作太郎著 洋裝 四圓

日本繪畫史 横井時冬著 洋裝 參圓

日本繪畫史 笹川臨風著 上卷 洋裝 六圓五錢

日本繪畫史 兼松龜吉郎著 洋裝 參圓

日本南畫史 梅澤精一著 洋裝 拾四圓

近代繪畫史論 植田壽藏著 新大14布七圓

日本原始繪畫 高橋健自著 新昭三布參圓八錢

日本繪畫史 細木原青起著 洋裝 壹圓八拾錢

日本繪畫史 西島青浦輯 洋裝 貳圓五拾錢

版畫史

日本版畫史 石井直三郎著 洋裝 參圓

日本版畫史 蘇武線郎著 洋裝 貳圓五錢

浮世繪版畫志 エー、デー、フアイツケ著 大10布拾六圓

日本工藝美術史 井戸文人著 大8布貳拾八圓

日本經濟史

日本經濟史 瀧本誠一著 大9革貳圓參拾錢

日本經濟史 内田銀藏述早大二三頁 布貳圓

經濟史研究 本庄榮治郎著 大13 參圓五錢

日本經濟史論 内田銀藏著 大13革八圓五錢

日本經濟史要 栗栖勉夫著 昭三布貳圓

日本經濟史概論 佐野學者 大15布貳圓

日本經濟史時代 瀧本誠一著時事新報社 布參圓

日本經濟史研究 改造社社會科學特輯 大15 壹圓五拾錢

日本經濟史講話 細貝正邦著 新昭三布壹圓

明治維新經濟史 猪谷善一著 新昭三布貳圓五錢

明治大帝の崩御と經濟上の影響 阪谷芳郎日經大1五拾壹錢

バナー運河の日本經濟上に及ぼす影響 堀光龜新報 大8 壹圓四拾錢

經濟の發達について 本庄榮治郎史地 大15 拾五錢

日本經濟史 佐々木吉郎史地 大15 拾五錢

武士と經濟 瀧本誠一 中史 大5 拾五錢

瀧本氏の武士と經濟を讀みて 赤堀 中史 大6 拾五錢

明治の經濟組織 山川均 解放 大13 參拾錢

明治維新の特殊性及其現代的意義 瀧谷善一企社大15 拾四錢

我が資本主義經濟發達の経路と將來 高橋龜吉中公大15 拾八錢

最近二十五年の日本の經濟 行詰つたと云ふか 地球 大14 五拾錢

何故に日本資本主義經濟は行詰つたと云ふか 地球 大14 五拾錢

既往十年間大阪市場事情 高橋龜吉 大14 五拾錢

我國に於けるカルテル熱の勃興 津村秀松國家明41 壹圓參拾錢

明治後中期の經濟的變化 安田與四郎 洋經大1壹圓貳錢

經濟社會に對する史的考察 淺野研眞 法政 大9 五拾錢

經濟學史

社會組織の變動と資本主義社會の成立 佐野學解放大13 參拾錢

我國資本主義發達の一論據としてのプロムパルトと近松 山本中公大15 拾八錢

日本經濟史の學理的考察其他 瀧本誠一述 大15 拾六錢

資本主義形成過程に於ける數の觀念と變化 山本勝太郎中公 大15 拾六錢

經濟學史研究 高橋誠一著 大9 革拾四圓

東洋經濟學の建設 山路愛山 日經 二明41 壹圓貳拾錢

現時日本に於ける經濟學的地位を論じ所感を述ぶ 田島錦治法政 明29 壹圓六拾錢

歴史並經濟學派と經濟的史風 阿部秀助志林五明40 五圓二五錢

アルプスの維新 堺利彦 解放 大13 參拾圓

中井竹山の草莽危言に於ける經濟學說 松崎壽國經明41 壹圓

日本經濟史論 福田鶴三著 新大14布貳圓八〇錢

日本經濟史文獻 本庄榮治郎著 正篇新大15布四圓

經濟史考 本庄榮治郎著 續篇新昭三布貳圓八拾錢

日本ノ經濟ト佛教 河田嗣那著 大13布貳圓五錢

商業中心トシタル經濟史 神戶正雄述 參圓五拾錢

日本經濟の發展 石井宗吉 國圖 大2 六拾錢

經濟史の性質及範圍に就て 内田銀藏 史雜明31 壹圓五拾錢

日本經濟史の特性 本庄榮治郎 經叢 大12 拾五錢

史學と經濟との關係 坪井九馬三 史雜 明33 壹圓拾五錢

日本經濟史研究材料に就て 内田銀藏 國家三明42 貳圓貳五錢

經濟上より觀たる日本歴史の大時期 竹送典三 大銀大8 七拾錢

經濟史の材料に就て 内田銀藏 東經 明42 五拾七錢

日本經濟史料室町時代記録部 本庄榮治郎 三學二大2 壹圓五拾錢

室町時代の經濟史的事實の一端 本庄榮治郎 三學明45 八拾錢

日本中世經濟史料 松本彦次郎 三學 大2 七拾五錢

拙著「經濟史總論」に就き 松崎壽國 內田銀藏 國圖大1 八拾錢

南朝の經濟に關する一二の私見 中村直勝 史地大8 拾五錢

經濟史觀の九年後三年の役 松本彦次郎 三學大3 七拾錢

玉葉の經濟史的研究 松本彦次郎 三學 二大3 壹圓四拾錢

竹越氏日本經濟史に就て 本庄榮治郎 經叢大9 五拾錢

經濟界の現在及將來 當時の經濟問題 富及所得

- △中井竹山の經濟思想 本庄榮治郎 日經 大14 壹拾七圓
△陽明學と經濟學 山路愛山 日經 大14 壹拾七圓
△德川政府の經濟的自滅 瀧本誠一 京法 大13 參拾五錢
△内外經濟名義の刊行 河上肇 京法 大13 參拾五錢
△本多利明の經濟說 本庄榮治郎 經濟叢書 大6 參圓六拾錢
△本田利明の經濟說 瀧本誠一 經濟叢書 大5 參圓六拾錢
△神惟孝の事に就き鈴木泰太郎氏に答ふ瀧本誠一 經濟叢書 大5 參圓六拾錢
△本多利明經濟說に關し瀧本誠一の答ふ瀧本誠一 經濟叢書 大5 參圓六拾錢
△德川時代の經濟學說 本庄榮治郎 經濟叢書 大7 壹圓五錢
△集義和書來に現はれたる熊澤蕃山の經濟學說 瀧本誠一 經濟叢書 大7 壹圓五錢
△德川時代に於ける大阪の經濟學說 瀧本誠一 經濟叢書 大7 壹圓五錢
△瀧本誠一氏の草茅危言 瀧本誠一 經濟叢書 大5 壹圓貳拾錢
△本佐藤とマキアグリズム 瀧本誠一 經濟叢書 大5 壹圓貳拾錢
△神性考の事に就き鈴木泰太郎氏に答ふ瀧本誠一 經濟叢書 大5 壹圓貳拾錢
△山鹿素行の民政論(一名古學派の經濟並に社會政策) 田崎義介 國經 九明42 八圓一五錢
△德川時代經濟學說に就て 瀧本誠一 國家 大3 七拾錢
△武士階級崩壞の經濟的說明 魚澄總五郎 史地 大1 八拾錢
△維新前の經濟書に就て 内田銀藏 國家 大3 貳圓拾錢
△經濟學史に就て 舞出長五郎 國家 大6 五拾五錢
△私經濟學發達史 渡邊鐵藏 國家 大8 五拾錢
△徒然草に現れたる經濟思想 中村信一 法政 大14 五拾錢
經濟界の現在及將來
△我國經濟の實況 田尻稻次郎 財經 大3 四拾貳錢
△明治十年以後の我國經濟事情 田口卯吉 統集 明22 壹圓五拾錢
△本邦經濟界の趨向 米澤貞二 國經 大5 參拾六錢
△我國經濟界の將來 田尻稻次郎 財經 大5 參拾六錢
△日本國民經濟の轉運 松崎藏之助 國經 大12 五拾五錢
△我國經濟の將來 小林五三郎 國經 大12 五拾五錢

日本終計志 日本志篇 一六 七一九

- △水災の經濟界に及ぼす影響如何 北崎進東 經明 大13 五拾四錢
△我國經濟發達の一轉期 瀧谷善一 エコノミクス 大13 五拾四錢
△經濟上の大日本主義 植松考昭 洋經 二明15 壹圓貳錢
△我國經濟の地位 高野岩三郎 統集 明15 壹圓貳錢
△東洋に於ける日本の經濟上及其轉換 高橋龜吉 改造 大14 五拾圓
△貿易及爲替を中心としたる我國經濟の地位 井上準之助 國家 二明15 壹圓貳錢
△我國現時の經濟界の症狀、病源及び療法 神戶正雄 時經 大13 貳拾五錢
△帝國經濟上の概観 早川千吉 國家 時經 大2 七拾五錢
△憐むべき日本の世界經濟上の地位 神戶正雄 京法 大2 七拾五錢
當時の經濟問題
△我國現下の經濟問題 橋本圭三郎 財經 大7 參拾參錢
△我國當面の經濟問題 辻村楠造 財經 大6 參拾參錢
富及所得
△帝國人民の所得 中村金藏 統集 明35 壹圓四錢
△我國に於ける國民所得の發達 沙見三郎 經叢 大14 壹圓
△我國國民所得の地方別研究 沙見三郎 經叢 大14 壹圓
△我國の富と貯蓄 下村宏 國經 大9 五拾五錢
△明治年間の國富の膨脹 地球 大9 五拾五錢
日本統計志
△日本統計略誌 藤古迂人 統集 明26 壹圓四拾錢
△日本統計史料 松原仙史 統集 二明42 拾八圓
△日本統計の沿革 高橋二郎 統集 明37 壹圓貳拾錢
△日本統計の沿革 高橋二郎 統集 明37 壹圓貳拾錢

統計の進歩 光岡正彰 統集 二明32 拾參圓

- △日本統計の沿革に就て 横山雅男 統集 大6 壹圓九拾錢
△明治十年本邦統計史略 横山雅男 統集 明31 壹圓貳拾錢
△明治七年本邦統計略志 松重主人 統集 明40 七拾四錢
△本邦統計の發達 伊東祐毅 統集 明40 七拾四錢
△明治十五年日本統計進歩概況 岡松徑統 統集 明22 壹圓八拾錢
△明治十一年以來我邦の進歩 横山雅男 統集 明22 壹圓八拾錢
△日本統計事業沿革一覽 村山通定 統集 九明26 拾貳圓
△日本統計事務沿革史略 白井喜之作 統集 明20 壹圓四拾錢
△我國統計の進歩を望む 相原重政 統集 明20 壹圓四拾錢
△統計協會の來歴 宇川盛三郎 統集 明13 壹圓八拾錢
△統計學史を汎論し併せて本邦統計の沿革を論ず 横山雅男 統集 二明40 壹圓貳拾錢
統計學年表 布施千造 統集 二明40 五圓一八錢
東京統計協會沿革抄 統集 明35 壹圓四拾錢
東京統計協會創立第十六年の景況相原重政 統集 明27 壹圓四拾錢
統計學社沿革概要 横山雅男 統集 三明39 貳圓六錢
△本社(統計學社)の上古史 横山雅男 統集 三明44 貳圓四錢
△東京統計協會の紀源 田中太郎 統集 明44 六拾八錢
△統計學社略史 河合利安 統集 明44 六拾八錢
△本邦中央統計機關の沿革 高橋二郎 統集 明44 六拾八錢
△共立統計學校 横山雅男 統集 明44 六拾八錢
△統計學界の概観 杉亨二 統集 明44 六拾八錢
△統計學界の概観 吳文聰 統集 二大4 壹圓九拾錢
△統計學界の概観 財部靜治 統集 二大11 八拾錢
△統計學家及統計關係者諸氏發典執行記事 統集 三三 壹圓貳拾錢
△本邦の統計界 河合利安 統集 明38 九拾貳錢

統計歴史の相關法に就て 藤田優三 統集 一四 大13 四圓九錢

- △本邦統計界の現狀に就て 二階堂保則 大11 六圓
△本邦統計界の現狀に對する疑問 牛原虎太郎 統集 大6 四拾四錢
△統計の前途に就て 横山雅男 統集 明27 壹圓三拾錢
△統計と國家の關係 岡松經 統集 明26 壹圓貳拾錢
△保險と統計 藤本幸太郎 統集 明26 壹圓貳拾錢
△統計の拾遺抄 財部靜治 統集 三三 壹圓五拾錢
△統計による因果關係の研究 財部靜治 統集 大15 五拾錢
△統計上より見たる我國の將來 横山雅男 統集 三三 壹圓五拾錢
△統計普及策考 小野彌一 統集 明20 壹圓四拾錢
△本邦統計學下振の原因を救済す可し 岡松經 統集 明20 壹圓四拾錢
△新聞紙上の統計を觀るに就ての注意 山陽道人 統集 明20 壹圓五拾錢
△行政科統計論 岡松經 統集 八明15 拾四圓
△民間統計論 高橋二郎 統集 明16 壹圓七拾錢
△四季別雨量論 和田雄治 統集 明16 壹圓八拾錢
△本邦に於ける生計調査の概要 藤原平八 統集 大13 六拾錢
△農村の疲弊死産を救ふ唯一の方法は統計なり 兒山庸象 統集 大6 壹圓五拾錢
△日本統計改良論 白井喜之作 統集 三三 參圓七拾錢
△日本統計の沿革に就いて 横山雅男 統集 三三 參圓九拾錢
△日本統計の沿革に就いて 横山雅男 統集 三三 參圓九拾錢
△統計學の略考 岡松經 統集 大4 五拾貳錢
△統計の著述 岡松經 統集 明17 壹圓八拾錢
△享保年間舊幕記録統計 高橋二郎 統集 明17 壹圓七拾錢
△日本帝國統計摘要(露紙評論) 統集 明21 壹圓六拾錢
△佛ツハシエル氏の第十一回日本帝國統計摘要の批評 高橋二郎 統集 明31 壹圓貳拾錢